

消防年報



令和8年発行 74号

桑名市消防本部

消 防 訓

1. 正 確 迅 速

1. 明 朗 融 和

1. 創 意 工 夫

1. 誠 心 誠 意

1. 沈 着 冷 靜

は し が き

1. この年報は、令和7年中の桑名市及び受託1市2町（いなべ市・木曾岬町・東員町）における消防諸般の状況を収録し、あわせて累年の消防状況と比較検討して将来の防災対策の資料とするために編さんしたものです。
2. この年報中、消防の現勢、消防団関係は令和8年4月1日をもって収録しました。

目 次

◎桑名市というところ	1
◎桑名市消防のあゆみ	3
◎消防の現勢	
管内市町の位置	19
桑名市消防機関の配置図	19
庁舎施設概要	20
1. 消防本部・大山田分署 2. 桑名市消防署 3. 西分署 4. 多度分署	
5. 長島木曾岬分署 6. いなべ消防署 7. 北分署 8. 東員消防署	
一目消防概要	22
管内情勢	23
消防予算の推移（当初予算）	24
令和8年度消防予算（当初予算）	24
消防本部・消防署の組織	25
消防本部・消防署事務分掌	26
歴代消防長	28
消防本部・消防署の職員現勢	29
階級別勤続年数状況	30
階級別年齢状況	31
消防職員教養研修状況	32
消防職員消防関係資格取得状況	33
消防本部・消防署車両の配置状況	34
消防本部・大山田分署 桑名市消防署 西分署 多度分署	
長島木曾岬分署 いなべ消防署 北分署 東員消防署	
消防資機材一覧表	36
消防水利の現況	39
1. 管径別消火栓 2. 容積別防火水槽 3. その他の水利	

◎火災統計

市町別火災状況	40
時間別発生件数	40
月別火災状況	41
年次別火災状況	42
年次別出火原因件数	43
年次別の主な出火原因と件数	44
年次別火災損害額	44
年次別建物火災状況	45
過去の主な火災	46

◎救急救助統計

救急現況（1. 事故種別出場件数・2. 時間別出場件数）	48
月・事故別救急出場状況	49
年代別搬送人員	49
過去5年間の救急出場状況（市町別救急出場件数）	50
傷病者の状況	51
市町別救急出場状況	52
署・分署別救急出場状況	53
応急手当の普及啓発活動実施状況	54
普通・上級救命講習受講人員	54
救助出場状況（1. 市町別出場件数・2. 過去5年間の救助出場状況）	55

◎予防統計

危険物製造所等の施設数	56
市町別危険物施設の現況	57
危険物施設許可認可等の申請取扱件数	58
危険物規制に関する届出件数	58
火災予防条例に基づく諸届出件数	59
建築同意件数	59
用途別建築同意件数	60
市町別防火対象物数（棟別）	61
市町別中高層建築物数	62

◎通信・気象統計

年間 119 番受信件数	63
月別 119 番受信件数	64
通信施設の現況	65
警報・注意報・情報等発表状況	66

◎消防団（桑名市）

消防団のあゆみ	67
消防団の組織	75
消防団階級別団員数	76
消防団員の勤続年数状況	77
消防団員の年齢状況	77
歴代消防団長	78
消防団員教育実施状況	78
桑名市消防団区域図	79
桑名市消防団施設概要	80
桑名市消防団車両の配置状況	81
桑名市消防団の消防操法大会の歴史	82

桑名市というところ

桑名市は三重県の北端にあって、豊かな緑の鈴鹿連峰と養老山系を背後に、揖斐・長良・木曾の三大河川が伊勢湾に注ぐ堆積デルタ地帯に位置しています。

このような立地条件を有する桑名は、古くから海上交通輸送の拠点として発達し、「十楽の津」と呼ばれ、米、木材、油などが集散する活発な商業都市を形成してきました。

江戸時代に入ると、東海道五十三次の「七里の渡し」の宿駅機能が付加され、宿場町として、また松平十一万石の城下町として栄えました。

明治22年桑名町となり、大正12年に赤須賀村、昭和8年に益生村、同12年には西桑名町と合併し同年4月市制を施行しました。昭和20年7月戦災を被り、市街の大半は焦土と化しましたが、その後、市民のたゆまぬ努力をもって復興し、昭和26年に桑部、在良、七和の3カ村と合併、同30年には久米、深谷村と、翌31年には城南村と合併して面積は57.39k㎡となりました。

昭和34年9月26日、未曾有の被害をもたらした伊勢湾台風の来襲では、市街地のほとんどが水中に没して一時は陸の孤島と化し、その被害は死者201名、負傷者1,531名、罹災者38,000名、被害総額200億円に達する、空前の災害となりました。その後、護岸堤防の改修工事、排水工事の整備促進により水に強い都市へと変革しています。

そして平成16年12月6日、桑名市、多度町、長島町が合併し、面積136.65k㎡の面積を有する新「桑名市」として、新たなスタートを切りました。

歴史のまち桑名の伝統や文化面では、天下の奇祭で有名な国指定重要無形民俗文化財「桑名石取祭」同「伊勢大神楽」をはじめ、桑名の千羽鶴など有形・無形の貴重な歴史的伝統財産が伝承されています。このほか、東海道の「七里の渡し」や街道筋、沿道に建立された青銅の鳥居、桑名城のなごりをとどめる城壁、堀などの史跡も数多く残されています。大正2年に完成した「六華苑」は鹿鳴館の設計で有名なイギリス人建築家ジョサイア・コンドルによる貴重な建築物として、国の重要文化財に指定されています。

桑名市北部に位置する多度地区は「多度峡」など緑ゆたかな自然や、上げ馬神事や流鏝馬祭りで有名な「多度大社」といった名所を有し、木曾三川に囲まれる長島地区は「輪中」にその護岸の歴史をとどめ、また全国に名を知られるレジャー施設は、連日活気に満ちた賑わいを見せています。

産業面では、鋳物は特に「桑名の鋳物」として三百数十年の歴史を誇り、古くから全国有数の鋳物産地として知られていますが、近年は、工業団地が造成され大規模な企業進出も進んでいます。他にも、海水と木曾三川の河川水が適度に混合する豊かな海域における水産業が盛んで、蛤、シジミ、海苔、白魚の産地としても有名です。

また平野部では稲作を中心に花卉園芸やトマト、なばな、丘陵地ではみかんなどの生産が盛んで、他にも山あいを流れる清らかな谷川で育った川魚を使った料理など、山、川、海の自然の恵みに支えられ、彩りゆたかに桑名の食文化は発展してきました。

交通面では、J R 関西本線や近鉄名古屋線、養老鉄道、三岐鉄道北勢線などの鉄道や、国道 1 号・23 号・258 号・421 号と東名阪自動車道、伊勢湾岸自動車道が開通し、名古屋、大阪をはじめとする、都市間を結ぶ大動脈として放射状に整備され、広域化する人と物との交流を積極的に支援する、交通の結接点としての条件を備えています。

近年の桑名は幹線道路網の整備、大規模な住宅地開発、下水道事業の促進等、都市基盤の整備が着実に進められています。新名神高速道路、東海環状自動車道等、主要幹線道路へのアクセスが容易となる地域性から、今後、文化や情報の交流・発信地としての整備も推進され、『本物力こそ、桑名力。』をキャッチフレーズに掲げ、『次世代へと続く快適な暮らしの中でゆるぎない魅力が本物として成長し続けるまち桑名』を本市のめざすべき都市像として、その実現に向けて、着実な一歩を踏み出しています。

桑名市消防のあゆみ

明治 27 年 6 月 19 日	桑名町消防組は県令の組織認可を受け発足
昭和 12 年 4 月 1 日	市制施行により桑名市消防組を編成し、陣容は組頭以下 330 名で、これを 6 部に分け、消防ポンプ自動車 7 台、手曳ポンプ 1 台、蒸気ポンプ 1 台、腕用ポンプ 10 台を配備
昭和 14 年 4 月 1 日	消防組を警防団に改革し、1 団 7 分団にて定員 600 名に増員
昭和 16 年 11 月 15 日	季節常備を設置 (11 月 15 日～翌年 4 月 15 日) 部員 7 名が桑名警察署内ポンプ詰所で交代に勤務
昭和 19 年 4 月 1 日	警防団季節常備部を警防団常備消防部とし、初代部長に平野義一が就任、部員は部長以下 11 名で消防ポンプ車 1 台を配備
11 月 20 日	手曳ガソリンポンプ 1 台、オートバイ 3 台、鉄兜等消防用機器を増強
昭和 21 年 10 月 31 日	昭和 20 年 7 月の戦災以来、元西桑名町役場に住いしていた常備消防部庁舎を市内末広町に新築、同年 11 月 1 日から新庁舎で業務を開始
昭和 22 年 9 月 16 日	常備消防部長の更迭をみた 警防団が廃止され、桑名市消防団を組織し、定員 330 名とした
昭和 23 年 3 月 7 日	法律第 226 号消防組織法の施行に伴い、警察から完全に独立し、消防は市町村の任務とされ、自治体消防が発足
昭和 24 年 10 月 1 日	桑名市消防本部を設置、初代消防長以下 16 名、装備は消防ポンプ自動車 (ダッチ) 1 台、単車 1 台で発足
昭和 25 年 9 月 1 日	消防本部定員を 25 名に増員し、消防ポンプ自動車「金竜号」を配備
昭和 27 年 3 月 7 日	桑名市防火協力会 (仮称) 創立総会 初代会長 昭和ミシン(株) 岡 実氏就任
7 月 23 日	消防本部に水槽付消防ポンプ自動車・GMC「呑竜号」を配備
昭和 28 年 6 月 1 日	消防本部定員を 2 名増員、27 名とした
7 月 21 日	消防本部に小型動力ポンプ「日機号」を配備し、呑竜号に積載
昭和 30 年 5 月 1 日	二代目消防長が就任
昭和 31 年 1 月 10 日	消防本部に消防ポンプ自動車「銀竜号」を配備
1 月 14 日	消防本部の消防ポンプ自動車 (ダッチ) を消防団第 4 分団に配備
昭和 34 年 7 月 13 日	三代目消防長が就任 (専任となる)
9 月 30 日	桑名市消防署を設置
昭和 35 年 2 月 1 日	消防署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型「天竜号」を配備
9 月 30 日	消防本部に指令車 (無線広報設備付) を配備
昭和 36 年 12 月 1 日	無線移動局車載型 1 機、携帯型 2 機を配備
昭和 37 年 9 月 1 日	桑名市防火協力会から単車 (メグロ) の寄贈を受け、本部連絡車として配備
昭和 38 年 1 月 16 日	消防署に消防ポンプ自動車 BD - I 型「赤竜号」を配備
3 月	消防署の消防ポンプ自動車「金竜号」を消防団第 13 分団に配備
11 月 1 日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 BS - I 型「保険号」の寄贈を受け、消防署に配備
12 月 1 日	消防署の消防ポンプ車 BS - I 型を消防団第 5 分団に配備

昭和 39 年 2 月 1 日	桑名ロータリークラブから救急自動車 2 B 型（トヨタ）の寄贈を受け、消防署に配備し、救急業務を開始
9 月 28 日	消防本部庁舎を桑名市中央町三丁目 35 番地に移転、鉄筋コンクリート 2 階建完成 建築面積 393.80 m ² 延面積 803.02 m ² 敷地面積 2,478.28 m ² 望楼高さ 27.50m
昭和 41 年 8 月	桑名市防火協力会から単車（ホンダ）の寄贈を受け、本部連絡車として配備
昭和 42 年 8 月 22 日	消防本部に軽四輪車（マツダ）を本部連絡車として配備
9 月 1 日	超短波無線移動局 3 機、携帯無線機 2 機を配備
12 月 1 日	消防署の消防ポンプ自動車「銀竜号」を BD - I 型に更新し、旧車両を消防団第 3 分団に配備
昭和 43 年 4 月 16 日	西部方面の消防を強化するため、西分署を桑名市大字増田字馬淵 604 番地の 3 に開署、同日から分署長以下 11 名を配置、消防ポンプ自動車「銀竜号」、移動局 1 機、受令機 1 機の装備で業務を開始 建築面積 163.60 m ² 延面積 295.60 m ² 敷地面積 373.55 m ² 望楼高さ 18.50m
7 月 1 日	消防副士長の階級が制度化され、同年 12 月 1 日に 1 名が昇任
7 月 10 日	長島町、木曾岬村と救急応援協定を締結
昭和 44 年 1 月 10 日	西分署に水槽付消防ポンプ自動車「金竜号」（水 I - A 型）を配備
1 月 16 日	桑名市防火協力会から単車（スズキ）の寄贈を受け、本部連絡車として配備
4 月 1 日	四代目消防長が就任
6 月 1 日	桑名市防火協力会から広報車（ニッサンスカイラインライトバン）の寄贈を受け、消防本部に配備
8 月 8 日	桑名市防火協力会から空気呼吸器（ライフゼム型）2 機の寄贈を受け、消防署で初めて採用
12 月 12 日	消防署に 24m 級はしご付ポンプ自動車「昇竜号」を配備し、高層建築物火災における消火活動及び人命救助等に備えた
昭和 45 年 4 月 1 日	多度町から消防事務の委託を受け消防業務を開始
6 月 18 日	消防署に救急自動車 2 B 型（トヨタ）を配備
8 月 31 日	消防職員待機宿舎（青志寮）を桑名市中央町 3 丁目に設置
11 月 26 日	多度町から消防ポンプ自動車「多度号」（BS - I 型）を譲渡された
12 月 18 日	水槽付消防ポンプ自動車「鯨山号」（水 I - A 型）を購入
12 月 23 日	多度分署庁舎を桑名郡多度町大字香取字蛭江 2199 番地の 29 に完成、同日から分署長以下 13 名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車「鯨山号」、消防ポンプ自動車「多度号」、救急自動車（トヨタ）1 台、軽四輪車 1 台、小型動力ポンプ 1 台、超短波無線基地局 1 基、移動局 3 機、テレビ塔・監視装置 1 基の装備で業務を開始 建築面積 248.00 m ² 延面積 455.00 m ² 敷地面積 763.57 m ² テレビ塔高 26.90m
昭和 46 年 3 月 15 日	消防署に化学消防ポンプ自動車「大竜号」（II 型）を配備
5 月 15 日	消防本部に小型乗用車（トヨタクラウン）を連絡車として配備
5 月 27 日	「桑名市防火協力会」を「桑名防火協会」と改称

昭和46年7月2日	消防署の消防ポンプ自動車「保険号」(BS-I型)を消防団第13分団(安永)に配備
10月11日	多度分署に小型動力ポンプ付積載車(ミニエース)を配備し、同分署の軽四輪車(マツダ)を西分署へ配備
11月13日	山之内製菓から救急自動車3B型(ニッサンエコー)の寄贈を受け、消防署に配備
12月11日	桑名防火協会から空気呼吸器一式、特殊録音装置一式の寄贈を受け、消防署に配備
12月26日	消防署、西分署に昼夜切替式望楼テレビ2基を購入し、望楼勤務をテレビ監視に切替えた
昭和47年7月6日	多度分署にジェットシューター(5個)配備、山林火災における消火活動に備える
10月3日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(BD-I型)の寄贈を受け、消防団第13分団(安永)へ配備し、同分団車「保険号」を消防署に配備
11月9日	桑名防火協会から空気呼吸器の寄贈を受け、消防署に配備
昭和48年3月31日	消防署の通信室増築完成
8月29日	三重県共済農業協同組合連合会から救急自動車2B型(ニッサンキャラバン)の寄贈を受け消防署に配備
9月4日	消防署に空気呼吸器一式を配備
11月15日	消防署に救助訓練塔一式、超短波無線移動局1機、人工蘇生器を配備
12月6日	桑名防火協会から高発泡200倍ノズル一式、救助工作用具一式、ミロク式ロープ発射銃の寄贈を受け、消防署に配備
昭和49年3月11日	消防職員待機宿舎(青志寮)を桑名市新築町67番地の1に移転
9月6日	消防署に高発泡機一式を配備
10月31日	消防署に救難用ゴムボート(シックスマンボートBR-104型6人乗り)を配備
昭和50年6月16日	消防署に蘇生器(ミニットマン)を配備
10月22日	高速自動車道東名阪国道の開通に伴い長島町、海部南部消防組合、四日市市、鈴鹿市、亀山市と消防相互応援協定を締結
昭和51年4月5日	五代目消防長が就任
8月31日	消防本部の指令車を更新
10月29日	日本損害保険協会から救急自動車2B型(ニッサンキャラバン)の寄贈を受け消防署の救急自動車を更新
昭和52年5月12日	消防本部の連絡車を更新
7月12日	消防署に蘇生器(ミニットマン)を配備
7月18日	桑名防火協会からパワーテント(2K×3K)一式の寄贈を受け、消防本部に配備
10月28日	西分署の軽四輪車(マツダ)を廃車
昭和53年4月1日	市条例消防職員定数を100名に改正
5月30日	消防本部に広報車(三菱ギャランライトバン)を配備し、同本部の広報車(ニッサンスカイラインバン)を西分署に連絡車として配備
11月25日	消防署の水槽付消防ポンプ自動車「天竜号」を水II型に更新
12月22日	消防署指揮旗並びに消防団指揮旗の制式及び使用内規を定めた
昭和54年4月1日	市条例消防職員定数を104名に改正
12月27日	消防署の消防ポンプ自動車「赤竜号」をCD-II型に更新

昭和 55 年 2 月 1 日	消防本部の組織機構を改正し、課制を導入、総務・消防・予防の 3 課 7 係制とした
4 月 1 日	市条例消防職員定数を 107 名に改正
6 月 1 日	消防署に空気呼吸器（ライフゼム 8 型）一式、マジックギブス一式、超短波無線移動局 2 機を配備
9 月 3 日	消防署に小型動力ポンプ付積載車（ニッサンホーマー）を配備 多度分署に軽可搬式消防ポンプ（D-2 級ラビット P201 型）一式を配備
昭和 56 年 4 月 1 日	市条例消防職員定数を 114 名に改正
6 月 14 日	消防署の救急自動車 3 B 型（ニッサンエコー）を市民病院へ譲渡
7 月 1 日	消防署に空気呼吸器（陽式ライフゼム 8 型）を配備
昭和 57 年 2 月 1 日	消防本部に通信指令室を新築し、救急指令装置 B 型を配置 消防本部の組織機構を一部改正し 3 課 8 係制とし、一部事務分掌を改正
2 月 20 日	水槽付消防ポンプ自動車「雲竜号」（水 II 型）を購入
3 月 11 日	日本損害保険協会から救急自動車 2 B 型（トヨタハイエース）の寄贈を受けた
3 月 30 日	消防署に救急自動車 2 B 型（トヨタハイエース）を配備
3 月 31 日	多度分署の小型動力ポンプ付積載車を更新
4 月 1 日	大山田分署庁舎を桑名市大山田一丁目 7 番地の 1 に完成、同日から分署長以下 15 名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車「雲竜号」、消防ポンプ自動車「保険号」、救急自動車 1 台、超短波無線移動局 4 機、空気呼吸器一式 2 機、ジェットシューター 2 個、非常用発電機（固定・移動）2 基の装備で業務を開始 建築面積 408.23 m ² 延面積 533.35 m ² 敷地面積 1,811.99 m ²
	市条例消防職員定数を 117 名に改正
4 月 8 日	大山田分署開設に伴い、火災出動要綱及び救急出動要綱を作成施行
5 月 1 日	市消防救助隊設置処務要綱及び消防訓練安全管理基準を作成施行 救急自動車（トヨタ）を救助車に改造し運用開始
5 月 25 日	NTN 東洋ベアリング桑名工場からビデオ装置一式の寄贈を受け、消防本部に配備
5 月 30 日	消防無線運用管理規程を制定施行
7 月 1 日	桑名防火協会から和文型タイプライター（ニューライター）の寄贈を受け、消防本部に配備
7 月 24 日	西分署に超短波無線機携帯用 2 機を配備
12 月 21 日	西分署の消防ポンプ自動車「銀竜号」を CD-I 型に更新
昭和 58 年 4 月 1 日	市条例消防職員定数を 119 名に改正
4 月 8 日	第 6 回三重県消防職員意見発表会において優秀賞を受賞、同年 4 月 26 日東海支部消防職員意見発表会で最優秀賞を受賞し東海支部代表となり、同年 6 月 2 日第 6 回全国消防職員意見発表会で優秀賞を受賞
6 月 29 日	桑名防火協会から査察車（トヨタカローラバン）の寄贈を受け、消防本部に配備
11 月 14 日	日本損害保険協会から 16m 級屈折はしご付消防ポンプ自動車「火災保険号」の寄贈を受け、大山田分署に配備
11 月 28 日	消防署の水槽付消防ポンプ自動車「呑竜号」を水 II 型に更新
12 月 1 日	救急医療情報システム桑名地域救急医療情報センターとして業務を開始

昭和 59 年 2 月 18 日	三重県共済農業協同組合連合会から救急自動車 2 B 型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受け消防署に配備し、同署の救急自動車（トヨタハイエース）と多度分署の救急自動車（ニッサンキャラバン）を入れ替えた
3 月 28 日	長島町と木曾岬村から消防事務委託を受け、規約を締結
4 月 1 日	市条例消防職員定数を 143 名に改正 桑名市火災予防条例を一部改正
8 月 23 日	日本消防協会から指揮車（ニッサンブルーバードバン）の寄贈を受け、消防本部に配備
9 月 7 日	山之内製菓から救急自動車 2 B 型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受けた
10 月 1 日	消防本部に関する規則を一部改正し、署の庶務係・予防係を廃止
10 月 20 日	消防ポンプ自動車「揖斐号」（CD - I 型）を購入
10 月 22 日	小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス）を購入
10 月 27 日	長島町から水槽付消防ポンプ自動車「長良号」（水 I - A 型）を譲渡された
11 月 1 日	長島ライオンズクラブから長島木曾岬分署の広報連絡車（ニッサンスカイラインバン）の寄贈を受けた 長島木曾岬分署庁舎を桑名郡長島町大字松ヶ島 43 番地に完成、同日から分署長以下 24 名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車「長良号」、消防ポンプ自動車「揖斐号」、救急自動車 2 B 型 1 台、小型動力ポンプ付積載車 1 台、広報連絡車 1 台、超短波無線基地局 1 基、移動局 5 機、テレビ塔・監視装置 1 基、非常用発電機（固定・移動）2 基、気象観測装置 1 基の装備で業務を開始 建築面積 518.96 m ² 延面積 671.18 m ² 敷地面積 1,725.00 m ² テレビ塔高 30.00m
11 月 6 日	長島木曾岬分署開設に伴い、火災出動要綱及び救急出動要綱を一部改正 大山田分署に消防ポンプ自動車「星竜号」（CD - I 型）を配備し、同分署の消防ポンプ自動車「保険号」（BS - I 型）を消防署へ配備
11 月 27 日	消防署の消防ポンプ自動車「保険号」（BS - I 型）を廃車
昭和 60 年 2 月 8 日	消防本部通信指令室に基地局（CH2）を増設
3 月 1 日	消防署に高圧ガス製造所（空気充てん施設）を設置
3 月 6 日	消防本部及び消防団に消防庁長官から表彰旗を授与された
11 月 25 日	西分署の水槽付消防ポンプ自動車「金竜号」を水 I - A 型に更新 多度分署の消防ポンプ自動車「多度号」を CD - I 型に更新 長島木曾岬分署に 35m 級はしご付消防ポンプ自動車「木曾号」を配備
12 月 25 日	桑名市火災予防条例を一部改正
昭和 61 年 3 月 6 日	防災無線を設置し、運用を開始
3 月 28 日	東員町から消防事務委託を受け、規約を締結
4 月 1 日	市条例消防職員定数を 166 名に改正 消防本部の組織機構を一部改正し 3 課 7 係制とし、一部事務分掌を改正 桑名市消防衛生管理規程を制定施行 桑名市消防安全管理規程を制定施行
8 月 1 日	広報連絡車（三菱ジープ）を購入
8 月 19 日	日本消防協会から救急自動車 2 B 型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受けた

昭和 61 年 8 月 25 日	桑名市消防衛生管理規程に伴い、毎月 15 日を消防衛生の日と定めた
10 月 21 日	水槽付消防ポンプ自動車「速風号」(水Ⅱ型)、消防ポンプ自動車「松風号」(CD-I 型) 小型動力ポンプ付積載車 (ニッサンアトラス) を購入
11 月 1 日	東員分署庁舎を員弁郡東員町大字六把野新田 86 番地の 1 に完成、同日から分署長以下 23 名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車「速風号」、消防ポンプ自動車「松風号」、救急自動車 2 B 型 1 台、小型動力ポンプ付積載車 1 台、広報連絡車 1 台、超短波無線基地局 1 基、移動局 5 機、テレビ塔・監視装置 1 基、非常用発電機 (固定) 2 基、気象観測装置 1 基の装備で業務を開始 建築面積 632.487 m ² 延面積 802.51 m ² 敷地面積 2,707.870 m ² テレビ塔高 30.00m
12 月 16 日	東員分署の開設に伴い、火災出動要綱及び救急出動要綱を一部改正 消防署の化学消防ポンプ自動車「大竜号」をⅣ型に更新 多度分署の水槽付消防ポンプ自動車「鯨山号」を水Ⅰ-A 型に更新
昭和 62 年 5 月 12 日	三重県危険物安全協会桑名支部設立 初代支部長 (株) ナヤデン 栗田伸太郎氏就任
6 月 2 日	六代目消防長が就任
8 月 24 日	消防訓を制定
9 月 18 日	海部南部消防本部と「119 番同時受信システムの運用に関する覚書及び協議書」を締結、施行
11 月 10 日	消防署に 2 台、大山田分署に 1 台小型動力ポンプを配備
12 月 16 日	消防署に救助工作車「飛竜号」(Ⅱ型) を配備し、救助車 (トヨタ) を廃車
12 月 24 日	海部南部消防組合消防本部と消防相互応援協定を締結 (施行は昭和 63 年 1 月 1 日から)
12 月 25 日	東員分署に化学消防ポンプ自動車「朝風号」(Ⅳ型) を配備
昭和 63 年 4 月 1 日	員弁地域救急医療情報センターの業務を開始
10 月 1 日	桑名市消防本部に関する規則の一部を改正
11 月 1 日	七代目消防長が就任
平成 元年 1 月 22 日	桑名ライオンズクラブから救急自動車 2 B 型 (トヨタハイエース) の寄贈を受け消防署の救急自動車を更新
3 月 31 日	三重県下消防相互応援協定を締結 (施行は 4 月 1 日から)
4 月 1 日	河川・流域総合情報システムを設置し、運用を開始
4 月 7 日	桑名市において第 12 回三重県消防職員意見発表会を開催 (桑名市中央公民館)
6 月 6 日	消防本部の広報車を更新
9 月 29 日	北勢町、員弁町、大安町、藤原町から消防事務委託を受け、規約を締結 市条例消防職員定数を 230 名に改正
10 月 1 日	八代目消防長が就任
10 月 20 日	員弁北分署に広報連絡車 (トヨタランドクルーザー) を配備
11 月 3 日	長島ライオンズクラブから煙体験ハウス一式、防火ビデオカセット一式、天ぷら火災実験装置一式の寄贈を受け、長島木曾岬分署へ配置
平成 2 年 1 月 31 日	市役所から小型乗用車 (トヨタクラウン) を譲渡され、消防本部の連絡車を更新

平成2年2月26日	日本自動車工業会から救急自動車2B型（トヨタハイエース）の寄贈を受け、大山田分署に配備し、同分署救急自動車（トヨタハイエース）を消防署に配備し、同署の予備車を廃車
7月1日	「三重県危険物安全協会桑名支部」を「桑名危険物安全協会」と改称
8月30日	消防署の指令車（三菱ジープ）を廃車
10月31日	員弁南分署の広報連絡車（ニッサンアベニールカーゴ）を配備
11月20日	消防署に小型動力ポンプ付水槽車（日野スーパードルフィン）を配備
11月30日	西分署の水槽付消防ポンプ自動車「金竜号」を大山田分署に配備し、同分署の水槽付消防ポンプ自動車「雲竜号」を消防署に配備
12月1日	桑名市農業協同組合から救急自動車2B型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受け西分署に配備し、同分署を消防ポンプ自動車と救急自動車の2台体制とした
12月25日	消防署に現場指揮車（トヨタハイエース）を配備
平成3年1月30日	消防ポンプ自動車CD-I型（三菱キャンター）2台を購入
1月31日	日本損害保険協会から救急自動車2B型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受けた救急自動車2B型（ニッサンキャラバン）を購入
2月1日	消防課から通信指令室を分離し、消防本部の組織機構を一部改正し3課1室8係制とし、一部事務分掌を改正 消防無線運用管理規程を全部改正
3月1日	員弁南分署庁舎を員弁郡大安町大字高柳418番地に完成、同日から分署長以下12名を配置し、消防ポンプ自動車CD-I型1台、救急自動車2B型1台、広報連絡車1台、超短波無線基地局1基、移動局3機、テレビ塔・監視装置1基、非常用発電機（固定）1基の装備で業務を開始 建築面積 699.702㎡ 延面積 908.007㎡ 敷地面積 3,535.480㎡ テレビ塔高 30.000m 員弁北分署庁舎を員弁郡北勢町大字瀬木50番地の10に完成、同日から分署長以下12名を配置し、消防ポンプ自動車CD-I型1台、救急自動車2B型1台、広報連絡車1台、超短波無線移動局3機、訓練塔1棟、非常用発電機（固定）1基、気象観測装置1基の装備で業務を開始 建築面積 699.702㎡ 延面積 908.007㎡ 敷地面積 3,080.000㎡ 訓練棟高 19.920m 員弁南分署、員弁北分署の開設に伴い、火災出動要綱及び救急出動要綱を一部改正 基地局（くわなしょうぼう、たどしょうぼう、ながしましょうぼう、とういんしょうぼう）を廃止し、新たに大山田分署に基地局（消防波・救急波）員弁南分署に前進基地局（消防波）を設置し、操作は消防本部通信指令室から遠隔で行う 救急指令装置Ⅱ型の一部を増設し、無線統制台を設置 四町受託に伴い桑名市、桑名郡及び員弁郡1市8町の119番を通信指令室にて一括受信となる
6月1日	九代目消防長が就任
8月14日	消防本部に予防広報車（トヨタマークⅡワゴン）を配備
12月12日	消防署の救急自動車2B型を更新
12月20日	多度分署の救急自動車2B型を更新

平成4年3月27日	桑名市において第43回三重県消防大会開催（桑名市民ホール）
8月21日	海津郡消防組合消防本部と海部西部消防組合消防本部とで「東海三県境地域消防相互応援協定」を締結（施行は9月1日から）
9月29日	長島木曾岬分署の救急自動車2B型を更新
10月1日	十代目消防長が就任
平成5年2月19日	員弁南分署、員弁北分署それぞれに水槽付消防ポンプ自動車水Ⅰ-A型（日野レンジャー）を配備
2月26日	消防署に小型動力ポンプ積載車（三菱キャンター）を配備
3月5日	大山田分署に県防災ヘリコプターとの通信確保に必要な携帯基地局を設置し、操作は消防本部通信指令室から遠隔で行う
4月1日	十一代目消防長が就任
10月14日	桑名市において第68回全国消防長会財政委員会開催（桑名シティホテル ～15日）
11月24日	消防本部・消防署庁舎が桑名市大字江場7番地に完成し、引渡しが行われた 桑名防火協会から新庁舎建設に伴い消火シミュレーション一式及び常夜灯の寄贈を受ける
12月6日	新庁舎で一部業務を開始（消防本部の総務課、消防課、予防課の3課のみ）
平成6年2月1日	消防本部・消防署の新庁舎への移転完了し、業務を開始 庁舎棟は鉄筋コンクリート造3階建（一部2階建）、他に車庫棟（鉄骨造2階建）、訓練棟（鉄筋コンクリート造4階建）を併設 建築面積 2,249.47㎡ 延床面積 5,129.07㎡ 敷地面積 7,896.53㎡ 訓練棟高 25.1m
2月14日	市内住宅密集地で発見された不発弾の処理のため、指揮本部を消防本部に設置
2月15日	桑名市消防職員待機宿舎（青志寮）を廃止、市役所へ移管
2月17日	四日市市、鈴鹿市、亀山市、及び長島町と「高速自動車道近畿自動車道名古屋・亀山線消防相互応援協定」を締結（施行は3月1日） これによって「高速道路における消防相互応援協定」を廃止
2月23日	桑名市消防本部・消防署新庁舎の竣工式を挙行
2月25日	員弁南分署に救助工作車Ⅱ型（日野レンジャー）、員弁北分署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型（日野スーパードルフィン）を配備
2月28日	日本損害保険協会から高規格救急自動車（日産パラメディック）の寄贈を受け、消防署の救急自動車を更新
8月1日	彦根市消防本部と「国道306号線消防相互応援協定」を締結、施行
8月26日	海部南部消防本部との「119番同時受信システムの運用に関する覚書及び協議書」を廃止
9月13日	24m級はしご付消防ポンプ自動車「昇竜号」を老朽化のため廃車
9月16日	東員分署の救急自動車2B型を更新
9月20日	東海三県広域災害総合訓練に参加（木曾三川公園にて）
10月1日	消防無線運用管理規程を一部改正
11月10日	桑名市において全国消防長会東海支部役員会開催（桑名シティホテル ～11日）

平成7年1月17日	午前5時46分、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）発生（M7.2の烈震）同日午後2時10分、被害のあった神戸市へ救助工作車にて応援出動（以後、応援出動回数6回を数える）
6月13日	桑名防火協会から査察車（トヨタカラーワゴン）の寄贈を受け、消防本部に配備
6月30日	全国の消防機関相互による迅速な援助を行うことを目的とし、緊急消防援助隊に協力する市町村の消防機関の代表によって発足式が行われ、同年9月5日に桑名市消防本部は、緊急援助隊の救急部隊として登録をした
7月18日	桑名市において、第19回三重県消防救助技術指導会開催（消防本部内）
10月1日	桑名市救急業務実施規程を制定施行
10月31日	市役所からマイクロバスを譲渡され、消防本部に配備
12月6日	多度分署の小型動力ポンプ付積載車を更新
12月25日	消防署に40m級はしご付消防ポンプ自動車を配備
平成8年1月1日	火災原因損害調査要綱を作成施行
2月29日	消防署の消防ポンプ自動車「赤竜号」をCD-I型に更新
3月22日	市役所から小型乗用自動車（トヨタクラウン）を譲渡され、消防本部連絡車として配備
4月1日	十二代目消防長が就任 防災無線（衛星可搬局）を設置
10月4日	消防署に資機材搬送車（トヨタライトエース）を配備
10月11日	長島木曾岬分署の指揮車を更新
11月7日	消防署、長島木曾岬分署の水槽付消防ポンプ自動車I-A型「桑名1」「長島1」を更新
平成9年1月29日	員弁南分署、員弁北分署に小型動力ポンプ積載車を配備
2月28日	大山田分署の水槽付消防ポンプ自動車I-A型を更新
4月1日	十三代目消防長が就任
7月14日	桑名防火協会からLED表示器（電光掲示看板）の寄贈を受ける
9月25日	消防署に車台付可搬式小型動力ポンプを配備
11月14日	消防署、長島木曾岬分署の消防ポンプ自動車CD-I型「桑名3」「長島2」を更新
平成10年1月20日	大山田分署の消防ポンプ自動車CD-I型「大山田2」を更新
2月20日	大山田分署の2B型救急自動車を災害対応特殊救急自動車（高規格救急車）に更新
2月26日	長島木曾岬分署の小型動力ポンプ付積載車「長島3」を更新
7月1日	桑名防火協会から屋外用天ぶら油火災実験装置（温度計付）の寄贈を受ける
9月1日	聴覚・音声言語機能障害者からの緊急通報専用ファクシミリ（24-4119）を設置し運用開始
9月3日	大山田分署に防災指導車（軽四）を配備
10月15日	ブロック別分散受信方式（四日市消防本部からの転送・伝達）による、移動体電話からの119番通報接続開始
平成11年2月10日	東員分署の水槽付消防ポンプ自動車I-A型「東員1」を更新
2月25日	多度分署の消防ポンプ自動車CD-I型「多度2」を更新
平成12年2月3日	東員分署の消防ポンプ自動車CD-I型「東員2」を更新

平成 12 年 2 月 8 日	西分署、多度分署の水槽付ポンプ自動車 I-A 型「西 1、多度 1」を更新
3 月 31 日	長島木曾岬分署に訓練棟 2 棟（A 棟、B 棟）が完成 訓練棟（A 棟） 建築面積 22.275 m ² 延床面積 72.803 m ² 高さ 17.0m 訓練棟（B 棟） 建築面積 33.150 m ² 延床面積 93.520 m ² 高さ 10.0m
4 月 1 日	桑名市消防手数料条例を施行
4 月 4 日	十四代目消防長が就任
6 月 30 日	消防本部の広報車「桑名 61」を更新
7 月 21 日	消防本部に防災パトロール車「桑名 53」を配備
8 月 24 日	東員分署の可搬ポンプ積載車「東員 3」をクレーン付積載車に更新
9 月 24 日	県道桑名員弁線開通に伴い、桑名・員弁郡医師会、桑名警察署、三重県防災航空隊、桑名市消防団、消防本部合同による集団救急事故訓練を実施
平成 13 年 2 月 14 日	西分署、員弁南分署の 2 B 型救急車「救急桑名 2、救急員弁 2」を高規格救急車に更新
2 月 21 日	市民の安全を祈念し「21 世紀記念植樹式」を行い枝垂れ桜・牡丹桜・緋寒桜を植樹
3 月 19 日	東員分署に訓練棟が完成 建築面積 33.602 m ² 延床面積 94.56 m ² 高さ 11.7m
3 月 26 日	消防本部に非常用発電機 300KVA 型を設置
4 月 1 日	消防本部の組織機構を一部改正し 3 課 1 室 9 係制とし、一部事務分掌を改正
5 月 20 日	水陸両用水難救助艇（ホバークラフトレスキュータイプ）の寄贈を受け、消防署に配備
8 月 22 日	東員分署、員弁北分署の連絡車「東員 51、員弁北 51」をワンボックスタイプの指揮車に更新
12 月 19 日	桑名市火災予防条例を一部改正
平成 14 年 2 月 1 日	消防署、員弁北分署の 2 B 型救急車「救急桑名 5・救急員弁 3」を高規格救急車に更新
2 月 28 日	消防署に訓練棟（副棟）完成
3 月 1 日	桑名市消防通信規程を制定施行し消防無線運用管理規程を廃止 桑名市消防通信運用要綱を作成施行
3 月 5 日	消防署の救助工作車 II 型「桑名 41」を更新
3 月 7 日	近畿自動車道名古屋神戸線川越インターまで開通に伴い四日市市消防本部、海部南部消防組合消防本部、名古屋市消防局、三重県警察、愛知県警察、三重県・愛知県・岐阜県の各防災航空隊、日本道路公団中部支社と合同訓練を実施
3 月 13 日	海部南部消防組合消防本部、四日市市消防本部と「近畿自動車道名古屋神戸線消防相互応援協定」を締結、施行
3 月 25 日	桑名市デジタル地域防災無線の運用開始
3 月 28 日	分署に不在時緊急通報電話（通信指令室に直通）を設置し運用開始
8 月 1 日	消防本部の予防広報車「桑名 63」を低公害車（トヨタハイブリッドカーエスティマ）に更新 員弁南分署の連絡車「員弁南 51」を更新、指揮車とする

平成 14 年 9 月 1 日	<p>桑名市消防職員服務規程を制定施行</p> <p>桑名市警防規程を制定施行</p> <p>桑名市救助規程を制定施行し桑名市消防救助隊設置処務要綱を廃止</p> <p>桑名市警防規程運用要綱を作成施行</p> <p>桑名市火災等出場要綱を作成施行し火災出動要綱を廃止</p> <p>桑名市消防の監査に関する要綱を作成施行</p>
平成 15 年 1 月 1 日	桑名市再出火防止要綱を作成施行
1 月	桑名市し尿処理場の拡張工事に伴い伐採される予定であった記念植樹の桜の木 11 本を、保存したいという同施設職員の意向を汲み、消防署が庁舎東側歩道（消防署管理）に譲り受け、消防職員約 70 名が休日・非番を利用し移植した(22 日～26 日)
2 月 20 日	消防署、多度分署の 2 B 型救急車「救急桑名 4、救急多度 1」を高規格救急車に更新
3 月	消防署、長島木曾岬分署、東員分署、員弁北分署に救急消毒室を設置
3 月 11 日	高速自動車国道近畿自動車道名古屋・関線及び名古屋・神戸線における川越ジャンクション開通に伴い、4 市 4 町（四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、長島町、木曾岬町、朝日町、川越町）と消防相互応援協定を締結した
3 月 26 日	清掃センター桜並木移植記念の木柱を設置、記念式典を行った
4 月 1 日	<p>桑名市火災調査要綱を制定施行し火災原因損害調査要綱を廃止</p> <p>桑名市救急業務規程を制定施行し桑名市救急業務実施規程を廃止</p>
7 月 1 日	桑名市救急業務規程を一部改正
8 月	多度町力尾地内の三重ごみ固形燃料発電所 RDF 貯蔵槽において 8 月 14 日爆風により施設作業員 4 名が負傷、更に 8 月 19 日この火災の消火作業中に突然貯蔵槽が爆発し作業に従事していた消防職員 2 名が殉職、ほか施設作業員 1 名が負傷した
9 月 1 日	桑名市消防安全管理規程に基づき、毎月 19 日を消防安全の日と定めた
11 月 1 日	<p>桑名市消防署で指揮隊の運用を開始</p> <p>桑名市警防規程を一部改正</p>
12 月 1 日	北勢町、員弁町、大安町及び藤原町の合併による「いなべ市」の設置に伴い受託形態がいなべ市、多度町、長島町、木曾岬町、東員町の 1 市 4 町受託へ移行した
12 月 17 日	大山田分署の屈折はしご付消防ポンプ自動車「大山田 31」を 15m 級シグマ型（三重県下初）に更新
平成 16 年 2 月 5 日	長島木曾岬分署の 2 B 型救急車「救急長島 1」を高規格救急車に更新
2 月 6 日	員弁北分署の消防ポンプ自動車 CD - I 型「員弁北 2」を更新
4 月 1 日	消防本部内に桑名市防災指導センターを開設し、これまで学校区単位で実施してきた自主防災訓練や、自治会単位での防火、防災、救急等の訓練を、防災指導員が統合的に指導にあたる体制とした
8 月 6 日	平成 15 年 8 月 19 日三重ごみ固形燃料発電所 RDF 貯蔵槽の爆発事故により殉職した 2 名の勇敢な活動を讃え、平成 16 年 8 月 6 日、桑名市コミュニティプラザ文化ホールにおいて桑名市消防葬を挙行、消防関係者及び国・県・市・町の関係機関の公職者等並びに管内市町民の総勢約 700 人の参列により、無宗教にて執り行った

平成 16 年 8 月 11 日	平成 15 年 8 月 19 日 三重ごみ固形燃料発電所 RDF 貯蔵槽の爆発事故により殉職した 2 名の勇敢な活動を讃えご冥福を祈り、桑名市消防本部正面玄関に顕彰碑を建立、除幕式を行った
12 月 6 日	桑名市・多度町・長島町の 1 市 2 町の合併による「桑名市」の設置により、いなべ市・木曾岬町・東員町の 1 市 2 町を受託する形態となった 市条例消防職員定数を 236 名に改正 桑名市火災予防査察規程を制定施行
12 月 9 日	員弁南分署の消防ポンプ自動車 CD - I 型「員弁南 2」を更新
12 月 27 日	三重県遊技業協同組合桑名支部から防災指導センター指導車（トヨタハイエースバン）の寄贈を受け、防災指導センターに配備
平成 17 年 3 月 3 日	東員分署の 2 B 型救急車「救急員弁 1」を高規格救急車に更新、これにより、桑名消防保有の救急自動車 10 台すべてが高規格救急自動車となり救急の高度化体制が整い、医師の包括的な指示のもと救急救命士が傷病者に対し高度な救命処置と搬送が可能となった
3 月 30 日	消防署の化学消防ポンプ自動車 IV 型「桑名 4」を更新
4 月 1 日	十五代目消防長が就任
10 月 21 日	長島木曾岬分署のはしご付消防ポンプ自動車「長島 31」を、三重県下初の先端屈折・水路管装備、30m 級はしご付消防自動車に更新
12 月 1 日	消防署の現場指揮車「桑名 51」を更新
平成 18 年 3 月 24 日	員弁南分署に訓練塔が完成、1 階に救急消毒室、および壁面には消防訓練施設としては三重県下初のクライミングウォールを設置 建築面積 47.67 m ² 延床面積 110.70 m ² 高さ 10.75m
4 月 1 日	桑名市大字増田にあった西分署を大字赤尾 2107 番地 2 に移転、同日から分署長以下 15 名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、消防ポンプ自動車 CD - I 型 1 台、高規格救急自動車 1 台、防災指導車 1 台、自家発電設備、太陽電池発電所、ポンプ操法訓練場、放水壁、雨水利用防火水槽、自家給油所の装備で業務を開始 建築面積 1,104.98 m ² 延面積 1,389.19 m ² 敷地面積 4,000.02 m ² 訓練棟高 13.83m
8 月 24 日	第 35 回全国消防救助技術大会（札幌市）に「ロープブリッジ渡過」が三重県代表として出場
11 月 27 日	大山田分署の高規格救急車「救急桑名 3」を更新
12 月 5 日	消防署の小型動力ポンプ付水槽車 II 型「桑名 5」を更新
平成 19 年 4 月 1 日	十六代目消防長が就任 消防本部の組織機構を一部改正し予防課火災調査係を廃止 消防署の組織に指揮情報係を新設 消防指令センターを四日市市消防本部と共同で桑名市消防本部庁舎内に整備し、3 部制で業務を開始
8 月 10 日	消防本部の訓練指導車を更新
12 月 1 日	東員分署の化学消防ポンプ自動車 II 型「東員 4」を更新

平成 20 年 1 月 7 日	員弁南分署の水槽付消防ポンプ自動車 I - A 型「員弁南 1」を更新
1 月 16 日	消防署に消防ポンプ自動車 CD - I 型「桑名 3」を配備
2 月 1 日	消防署の高規格救急車「救急桑名 1」を更新
4 月 1 日	市条例消防職員定数を 246 名に改正 桑名市多度町香取にあった多度分署を多度町小山 1243 番地に移転、同日から分署長以下 13 名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、消防ポンプ自動車 CD - 1 型 1 台、可搬ポンプ積載車 1 台、高規格救急自動車 1 台、防災指導車 1 台、自家発電設備、太陽電池発電所、雨水利用防火水槽、自家給油所の装備で業務を開始 建築面積 1,099.45 m ² 延面積 1,334.14 m ² 敷地面積 3,913.69 m ² 訓練塔高 12.00m
4 月 17 日	桑名防火協会から査察車（トヨタサクシード）の寄贈を受け、消防本部に配備
8 月 19 日	新型防火衣を全職員に配備
平成 21 年 2 月 9 日	員弁北分署の水槽付消防ポンプ自動車 I - A 型「員弁北 1」を更新
2 月 10 日	消防署の積載車「桑名 6」を更新
9 月 1 日	全国瞬時警報システム（J-ALERT）を消防署に整備
平成 22 年 2 月 5 日	西分署、員弁南分署の高規格救急車「救急桑名 2、救急員弁 2」を更新
8 月 27 日	第 39 回全国消防救助大会（京都市）に「ほふく救出」が三重県代表として出場
平成 23 年 3 月 11 日	午後 2 時 46 分、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生 3 月 11 日から 3 月 21 日の間、緊急消防援助隊（3 隊延べ 15 名）を千葉県市原市及び宮城県仙台市若林区に派遣
3 月 26 日	石博トンネル開通に伴い、東近江行政組合、いなべ市と消防相互応援協定を締結
3 月 28 日	員弁南分署を増改築
3 月 31 日	員弁南分署に支援車 II 型「員弁南 51」を配備
4 月 1 日	十七代目消防長が就任 消防本部の組織機構を一部改正し通信指令室、防災指導センターを課に改めた 消防署の組織機構を一部改正し指揮体制を桑名方面と員弁方面に分け、各方面に方面隊長を配置。消防署の体制を 2 係制から 3 係制に変更
11 月 9 日	東日本大震災に際し、緊急消防援助隊を出場させたことにより、「消防職団員への感謝の集い」に係る総務大臣表彰を受ける
平成 24 年 2 月 25 日	消防本部に新型車両（多目的緊急自動車）配備
8 月 7 日	第 41 回全国消防救助大会（東京都）に「はしご登はん」「ロープ応用登はん」が三重県代表として出場
平成 25 年 1 月 29 日	西分署、多度分署の水槽付消防ポンプ自動車 I - A 型（桑名西 1、多度 1）を消防ポンプ自動車 CD - I 型（小型水槽 CAFS 付）に更新 消防署の高規格救急車「救急桑名 4」を更新
2 月 14 日	「資機材搬送車」の無償使用を開始（総務省消防庁）
8 月 22 日	第 42 回全国消防救助大会（広島県）に「ほふく救出」「はしご登はん」「ロープ応用登はん」が三重県代表として出場
12 月 3 日	員弁南分署の救助工作車 II 型「員弁南 41」を更新
12 月 4 日	員弁北分署の高規格救急車「救急員弁 3」を更新

平成 26 年 1 月 15 日	消防署の高規格救急車「救急桑名 5」を更新
2 月 7 日	消防署、長島木曾岬分署の消防ポンプ自動車 CD - I 型（桑名 2、長島 2）を消防ポンプ自動車 CD - I 型（小型水槽 CAFS 付）に更新
4 月 1 日	十八代目消防長が就任
8 月 27 日	「ロープブリッジ渡過」「ロープ応用登はん」「溺者搬送」の各種目において第 43 回全国消防救助大会東海地区代表に決定したが、広島市で発生した大雨に起因する土砂災害により全国大会は中止となる
平成 27 年 1 月 16 日	長島木曾岬分署、東員分署の高規格救急車「救急長島 1、救急員弁 1」を更新
4 月 1 日	市条例消防職員定数を 252 名に改正 消防本部の組織機構を一部改正し、消防課を消防救急課、消防係を消防救助係、救急係を救急管理係、指導係を普及啓発係に改め、予防課に指導係を加えた
8 月 3 日	消防本部に連絡車（ダイハツミライース）を配備
8 月 29 日	第 44 回全国消防救助大会（兵庫県）に「ロープ応用登はん」が三重県代表として出場
平成 28 年 2 月 16 日	大山田分署、多度分署の高規格救急車「救急桑名 3、救急多度 1」を更新
4 月 1 日	十九代目消防長が就任 消防本部、消防署の組織改編に伴い、指揮調査課を新設し、員弁南分署をいなべ消防署、東員分署を東員消防署とした。消防署の勤務体制を 3 係制から 2 係制に変更 消防救急デジタル無線への移行に伴い、四日市市消防本部及び菟野町消防本部と共同で四日市市中消防署中央分署内で「三重北消防指令センター」として運用開始
8 月 24 日	第 45 回全国消防救助大会（愛媛県）に「ロープ応用登はん」が三重県代表として出場
平成 29 年 1 月 11 日	いなべ消防署北分署の小型動力ポンプ積載車「いなべ北 71」を更新
4 月 1 日	防災指導課が市長直轄組織防災・危機管理課へ統合
8 月 23 日	第 46 回全国消防救助大会（宮城県）に「ほふく救出」が三重県代表として出場
平成 30 年 1 月 24 日	桑名市消防署の高規格救急車「救急桑名 1」を更新
7 月 12 日	7 月 12 日から 7 月 18 日の間、平成 30 年 7 月豪雨に伴い、緊急消防援助隊（2 隊延べ 12 名）を広島県熊野町川角地区に派遣
8 月 15 日	いなべ消防署の高規格救急車「救急いなべ 1」を更新
8 月 24 日	「ロープ応用登はん」が第 47 回全国消防救助大会（京都府）東海地区代表として決定したが、台風第 20 号等の影響により全国大会は中止となる
10 月 15 日	救急ワークステーションの運用開始
11 月 7 日	いなべ消防署の小型動力ポンプ積載車「いなべ 71」を更新
平成 31 年 1 月 10 日	桑名市消防署の水槽付消防ポンプ自動車 I - A 型「桑名 1」を更新
1 月 16 日	東員消防署の消防ポンプ自動車 CD - I 型「東員 2」を更新
4 月 1 日	二十代目消防長が就任
令和元年 6 月 3 日	消防本部の広報車「桑名 61」を連絡車（ダイハツムーヴ）に更新
9 月 26 日	いなべ消防署北分署の災害対応車「いなべ北 52」を更新 東員消防署の災害対応車「東員 52」を更新
10 月 1 日	Net119 緊急通報システムの運用開始
令和 2 年 2 月 14 日	西分署の高規格救急車「救急桑名西 1」を更新

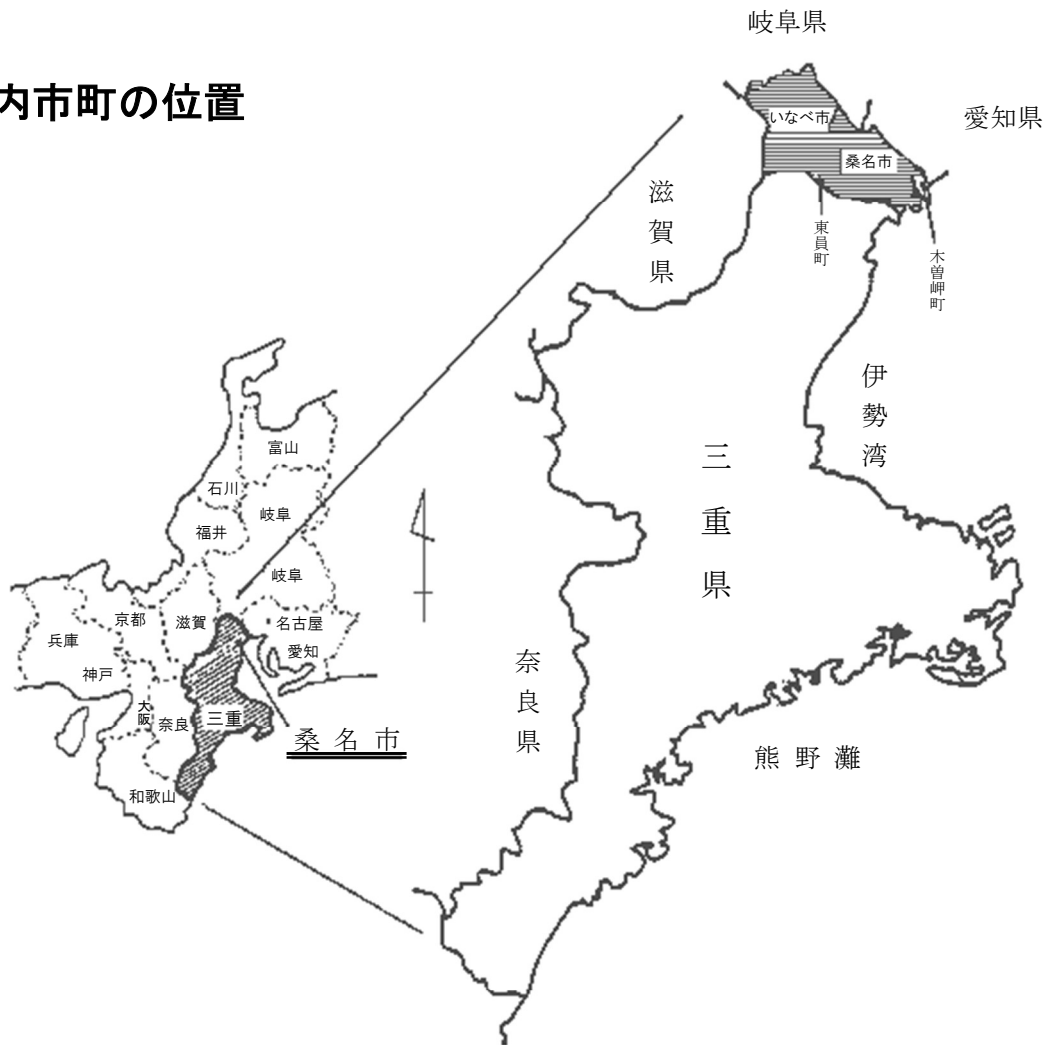
3月5日	東員消防署のクレーン付資機材搬送車「東員 71」を更新
3月13日	「高機能救命ボート」の無償使用を開始（総務省消防庁）
12月18日	東員消防署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A型「東員 1」を更新
令和3年1月10日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、桑名市消防出初式を中止
3月9日	大山田分署の屈折梯子付消防ポンプ自動車「大山田 31」を更新
3月15日	桑名市消防署の救助工作車Ⅲ型「桑名 41」を更新
7月20日	119 番映像通報システムの運用開始
11月29日	長島木曾岬分署の水槽付消防ポンプ車「長島 1」を更新
令和4年2月14日	いなべ消防署北分署の小型動力ポンプ付水槽車「いなべ北 5」を更新
3月1日	いなべ消防署北分署の消防ポンプ自動車「いなべ北 2」を更新
5月18日	桑名防火協会から火災予防啓発車（ニッサンセレナ）の寄贈を受け、消防本部に配備
10月27日	「桑名消防ドローン隊」発足（隊員 6 名）
令和5年1月5日	桑名市消防署の高規格救急車「救急桑名 2」を更新
2月21日	いなべ消防署の消防ポンプ自動車 CD - I 型「いなべ 2」を更新
3月22日	桑名市消防署の資機材搬送車「桑名 72」を更新
3月23日	長島木曾岬分署の梯子付消防自動車「長島 31」を更新
5月22日	「ハイスペックドローン及び映像伝送装置」の無償使用を開始
6月1日	「桑名消防ドローン隊」発隊式
7月9日	桑名市消防庁舎等再編整備事業に伴う起工式を実施
7月14日	西分署の防災指導車（軽四）を更新 大山田分署の防災指導車（軽四）を更新 長島木曾岬分署の災害対応車「長島 52」を防災指導車（軽四）に更新
令和6年1月1日	16時10分頃、令和6年能登半島地震発生 1月10日から1月19日の間、令和6年能登半島地震に伴い、緊急消防援助隊（12 隊延べ 41 名）を石川県輪島市に派遣
1月7日	令和6年能登半島地震の影響を考慮して、桑名市消防出初式を中止
3月4日	消防庁長官から竿頭綬を授与される 消防本部の予防広報車「桑名 63」を更新（カラーフィールダー）
3月14日	桑名市消防署の高規格救急車「救急桑名 3」を更新
3月22日	東員消防署の高規格救急車「救急東員 1」を更新 いなべ消防署北分署の高規格救急車「救急いなべ北 1」を更新
4月1日	二十一代目消防長が就任
4月22日	桑名市において、第 106 回全国消防長会財政委員会を開催（ホテル花水木）
6月18日	消防本部の連絡車（ワゴン R）を更新
7月2日	消防本部の連絡車（ek-クロス）を更新
8月23日	第 52 回全国消防救助大会（千葉県）に「障害突破」が東海地区代表として出場
令和7年3月24日	桑名市消防署長島木曾岬分署の高規格救急車「救急長島 1」を更新
3月27日	いなべ消防署の災害対応車「いなべ 52」を更新
3月28日	消防本部の指揮車「桑名 51」を更新
6月2日	消防本部及び大山田分署を桑名市大山田 1 丁目 9 番地に移転。新庁舎は、大山田地

	<p>区市民センター、大山田まちづくり拠点施設、郵便局、消防団詰所、防災広場を併設し、防災拠点と地域コミュニティ拠点の機能を兼ね備えた消防庁舎等複合施設(愛称「クワナビスタ」)として整備</p> <p style="text-align: center;">建築面積 2,698.34 m² 延面積 4,667.21 m² 敷地面積 6,919.48 m²</p>
10月9日	多度分署の高規格救急車「救急多度1」を更新
11月9日	消防本部の連絡車(カラーラツリング)を更新
12月18日	大山田分署の高規格救急車「救急大山田1」を更新
令和8年1月7日	桑名市消防署の化学消防ポンプ自動車Ⅲ型「桑名10」を更新
2月9日	消防本部の災害対応車「桑名52」を更新
2月26日	桑名市消防本部、四日市市消防本部及び菰野町消防本部が共同で運用している三重北消防指令センターの「消防指令システム」を更新

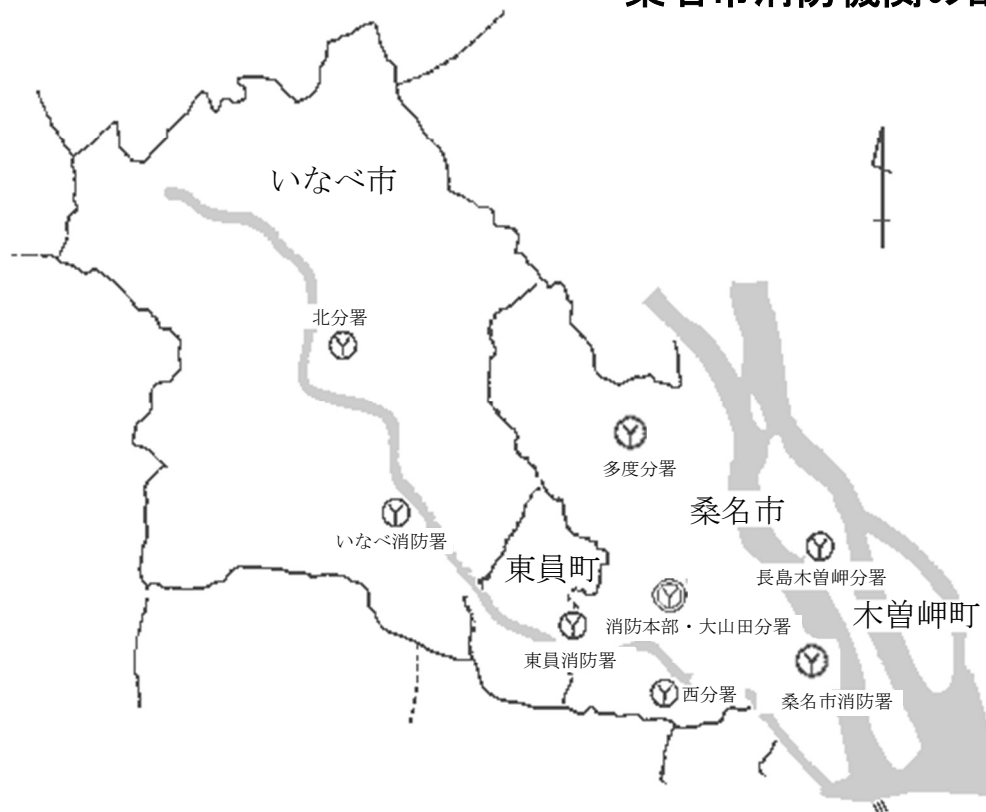
消 防 の 現 勢

(令和8年4月1日現在)

管内市町の位置



桑名市消防機関の配置図



庁舎施設概要

1. 消防本部・大山田分署（複合施設）



所在地 〒511-0903 桑名市大山田1丁目9番地
構造 鉄骨造地下1階地上2階建
敷地面積 6,919.48 m²
建築面積 2,698.34 m²
建築延面積 4,667.21 m²
竣工 令和7年3月
移転 令和7年6月2日
TEL [本部] 0594(86)7483
FAX [本部] 0594(86)7492
TEL [分署] 0594(31)5564
FAX [分署] 0594(31)9890

2. 桑名市消防署



所在地 〒511-0836 桑名市大字江場7番地
構造 鉄筋コンクリート造3階建（一部2階建）
敷地面積 7,896.53 m²
建築面積 2,316.82 m²（訓練棟・救急消毒室・別棟車庫含む）
建築延面積 5,248.88 m²（ " " ）
竣工 平成5年11月
移転 平成6年2月1日
TEL 0594(24)0119（代表）
FAX 0594(24)5285

3. 西分署



所在地 〒511-0934 桑名市大字赤尾2107番地2
構造 鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積 4,000.02 m²
建築面積 1,104.98 m²（訓練棟含む）
建築延面積 1,389.19 m²（ " " ）
竣工 平成18年3月
移転 平成18年4月1日
TEL 0594(32)5999
FAX 0594(32)6001

4. 多度分署



所在地 〒511-0105 桑名市多度町小山1243番地
構造 鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積 3,913.69 m²
建築面積 1,099.45 m²（訓練棟・救急消毒室含む）
建築延面積 1,334.14 m²（ " " ）
竣工 平成20年3月
移転 平成20年4月1日
TEL 0594(48)3199
FAX 0594(48)5699



5. 長島木曾岬分署

所在地 〒511-1122 桑名市長島町松ヶ島 43 番地
 構造 鉄筋コンクリート造 2階建
 敷地面積 1,725.00 m²
 建築面積 604.39 m² (訓練棟・救急消毒室含む)
 建築延面積 867.50 m² (")
 竣工 昭和 59 年 11 月
 開設 昭和 59 年 11 月 1 日
 TEL 0594 (42) 3651
 FAX 0594 (42) 3869



6. いなべ消防署

所在地 〒511-0272 いなべ市大安町高柳 418 番地
 構造 鉄筋コンクリート造 2階建
 敷地面積 3,535.480 m²
 建築面積 849.572 m² (訓練棟・救急消毒室含む)
 建築延面積 1120.907 m² (")
 竣工 平成 3 年 2 月
 開設 平成 3 年 3 月 1 日
 TEL 0594 (78) 1999
 FAX 0594 (78) 2744



7. 北分署

所在地 〒511-0417 いなべ市北勢町瀬木 50 番地 10
 構造 鉄筋コンクリート造 2階建他 1 棟
 敷地面積 3,080.000 m²
 建築面積 729.702 m² (訓練棟・救急消毒室含む)
 建築延面積 1,137.731 m² (")
 竣工 平成 3 年 2 月
 開設 平成 3 年 3 月 1 日
 TEL 0594 (72) 6599
 FAX 0594 (72) 4200



8. 東員消防署

所在地 〒511-0242 員弁郡東員町大字六把野新田 86 番地 1
 構造 鉄筋コンクリート造 2階建
 敷地面積 2,707.870 m²
 建築面積 696.089 m² (訓練棟・救急消毒室含む)
 建築延面積 927.070 m² (")
 竣工 昭和 61 年 11 月
 開設 昭和 61 年 11 月 1 日
 TEL 0594 (76) 7599
 FAX 0594 (76) 9890

一目消防概要

管内人口	[2市2町]	209,412人			
管内面積	[2市2町]	394.90 k㎡			
署所数	[2市2町]	3署5分署			
消防予算	[当初予算]	3,162,373千円			
消防職員数	定員	252人	実員	259人 (含消防長・事務吏員)	
消防団員数	[桑名市] 定員	776人	実員	640人	
消防車両					
[常備]	計58台	屈折梯子付消防ポンプ自動車		1台	
		梯子付消防自動車		1台	
		化学消防ポンプ自動車		3台	
		水槽付消防ポンプ自動車		6台	
		消防ポンプ自動車		9台	
		大型水槽車		2台	
		小型動力ポンプ積載車		3台	
		救急自動車		10台	
		救助工作車		2台	
		その他の車両		21台	
[非常備] (桑名市)	計28台	消防ポンプ自動車		2台	
		小型動力ポンプ付積載車		24台	
		その他の車両		2台	
消防水利	[桑名市]	消火栓	3,326基	防火水槽	406基
	[受託市町]	消火栓	3,067基	防火水槽	750基
区分		令和7年(A)	令和6年(B)	増減(A)-(B)	
☆ 火災					
火災発生件数	(件)	75	59	16	
損害額	(千円)	100,684	121,808	-21,124	
建物焼損面積	(㎡)	1,622	2,228	-606	
り災世帯数	(世帯)	25	16	9	
最も多かった火災原因		たき火17件 (23%)	たき火11件 (19%)		
☆ 救急					
救急出場件数	(件)	11,712	11,375	337	
搬送人員	(人)	10,770	10,532	238	
救助出場件数	(件)	84	97	-13	
☆ 防火対象物数	(件)	7,173	7,109	64	
☆ 危険物施設数	(件)	981	979	2	
☆ 建築同意数	(件)	218	243	-25	

※管内情勢、人員、装備、水利、防火対象物は令和8年4月1日現在

※火災、救急、危険物施設、建築同意は各年中統計

管内情勢

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1. 市制施行年月日 | 昭和12年4月1日 |
| 2. 消防本部設置年月日 | 昭和24年10月1日 |
| 3. 消防署設置年月日 | 昭和34年9月30日 |
| 4. 多度町消防事務受託年月日 | 昭和45年4月1日 |
| 5. 長島町・木曾岬消防事務受託年月日 | 昭和59年4月1日 |
| 6. 東員町消防事務受託年月日 | 昭和61年4月1日 |
| 7. 北勢町・員弁町・大安町・藤原町消防事務受託年月日 | 平成元年9月29日 |
| 8. いなべ市合併（員弁町、北勢町、大安町、藤原町）年月日 | 平成15年12月1日 |
| 9. 桑名市合併（桑名市、多度町、長島町）年月日 | 平成16年12月6日 |

市町別の面積・世帯数・人口

（令和8年4月1日現在）

市町別	区分	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口		
				計(人)	男(人)	女(人)
桑名市		136.65	62,553	136,545	67,734	68,811
いなべ市		219.83	17,801	41,588	21,207	20,381
木曾岬町		15.74	2,699	5,836	3,073	2,763
東員町		22.68	10,380	25,443	12,484	12,959
合計		394.9	93,433	209,412	104,498	104,914

消防相互応援協定状況

名称	施行年月日	協定締結団体名
桑名市・海部南部消防組合消防相互応援協定	昭和63年1月1日	海部南部消防組合
国道306号線消防相互応援協定	平成6年8月1日	彦根市消防本部
高速道路における消防相互応援協定	平成18年4月1日	海部南部消防組合
東海三県境地域消防相互応援協定	平成18年12月27日	愛西市・海津市
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日	三重県下市町等
石樽トンネルにかかる消防相互応援協定	平成23年3月26日	東近江行政組合、いなべ市
三重県内高速道路等における消防相互応援協定書	平成31年3月17日	三重県6市10町 3消防組合

消防予算の推移（当初予算）

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
消防予算	3,515,692 千円	4,080,773 千円	3,801,575 千円	3,162,373 千円
増減	20.5 %	16.1 %	△ 6.8 %	△ 16.8 %

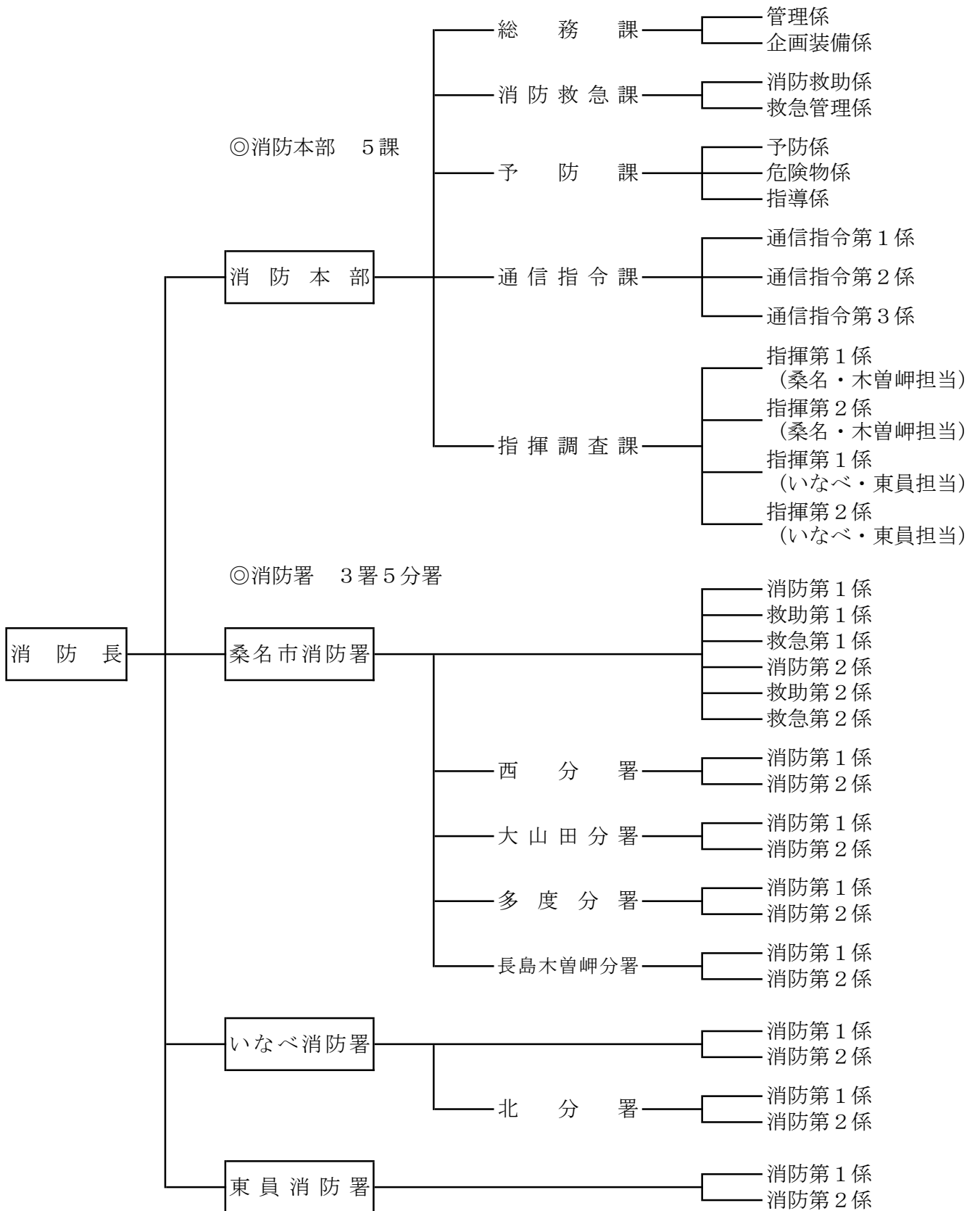
※ 消防予算には、水防費、災害対策費および分署建設費は含まない

令和8年度消防予算（当初予算）

（単位：千円）

目 節	常備 消防費	長島木曾岬 分署消防費	いなべ消防署 消防費	東員消防署 消防費	非常備 消防費	計
報酬					54,536	54,536
給料	695,973	92,769	190,694	94,948		1,074,384
職員手当等	680,851	93,348	201,302	100,666		1,076,167
共済費	252,045	34,737	71,877	35,751		394,410
災害補償費					300	300
報償費	140		20	20	17,766	17,946
旅費	3,927		110	299	437	4,773
交際費					64	64
需用費	65,169	8,251	20,734	9,291	7,552	110,997
役務費	11,751	1,481	3,125	1,607	888	18,852
委託料	22,250	1,421	2,157	864	285	26,977
使用料及び賃借料	12,144	1,217	2,255	1,126	170	16,912
工事請負費				3,806	2,596	6,402
原材料費				20	20	40
備品購入費	107,306		113,797		20,916	242,019
負担金、補助及び交付金	97,651	14	28	14	17,070	114,777
補償、補填及び賠償金						0
償還金、利子及び割引料						0
公課費	1,346	286	393	110	682	2,817
合計	1,950,553	233,524	606,492	248,522	123,282	3,162,373

消防本部・消防署の組織



消防本部・消防署事務分掌

○ 総務課

- (1) 公印の管理に関する事。
- (2) 消防庶務に関する事。
- (3) 職員の人事、給与、研修、福利厚生、表彰等に関する事。
- (4) 文書の收受、発送及び保存に関する事。
- (5) 条例、規則、告示、公告等に関する事。
- (6) 諸会議に関する事。
- (7) 消防施設、装備等の整備保全に関する事。
- (8) 公務災害補償に関する事。
- (9) 組織運営の調整に関する事。
- (10) 消防計画に関する事。
- (11) 消防統計の編集及び広報広聴に関する事。
- (12) 消防水利施設に関する事。
- (13) 消防団の表彰に関する事。
- (14) 他の課に属しない事。
- (15) 前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

○ 消防救急課

- (1) 消防職員の教養訓練に関する事。
- (2) 消防職員の服務規律に関する事。
- (3) 警防本部に関する事。
- (4) 消防機械器具の運用保全に関する事。
- (5) 警防及び救助業務に関する事。
- (6) 救急業務に関する事。
- (7) 緊急消防援助隊に関する事。
- (8) 高速道路連絡協議会に関する事。
- (9) 消防広域応援に関する事。
- (10) 消防団全般に関する事。
- (11) 前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

○ 予防課

- (1) 火災予防思想の普及に関する事。
- (2) 桑名市火災予防条例(平成16年桑名市条例第163号)に関する事。
- (3) 防火管理に関する事。
- (4) 防火対象物等の立入検査に関する事。
- (5) 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- (6) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (7) 建築確認等の消防同意に関する事。
- (8) 危険物製造所等の立入検査に関する事。
- (9) 危険物製造所等の許認可、承認及び届出に関する事。
- (10) 危険物及び危険物災害の調査に関する事。
- (11) ガス用品及び液化石油ガス器具等の立入検査等に関する事。
- (12) 前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

○ 通信指令課

- (1) 火災、救急その他災害の情報及び出場指令に関すること。
- (2) 消防通信の統制に関すること。
- (3) 消防通信施設の維持管理に関すること。
- (4) 通信技術の訓練に関すること。
- (5) 気象観測に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

○ 指揮調査課

- (1) 警防活動業務の情報の収集及び提供に関すること。
- (2) 消防活動部隊の安全管理及び消防指揮に関すること。
- (3) 火災警戒区域に関すること。
- (4) 現場広報に関すること。
- (5) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (6) 火災統計に関すること。
- (7) り災証明に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

○ 消防署 分署

- (1) 水火災の警戒防御並びに救急及び救助に関すること。
- (2) 消防及び防災訓練並びに警防計画に関すること。
- (3) 消防施設、機械器具等の保全及び点検に関すること。
- (4) 消防水利に関すること。
- (5) 火災の原因及び損害調査並びにその他災害の調査に関すること。
- (6) 火災予防思想の普及に関すること。
- (7) り災証明に関すること。
- (8) 救急搬送証明に関すること。
- (9) 桑名市火災予防条例（平成16年桑名市条例第163号）に関すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

歴代消防長

歴代	氏名	在職年数	在職年月日	備考
初代	林 光 男	5年7月	昭和24.10.1～昭和30.4.30	兼務
二代	椽 尾 清太郎	4年2月	昭和30.5.1～昭和34.7.12	〃
三代	伊 藤 亮 吉	9年8月	昭和34.7.13～昭和44.3.31	専任
四代	小 林 金 蔵	7年0月	昭和44.4.1～昭和51.4.4	〃
五代	水 谷 郁 夫	11年2月	昭和51.4.5～昭和62.5.31	〃
六代	鈴 木 聖 三	1年5月	昭和62.6.2～昭和63.10.30	〃
七代	栗 田 浩 司	0年11月	昭和63.11.1～平成元.9.30	〃
八代	飯 田 努	1年8月	平成元.10.1～平成3.5.31	〃
九代	栗 田 浩 司	1年4月	平成3.6.1～平成4.9.30	〃
十代	安 藤 良 一	0年6月	平成4.10.1～平成5.3.31	〃
十一代	久保田 善 之	3年0月	平成5.4.1～平成8.3.31	〃
十二代	須 川 昌 宏	1年0月	平成8.4.1～平成9.3.31	〃
十三代	水 谷 廣	3年0月	平成9.4.1～平成12.3.31	〃
十四代	松 下 和 夫	5年0月	平成12.4.4～平成17.3.31	〃
十五代	谷 口 勝	2年0月	平成17.4.1～平成19.3.31	〃
十六代	佐 藤 久 善	4年0月	平成19.4.1～平成23.3.31	〃
十七代	安 藤 大 観	3年0月	平成23.4.1～平成26.3.31	〃
十八代	伊 藤 治 雄	2年0月	平成26.4.1～平成28.3.31	〃
十九代	郡 裕 章	3年0月	平成28.4.1～平成31.3.31	〃
二十代	杉 山 伸 司	5年0月	平成31.4.1～令和6.3.31	〃
二十一代	井 上 智 博		令和6.4.1～	〃

消防本部・消防署の職員現勢

(階級別)

(令和8年4月1日現在)

階級		計	消防	消防	消防	消防	消防	消防	消防	消防	消防
所属			正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	その他 の職員
消防本部	消防長	1	1								
	消防次長	2		2							
	総務課	9			1	1	2	4			1
	消防救急課	11			1	3	5	2			
	予防課	9			1	3	1	4			
	通信指令課	11			1	7	2	1			
	指揮調査課	23			5	4	8	6			
	救命士研修所入所	2						2			
	防災航空隊派遣	1						1			
	消防学校派遣	1				1					
小計	70	1	2	9	19	18	20	0	0	1	
消防署	桑名市消防署	37		1		6	9	14		7	
	西分署	13			1	3	3	5		1	
	大山田分署	23			1	2	8	6	1	5	
	多度分署	13			1	2	4	6			
	長島木曾岬分署	24			1	3	5	10		5	
	いなべ消防署	23		1		3	7	8		4	
	北分署	23			1	2	6	8		6	
	東員消防署	23		1		2	8	6		6	
小計	179	0	3	5	23	50	63	1	34	0	
消防学校入校	10									10	
合計	259	1	5	14	42	68	83	1	44	1	

※その他の職員には、桑名市役所からの出向者を含む

階級別勤続年数状況

(令和8年4月1日現在)

年数	階級 計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
		1	5	14	42	68	83	1	44	
平均	20.6	35.0	36.0	34.1	31.1	25.0	18.1	31.0	2.2	
1年未満	10								10	
1	12								12	
2	5								5	
3	5								5	
4	6								6	
5	6						4		2	
6	12						8		4	
7	7						7			
8	5						5			
9	5						5			
10	7						7			
11	4						4			
12	1						1			
13	3						3			
14	2						2			
15	6					1	5			
16	11					8	3			
17	2					2				
18	11				1	8	2			
19	7					6	1			
20	5				2	2	1			
21	4					4				
22	7				2	5				
23	7			1	2	4				
24	2				2					
25	2				2					
26	4				4					
27	4				1	3				
28	0									
29	0									
30	6				2	2	2			
31	7		1	1	2	1	1	1		
32	11			2	4	3	2			
33	12			2	1	4	5			
34	7			1	1	3	2			
35	10	1	1	1	4	2	1			
36	17		1	3	3	8	2			
37	1						1			
38	2			1	1					
39	7		2	1	4					
40	5			1		2	2			
41	1						1			
42	6				3		3			
43	3				1		2			
44	1						1			

階級別年齢状況

(令和8年4月1日現在)

年齢	階級 計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	0 2 4 6 8 10 12 14
		1	5	14	42	68	83	1	44	
平均	43.8	61.0	58.2	54.3	52.6	46.8	40.0	53.0	23.4	
18	1								1	1
19	3								3	3
20	1								1	1
21	4								4	4
22	9								9	9
23	6								6	6
24	8								8	8
25	4						2		2	4
26	7						2		5	7
27	9						6		3	9
28	3						3			3
29	3						3			3
30	5						5			5
31	4						3	1		4
32	7						6	1		7
33	7						7			7
34	1						1			1
35	3						3			3
36	4						4			4
37	7					4	3			7
38	8					6	2			8
39	5					4	1			5
40	2				1	1				2
41	10					6	4			10
42	5				1	3	1			5
43	6					6				6
44	7				3	3	1			7
45	7				2	4	1			7
46	2			1		1				2
47	0									0
48	8				6	2				8
49	1						1			1
50	8			1	3	2	2			8
51	8			1	3	1	3			8
52	8			1	2	4	1			8
53	13				4	5	3	1		13
54	8			3		5				8
55	5			1	2	1	1			5
56	5		1	1		3				5
57	7			2	3	1	1			7
58	12		1	3	2	4	2			12
59	7		3		2	1	1			7
60	8				6		2			8
61	7	1			2	1	3			7
62	3						3			3
63	0									0
64	2						2			2
65	0									0

消防職員教養研修状況

(令和8年4月1日現在)

機関名	階 級 科 別		計	消 正	防 監	消 防 監	消 司 令 長	消 司 令	防 司 令	消 司 令 補	消 士	防 長	消 副 士 長	消 防 士	
消 防 大 学 校	総合教育	幹 部 研 修 科	10	1	1	2	4			2					
	専科教育	警 防 科	1			1									
		危 険 物 科	1							1					
		火 災 調 査 科	1						1						
		救 助 科	2					1		1					
三 重 県 消 防 学 校 員		上級幹部科	1								1				
		中級幹部科	34		5	3	16	8	2						
		初級幹部科	52		1	5	17	20	9						
	職 員	特 殊 災 害 科	特殊災害課程	17		1	1	9	3	3					
		警防科	警防課程	59	1		3	12	22	20	1				
			予防科	予防課程	4	1			2	1					
		危険物科	危険物課程	25			4	6	11	4					
			予 防 査 察 科	査察課程	30		2	1	8	10	9				
		火 災 調 査 科	火災調査課程	39		1	7	8	13	10					
			救 急 科	救 急 科	26		2	3	9	2	10				
		救急Ⅰ課程		70	1	3	10	17	23	15	1				
		救急Ⅱ課程		96	1	5	13	26	25	25	1				
		救急課程 (救急標準課程)		152			1	16	43	58				34	
		救 助 科	救助課程	80		1	9	24	24	22					
			水難救助課程	33		1	4	5	14	9					
			水難指導員	6				1	3	2					
		特 別 科	はしご自動車講習会	45			7	18	9	11					
			薬剤投与講習	7			3		2	2					
		初任	初 任 科	258	1	5	14	42	68	83	1		44		
そ の 他	名古屋養成所	救急救命士養成教育	17				4	5	8						
	東京研修所	救急救命士養成課程	24			4	9	7	4						
	九州研修所	救急救命士養成課程	5					3	2						
		薬剤投与追加講習	6			1	2	3							
		救命士気管挿管病院実習	9				2	6	1						

消防職員消防関係資格取得状況

(令和8年4月1日現在)

科 別		階 級	計	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自動車 運転 免許	普通免許		257	1	5	14	42	68	83	1	43	
	大型免許		169	1	2	14	40	61	49	1	1	
	大型特殊		11				4	3	3		1	
	けん引免許		7				4		2		1	
	自動二輪		69		1	5	17	25	15		6	
小型船舶操縦士免許			66		2	5	24	20	15			
危険物取扱者	甲種		1						1			
	乙種		188	1	3	8	30	55	68	1	22	
	丙種		6	1		1	1	1	1		1	
予防技術資格者	防火査察		38		1	3	8	14	12			
	消防設備		9		1	1	4	3				
	危険物		8		1	2	2	3				
潜水士免許			56		1	5	16	18	15			1
救急救命士			71			4	13	20	25			9
救急隊員資格取得者			248	1	5	14	42	68	83	1	34	
特殊無線技士免許			248	1	5	14	42	68	83	1	34	
電話級アマチュア無線技士			9		1	2	4	1	1			
クレーン運転士免許			1	1								
小型移動式クレーン運転技能特例講習			245	1	5	14	42	66	82	1	34	
玉掛技能講習			240	1	5	13	40	65	81	1	34	
ガス・アーク溶接技能			129	1	3	12	34	57	21	1		
第二種酸素欠乏危険作業主任者技能講習			40	1	1	6	11	13	7	1		
足場組立等作業主任者			6	1			2		3			
高圧ガス製造保安責任者免許	特別丙化		19		2	2	6	3	6			
衛生管理者免許			15			1	9	1	3		1	
16mm映写技術者免許			13		1	2	4	3	3			
電気工事士免許			4	1			1	2				
2級ボイラー技士免許			1					1				
毒物・劇物取扱者			16			1	6	5	4			

消防本部・消防署車両の配置状況

(令和8年4月1日現在)

所属	車種	車名	型別	車両番号	年式	メーカー	ポンプ能力	備考
消防本部	指揮車	桑名51		三重800 せ61-84	R7. 3. 27	日産		
	指揮車	桑名52		三重800 せ65-82	R8. 2. 1	日産		
	指揮車	いなべ51		三重830 た 51	H23. 3. 30	トヨタ		4WD
	連絡車	カローラ ツーリング		三重302 と53-89	R7. 11. 7	トヨタ		ハイブリッド車
	連絡車	ワゴンR		三重582 こ77-07	R6. 6. 11	スズキ		ハイブリッド車
	連絡車	エスティマ		三重800 す79-88	H24. 2. 21	トヨタ		
	連絡車	スペーシア		三重582 く16-83	R5. 6. 22	スズキ		
	査察車	セレナ		三重503 ち60-19	R4. 3. 28	日産		桑名防火協会寄贈
	査察車	フィールダー		三重503 て71-06	R6. 2. 27	トヨタ		2WD
桑名市消防署	水槽付消防ポンプ自動車	桑名1	水Ⅰ-A型	三重800 は22-69	H30. 12. 25	日野	A-2	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	桑名2	CD-I型	三重800 す94-12	H26. 2. 5	トヨタ	A-2	CAFS搭載 水600ℓ
	大型水槽車	桑名5	Ⅱ型	三重800 ひ 5	H18. 12. 5	日野	B-2	水10,000ℓ
	化学消防ポンプ自動車	桑名10	Ⅲ型	三重830 は27-06	R7. 12. 19	日野	A-2	薬1,200ℓ 水1,500ℓ
	救助工作車	桑名41	Ⅲ型	三重800 は24-59	R3. 3. 12	日野		4WD
	資機材搬送車	桑名71		三重800 す86-81	H25. 2. 13	三菱		無償使用物品 (R4. 3. 31まで)
	資機材搬送車	桑名72		三重800 せ51-76	R5. 3. 22	トヨタ		
	救急自動車	救急桑名1	高規格	三重800 せ23-08	H30. 1. 10	トヨタ		4WD
	救急自動車	救急桑名2	高規格	三重800 せ50-65	R5. 1. 5	日産		4WD
	救急自動車	救急桑名3	高規格	三重800 せ56-58	R6. 3. 7	日産		4WD
	マイクロバス			三重200 さ 812	H16. 10. 15	日野		
連絡車	ek-クロス		三重582 こ88-32	R6. 6. 26	三菱		電気自動車	
西分署	消防ポンプ自動車	桑名西1	CD-I型	三重800 す86-39	H25. 1. 22	トヨタ	A-2	CAFS搭載 水600ℓ
	消防ポンプ自動車	桑名西2	CD-I型	三重830 や 119	H16. 2. 2	三菱	A-2	4WD
	救急自動車	救急桑名西1	高規格	三重800 せ58-67	R6. 8. 29	トヨタ		4WD
	防災指導車			三重582 く16-84	R5. 6. 22	スズキ		
大山田分署	化学消防ポンプ自動車	大山田1	I型	三重800 は15-91	H22. 12. 3	日野	A-2	薬 300ℓ 水1,200ℓ
	消防ポンプ自動車	大山田2	CD-I型	三重800 す45-83	H20. 1. 10	日野	A-2	
	屈折梯子付消防ポンプ自動車	大山田31		三重800 は24-55	R3. 3. 2	日野	A-2	16.1m
	救急自動車	救急大山田1	高規格	三重800 せ65-21	R7. 12. 11	トヨタ		4WD

所属	車種	車名	型別	車両番号	年式	メーカー	ポンプ能力	備考
多度分署	消防ポンプ自動車	多度1	CD-I型	三重800 す86-40	H25.1.22	トヨタ	A-2	CAFS搭載 水600ℓ
	水槽付消防ポンプ自動車	多度2	水I-A型	三重88 ま56-32	H11.2.5	日野	A-2	水1,500ℓ
	小型動力ポンプ積載車	多度71		三重88 ほ83-73	H7.11.28	トヨタ	B-3	可搬 4WD
	救急自動車	救急多度1	高規格	三重800 せ64-10	R7.10.1	トヨタ		4WD
	防災指導車			三重480 て91-33	H28.7.25	ダイハツ		
長島木曾岬分署	水槽付消防ポンプ自動車	長島1	水I-A型	三重800 は25-05	R3.11.22	日野	A-2	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	長島2	CD-I型	三重800 す94-13	H26.2.5	トヨタ	A-2	CAFS搭載 水600ℓ
	梯子付消防自動車	長島31		三重800 は25-75	R5.3.23	日野		緊急防災減災事業債
	資機材搬送車	長島71		三重800 す55-76	H21.2.9	三菱		
	救急自動車	救急長島1	高規格	三重800 せ61-57	R7.3.14	日産		4WD
	防災指導車			三重582 く16-85	R5.6.22	スズキ		
いなべ消防署	水槽付消防ポンプ自動車	いなべ1	水I-A型	三重800 す45-84	H20.1.11	日野	A-2	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	いなべ2	CD-I型	三重800 せ51-17	R5.2.21	日野	A-2	4WD
	救助工作車	いなべ41	II型	三重800 は18-31	H25.11.28	日野		4WD
	災害対応車	いなべ52		三重800 せ61-80	R7.3.26	三菱		4WD
	小型動力ポンプ積載車	いなべ71		三重880 あ24-72	H30.10.31	スズキ	B-3	可搬
	救急自動車	救急いなべ1	高規格	三重800 せ26-98	H30.8.10	トヨタ		4WD
北分署	水槽付消防ポンプ自動車	いなべ北1	水I-A型	三重831 り119	H21.1.27	日野	A-2	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	いなべ北2	CD-I型	三重800 せ47-16	R4.2.21	いすゞ	A-2	
	大型水槽車	いなべ北5		三重800 は25-22	R4.2.9	日野	A-2	水10,000ℓ
	災害対応車	いなべ北52		三重800 せ35-20	R1.9.17	日産		4WD
	小型動力ポンプ積載車	いなべ北71		三重880 あ21-51	H29.1.5	ダイハツ	B-3	可搬
	救急自動車	救急いなべ北1	高規格	三重800 せ56-59	R6.3.8	日産		4WD
東員消防署	水槽付消防ポンプ自動車	東員1	水I-A型	三重800 は24-35	R2.12.14	日野	A-2	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	東員2	CD-I型	三重800 せ29-65	H31.1.11	日野	A-2	
	化学消防ポンプ自動車	東員10	II型	三重800 は13-18	H19.11.27	日野	A-2	薬 500ℓ 水1,500ℓ
	災害対応車	東員52		三重800 せ35-36	R1.9.19	トヨタ		
	クレーン付資機材搬送車	東員71		三重800 せ38-19	R2.2.28	いすゞ		
	救急自動車	救急東員1	高規格	三重800 せ56-56	R6.3.7	日産		4WD

消防資機材一覧表

(令和8年4月1日現在)

種別	所属別	合計	所属別							
			本部 大山田 分署	桑名市 消防署	西分署	多度 分署	長島 木曾岬 分署	いなべ 消防署	北分署	東員 消防署
放水関係	ホース65mm (耐圧1.6)	592	80	103	49	49	65	65	99	82
	ホース40mm (耐圧1.6)	271	35	48	20	17	35	35	41	40
	放水銃	4	1	1	1					1
	クアドラノズル	50	6	9	2	2	6	7	8	10
	簡易発泡器	2	2							
	泡ノズル	12	3	4				1	1	3
	C A F Sノズル	8		2	2	2	2			
	可搬消防ポンプ	2						1	1	
	ジェットシューター	25	3			5	2	3	8	4
	組立式水そう	10	2	2		1	1	1	2	1
	Aクラス泡消火薬剤 (ℓ)	300		60	80	100	60			
Bクラス泡消火薬剤 (ℓ)	3,550	420	2,030				100	100	900	
救助関係	かぎ付はしご	13	2	3	1	1	3	1	1	1
	三連はしご	17	1	3	1	2	3	2	2	3
	ワイヤーはしご	1		1						
	空気式救助マット	2		1				1		
	救命索発射装置	2		1				1		
	救助用担架	13	2	3		1		3	2	2
	電動式簡易救助器具	5	1		1	1	1			1
	大型油圧スプレッダー	2		1				1		
	大型油圧カッター	2		1				1		
	可搬式ウィンチ	19	2	2	2	3	2	2	3	3
	スケッドストレッチャー	5				1		2	2	
	マット型空気ジャッキ	2		1				1		
	画像探索機Ⅰ型	1		1						
	画像探索機Ⅱ型	2		1				1		
	地中音響探知機	1		1						
	地震警報器	1		1						
	熱画像直視装置	4		2				2		
	夜間用暗視装置	1		1						
	マンホール救助器具	3					1	1		1
	緩降機	2					1	1		
	エンジンカッター	19	1	3	1	2	2	3	3	4
	ガス溶断器	3		1				1		1
	チェーンソー	11	1	2	1	2	1	1	2	1
	空気鋸	5		1	1	1	1		1	
削岩機	8	1	1	1	1	1	1	1	1	
ハンマードリル	2		1				1			
エアツール	2		1				1			

種別		所属別 合計	所属別								
			本部 大山田 分署	桑名市 消防署	西分署	多度 分署	長島 木曾岬 分署	いなべ 消防署	北分署	東員 消防署	
水難 救助 関係	潜水器具一式	12		12							
	潜水ポンベ	19		19							
	救命胴衣	164	14	55	8	18	33	11	12	13	
	救命浮環	23	1	10	3		3	4	1	1	
	救命ボート	6		2		1	2			1	
保安器具	空気呼吸器	91	12	20	4	7	11	12	13	12	
	空気呼吸器用ポンベ	216	28	53	10	12	25	38	21	29	
	酸素呼吸器	4		2				2			
	酸素ポンベ	149	13	41	14	10	14	21	15	21	
	送排風機	4		3				1			
	防塵マスク	65	21	5				5	21	13	
	防毒マスク	13		5				8			
	防毒衣	17	2	4	4		2		5		
	耐電衣一式	9	1	2			3	3			
	化学防護服（簡易）	850	13	340	50	150	12	165	100	20	
	陽圧式化学防護服	7		4				3			
	耐熱服	5		2						3	
	放射線防護服	5		3				2			
	耐刃防止衣	28	3	6	3	4	3	3	3	3	
	切創防止保護ズボン	8	1	1	1	1	1	1	1	1	
	検 知 器	可燃性ガス検知器									
		有毒ガス測定器	21	1	7	1	1	1	7	1	2
		酸素濃度測定器									
		放射線測定器	4		2				2		
		個人線量計	19		11				8		
	フルハーネス	36	4	6	3	3	4	6	6	4	
救急関係	手動式人工呼吸器（引金式）	1				1					
	自動式人工呼吸器	11	1	4	1	1	1	1	1	1	
	電動式吸引器	13	2	4	1	1	1	1	1	2	
	血中酸素飽和濃度測定器	23	1	6	2	2	3	4	2	3	
	半自動体外式除細動器	10	1	3	1	1	1	1	1	1	
	自動心臓マッサージ器	6	1	1		1	1		1	1	
	バックボード一式	34	4	8	3	4	4	3	4	4	
	喉頭鏡	22	2	7	2	2	2	1	2	4	
	ビデオ喉頭鏡	9	1	2	1	1	1	1	1	1	
	エアーストレッチャー	17	2	3	1	1	3	1	4	2	
	スクープストレッチャー	25	3	5	3	3	3	2	3	3	
	布担架	33	5	6	3	4	4	4	3	4	
	レスキューシート	31	4	8	3	3	4	3	3	3	
	オゾンガス式除染装置	2	1	1							
	オゾンガス発生装置	10	1	3	1	1	1	1	1	1	
	オゾン除染テント	1								1	
オゾン水発生装置	1								1		

種別		所属別		合計	本部 大山田 分署	桑名市 消防署	西分署	多度 分署	長島 木曾岬 分署	いなべ 消防署	北分署	東員 消防署	
その他	二連はしご			4	1		1	1		1			
	照明器具	投光器			37	2	8	1	3	5	6	6	6
		発電機（小型）			18	2	2	1	3	3	4	2	1
		発電機（大型）			3		2						1
		煙体験ハウス			4				1	1	1		1
	発煙器			7	1	1		1	1	1	1	1	
	滅菌器			7	1	1	1	1	1		1	1	
	心肺器蘇生用訓練人形(成人)			31	3		4	3	4	7	6	4	
	〃 ジュニア(幼児含)			13	1		2	2	1	3	2	2	
	コンピュータ付訓練人形			2	1	1							
	空気ボンベ用コンプレッサー			3	1	1				1			
	無人航空機（ドローン）			2		2							
	ポータブルバッテリー			1		1							

消防水利の現況

1 管径別消火栓

(令和8年4月1日現在)

市町別 管径	計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町
75φ	2,790	1,051	1,367	59	313
100φ	2,062	1,336	315	52	359
125φ	22	16	6		
150φ	1,093	673	223	17	180
200φ	313	174	77	1	61
250φ	69	42	22		5
300φ	25	15	5		5
350φ	6	6			
400φ	13	13			
合計	6,393	3,326	2,015	129	923

※ 75φに50φも含む

2 容積別防火水槽

市町別 容積・種別		計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町
20m ³ 未満	地下式	20	1	1	10	8
	露天式	64	2		60	2
20～ 39m ³	地下式	49	9	31	1	8
	露天式	41	34	7		
40～ 59m ³	地下式	883	281	487	30	85
	露天式	61	50	7	3	1
60～ 79m ³	地下式	21	15	3		3
	露天式	4	4			
80～ 99m ³	地下式	5	4			1
	露天式	3	3			
100m ³ 超	地下式	1	1			
	露天式	4	2	2		
合計		1,156	406	538	104	108

3 その他の水利

市町別 区分	計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町
河川等	750	374	160	116	100
プール	62	41	13	2	6

※河川等は消防水利の基準第5条を参考に計上

火 災 統 計

(令和7年中統計)

市町別火災状況

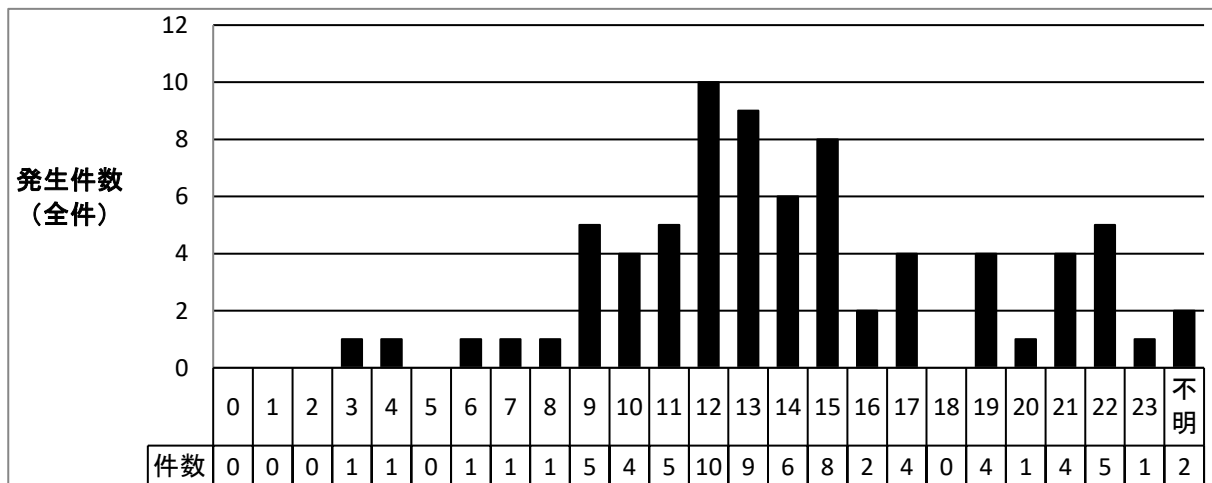
(令和7年中) 損害額単位：千円

区分		市町別		桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	合計
		件数	損害額					
火災種別				41	20	6	8	75
火災種別	建物	件数		23	8	1	6	38
		損害額		40,037	28,369	24,908	168	93,482
	林野	件数		2				2
		損害額						0
	車両	件数		3	3	1		7
		損害額		3,397	2,618	30		6,045
	船舶	件数						0
		損害額						0
	航空機	件数						0
		損害額						0
	その他	件数		13	9	4	2	28
		損害額		79	1,078			1,157
	爆発	件数						0
		損害額						0
損害額（千円）			43,513	32,065	24,938	168	100,684	

焼損棟数	全焼	5	3	1		9
	半焼	1				1
	部分焼	12	1			13
	ぼや	16	6		6	28
建物焼損面積（㎡）		664	562	396		1,622
建物焼損表面積（㎡）		82	1			83
林野焼損面積（a）		6				6
り災世帯		18	6		1	25
り災人員		38	12		5	55
死傷者	死者	2				2
	負傷者	5				5

時間別発生件数

(令和7年中)

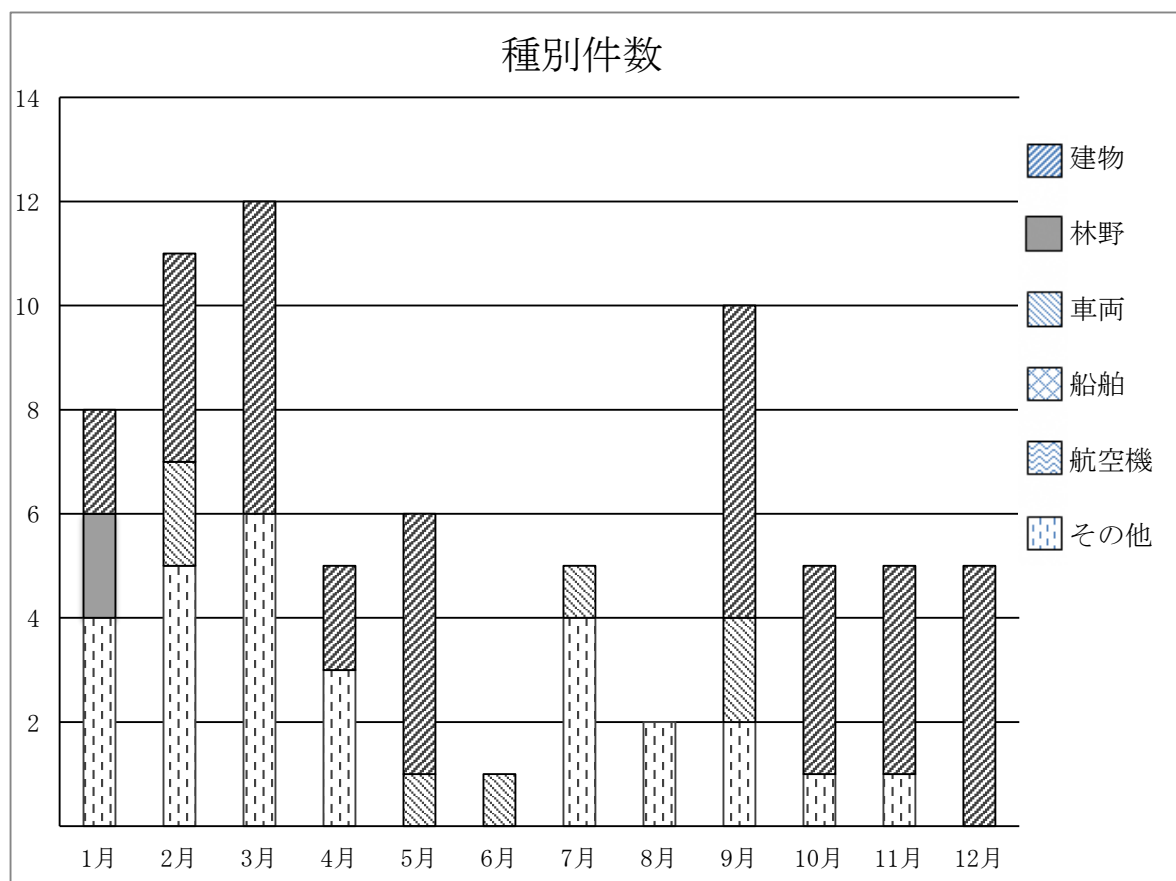


月別火災状況

(令和7年中)

区分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災種別	建物	2	4	6	2	5				6	4	4	5	38
	林野	2												2
	車両		2			1	1	1		2				7
	船舶													0
	航空機													0
	その他	4	5	6	3			4	2	2	1	1		28
爆発														0
合計		8	11	12	5	6	1	5	2	10	5	5	5	75
死傷者	死者										2			2
	負傷者	1	1							2	1			5
り災世帯		1	1	7		2				3	6	3	2	25
り災人員		2	3	12		4				9	10	13	2	55

※「火災種別」の「その他」には、枯草、ゴミ、廃車などの火災があります

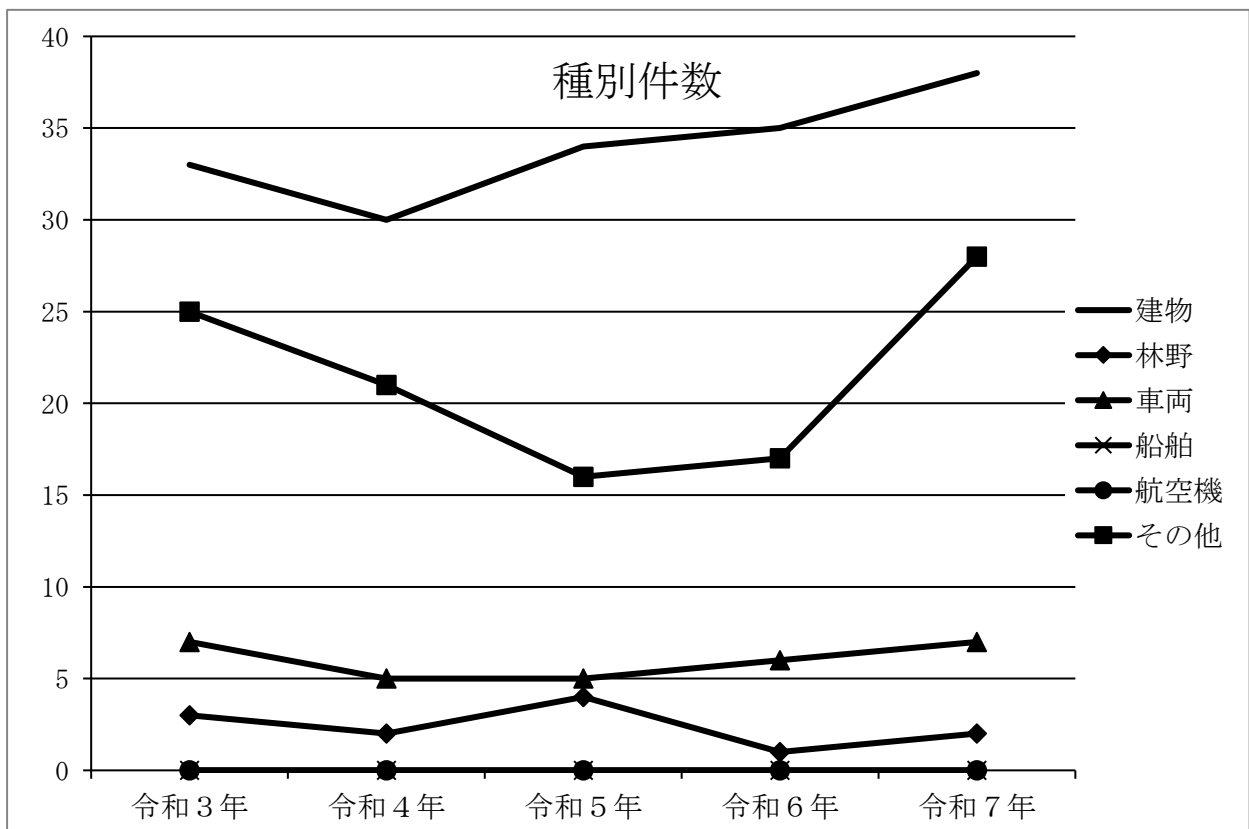


年次別火災状況

(各年中)

区分		年別					平均
		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
火災種別	建物	33	30	34	35	38	34.0
	林野	3	2	4	1	2	2.4
	車両	7	5	5	6	7	6.0
	船舶						0
	航空機						0
	その他	25	21	16	17	28	21.4
爆発			1				0.3
合計		68	59	59	59	75	64.0
死傷者	死者	1	2	6	1	2	2.4
	負傷者	16	6	7	7	5	8.2
り災世帯		19	41	31	16	25	26.4
り災人員		40	80	63	37	55	55.0

※「火災種別」の「その他」には、枯草、ゴミ、廃車などの火災があります



年次別出火原因件数

(各年中)

原因別 年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	平均
たばこ	7	4	4	3	6	4.8
こんろ		4	3	1	4	2.4
かまど						0
風呂かまど						0
炉			1			0.2
焼却炉	1					0.2
ストーブ	1	2	1	1	1	1.2
こたつ						0
ボイラー						0
煙突・煙道						0
排気管	1		1	2	3	1.4
電気機器・電気装置	8	5	1	9	5	5.6
電灯・電話等の配線	3	2	3	1	6	3.0
内燃機関	1		1			0.4
配線器具	1	2	1	3	2	1.8
火あそび	1				1	0.4
マッチ・ライター		3	1		1	1.0
たき火	14	8	15	11	17	13.0
溶接機・切断機	3	1			2	1.2
灯火	1					0.2
衝突の火花		1		1		0.4
取灰	1					0.2
火入れ						0
放火・放火の疑い	3	10	3	5	7	5.6
その他	13	10	18	17	14	14.4
不明	9	7	6	5	6	6.6
計	68	59	59	59	75	64.0

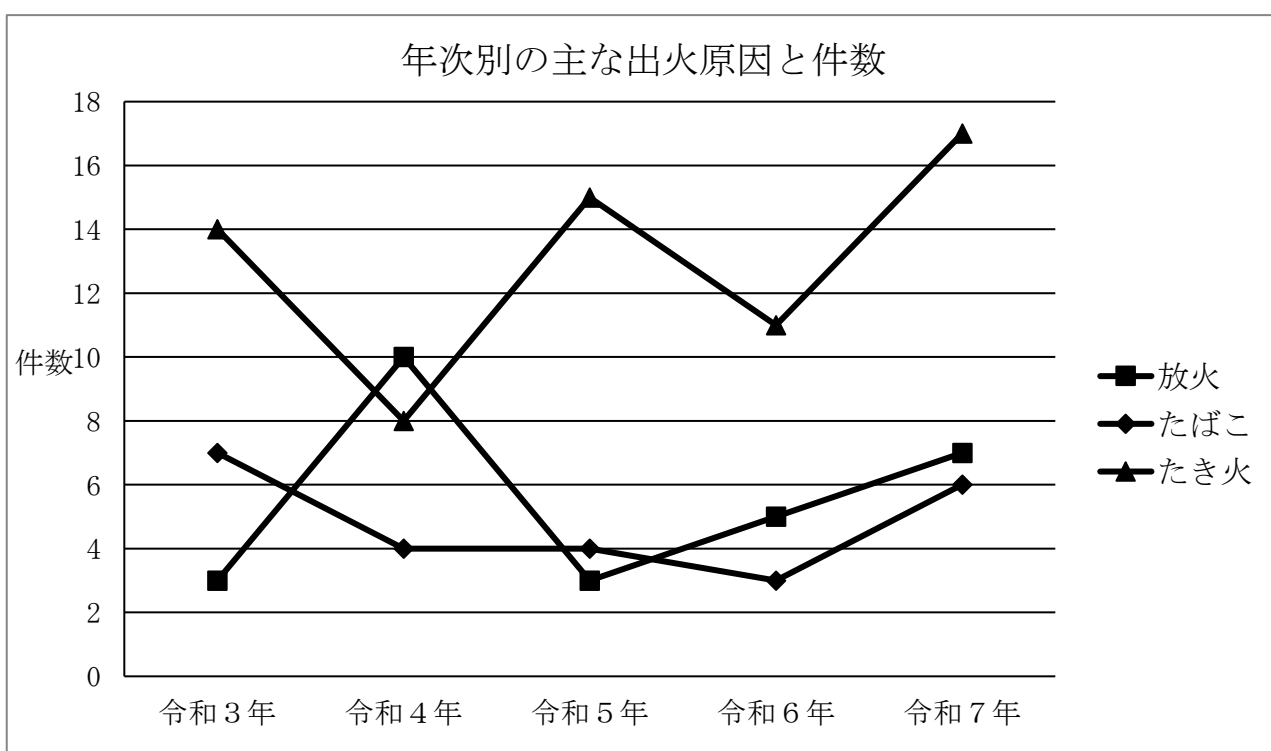
年次別の主な出火原因と件数

(各年中)

区分	令和3年(68件)		令和4年(59件)		令和5年(59件)		令和6年(59件)		令和7年(75件)	
1位	たき火	14件	放火	10件	たき火	15件	たき火	11件	たきび	17件
2位	電気機器・ 電気装置	8件	たき火	8件	たばこ	4件	電気機器・ 電気装置	9件	放火	7件
3位	たばこ	7件	電気機器・ 電気装置	5件	こんろ 電灯・電話等 の配線,放火 電気装置	3件	放火	5件	たばこ 電灯・電話 等の配線	6件

※放火には、放火の疑いも含む

※「その他」と「不明」を除く



年次別火災損害額

(単位：千円)

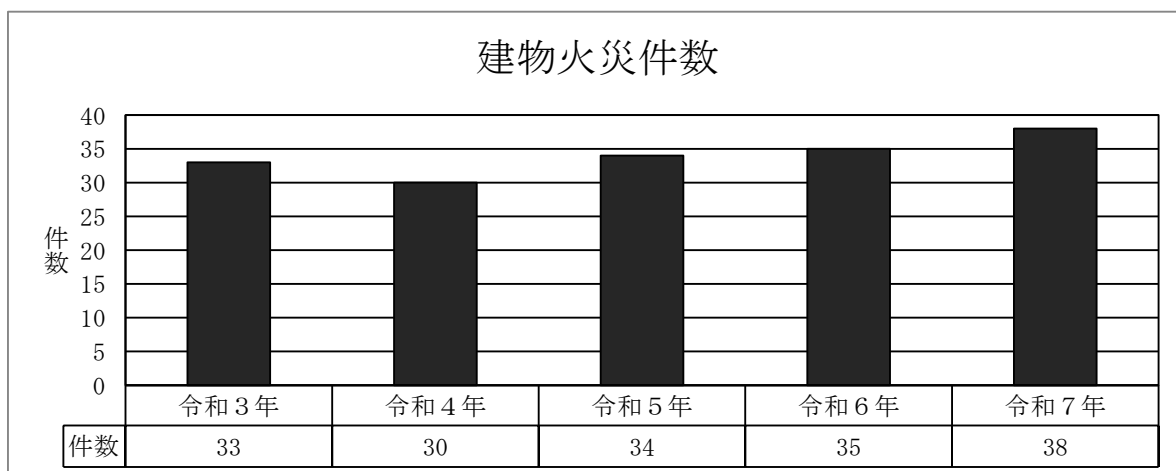
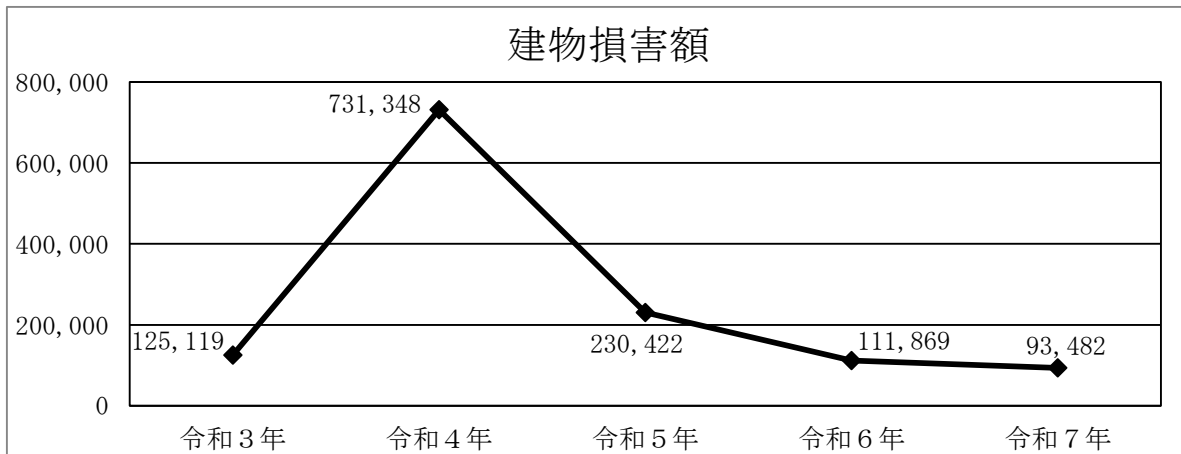
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
合計	131,741	734,919	233,315	121,808	100,684

年次別建物火災状況

(各年中)

区分		年別					平均
		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
火災種別		33	30	34	35	38	34
建 物 出 火 災 原 因 の 主	たばこ	4		2	2	3	2.2
	こんろ		4	3	1	4	2.4
	ストーブ	1	2	1	1	1	1.2
	放火・放火の疑い	2	4	1	1	2	2.0
損害額（千円）		125,119	731,348	230,422	111,869	93,482	258,448
死傷者	死者	1	1	6		2	2.0
	負傷者	11	5	5	7	5	6.6

※「建物火災での主な出火原因」は「その他」と「不明」を除いたもの



過去の主な火災

発生年月日	場所	火災種別	火元用途	火災概要	死者
昭和48年6月26日	桑名郡多度町	建物	中学校	木造平屋建教室762㎡全焼 類焼 2 棟1,946㎡	
昭和56年1月2日	桑名郡多度町	建物	小学校	木造平屋建486㎡全焼	
昭和61年4月30日	桑名郡多度町	建物	店舗付住宅	木造 2 階建一部 3 階606㎡全焼 類焼全焼 1 棟391㎡、部分焼 2 棟	
平成3年4月7日	桑名市清水町	建物	寺院	木造建一部 2 階建480㎡全焼 部分焼 2 棟	
平成3年5月3日	桑名市江場中町	建物	病院	鉄骨造一部木造 2 階建114㎡半焼	1
平成4年8月14日	員弁郡大安町	建物	体育館	鉄筋コンクリート 2 階建1,332㎡全焼	
平成6年11月30日	員弁郡大安町	建物	住宅	木造一部鉄骨造186㎡全焼、類焼 4 棟30㎡（全焼 1、部分焼 3）	2
平成11年1月5日	員弁郡大安町	建物	養鶏舎	鉄骨造平屋建936㎡全焼	
平成11年2月9日	桑名郡木曾岬町	その他 (爆発)	工事現場	不発爆弾（1トン）の爆発により、工事現場工作物、重機、通行車両、家屋8棟に被害	1
平成13年5月19日	桑名市播磨	航空機	航空機	セスナ機とヘリコプターが空中衝突し、墜落炎上 木造2階建住宅2棟全焼 セスナ機全壊 ヘリコプター全焼 死者6名（墜落死）	6
平成15年7月27日	桑名郡多度町	その他	RDF 貯蔵サイロ	ゴミ固形燃料（RDF）発電所の貯蔵サイロ爆発死者 2 名、負傷者 5 名	2
平成19年7月23日	員弁郡東員町	その他	危険物 施設	屋外タンク 7 基焼損 負傷者 1 名	
平成24年11月5日	桑名市西別所	建物	店舗	飲食長屋店舗 8 棟299㎡全焼	
平成25年11月20日	員弁郡東員町	建物	住宅	木造一部軽量鉄骨造 2 階建住宅兼車庫208㎡全焼、類焼 3 棟、車 2 台、負傷者 1 名	2
平成27年5月27日	桑名市蛸塚新田	建物	倉庫	木造平屋建物置 1 棟208㎡全焼 類焼10棟、工作物、ケーブル、車 3 台	

平成27年9月27日	桑名市安永	建物	住宅	鉄骨造4階建住宅593㎡全焼 類焼5棟、負傷者5名	1
平成28年10月14日	桑名市今中町	建物	作業場	鉄骨造2階建作業場664㎡全焼 類焼13棟、負傷者1名	
平成29年3月20日	いなべ市員弁町	建物	危険物 施設	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 5階建工場（一般取扱所） 1,238㎡部分焼	
令和元年5月26日	桑名市大福	建物	倉庫	鉄骨造平屋建297㎡全焼 車3台、負傷者1名	
令和元年6月23日	桑名市多度町	建物	工場	鉄骨造2階建880㎡全焼	
令和元年10月27日	桑名郡木曾岬町	建物	温泉施設 (休業中)	鉄筋コンクリート造2階建 1,956㎡半焼、類焼1棟	
令和3年9月2日	桑名市下深谷部	建物	住宅	木造2階建住宅258㎡全焼 類焼6棟、死者1名	1
令和4年5月12日	いなべ市大安町	建物	保育園	木造平屋建保育園1,683㎡全 焼、類焼2棟	
令和5年1月10日	桑名市赤尾	建物	店舗	鉄骨造一部木造2階建住宅兼 店舗294㎡全焼 類焼7棟、負傷者1名	
令和5年4月1日	桑名市長島町	建物	住宅	木造2階建住宅167㎡全焼	3
令和7年10月1日	桑名市長島町	建物	住宅	木造2階建住宅209㎡全焼 類焼6棟、車両2台焼損 死者2名、負傷者1名	2

救 急 救 助 統 計

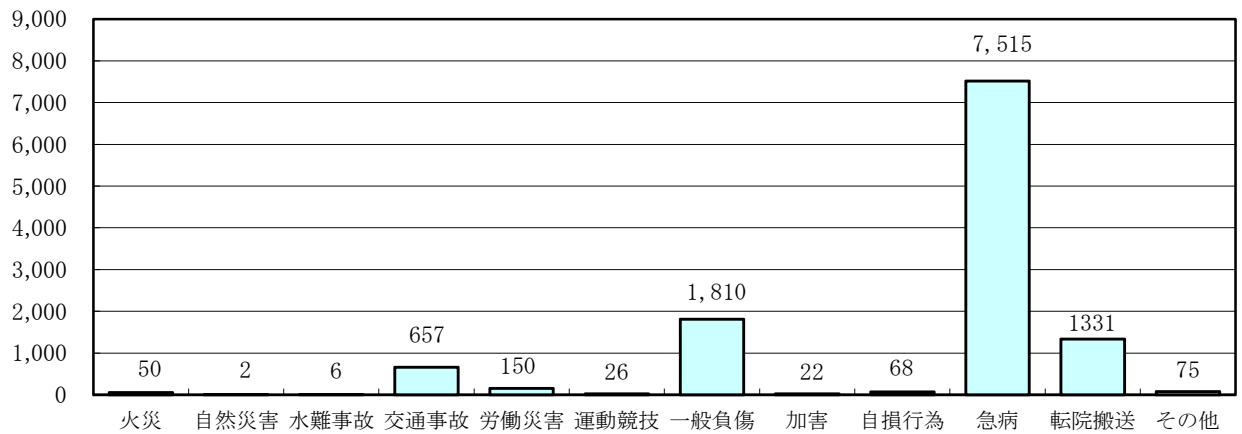
(令和7年中統計)

救急現況

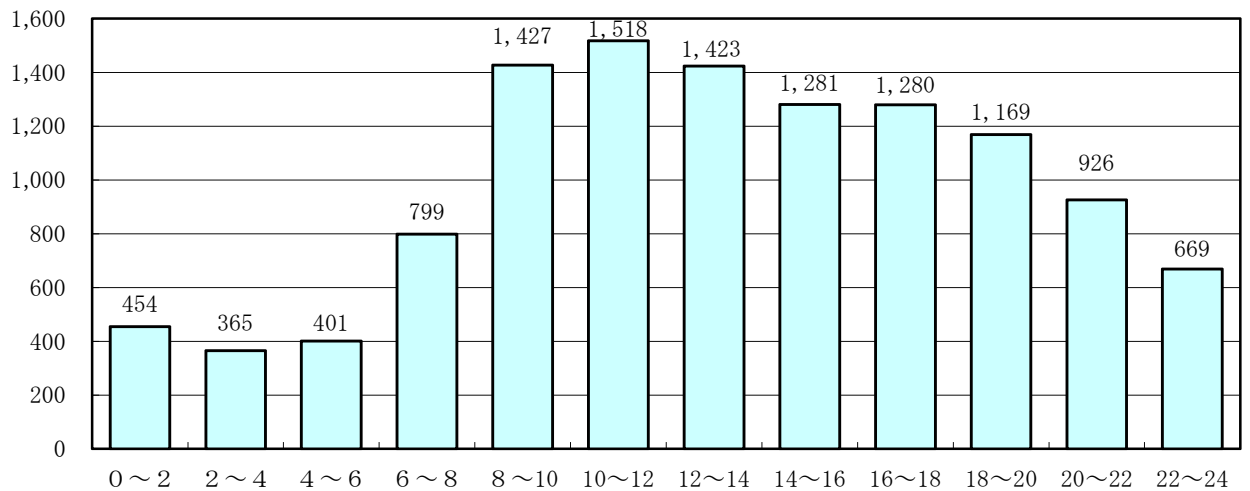
(令和7年中)

区分	令和7年	1日平均
出場件数	11,712件	32.1件
搬送件数	10,722件	
不搬送件数	990件	
搬送人員	10,770人	29.5人
現場到着平均所要時間	8.5分	
医療機関収容平均所要時間	36.3分	

1. 事故種別出場件数



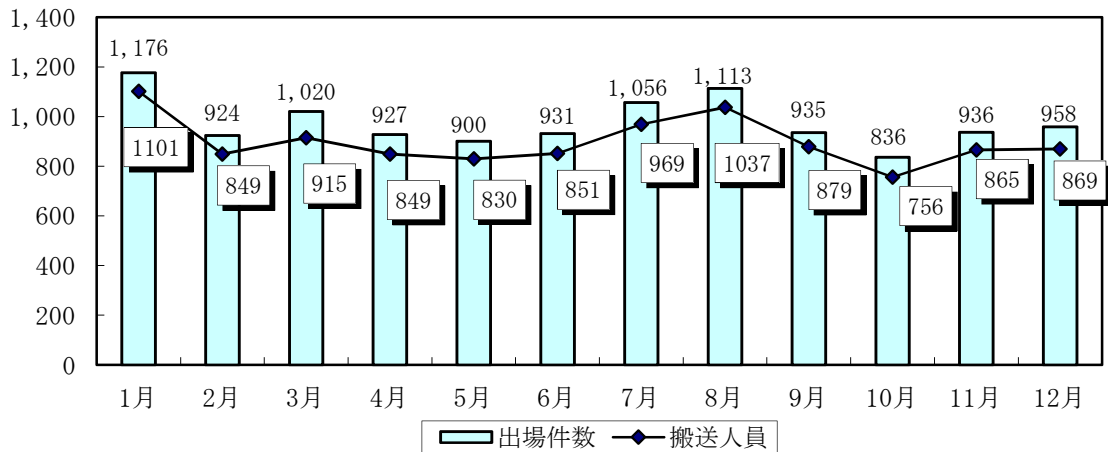
2. 時間別出場件数



月・事故別救急出場状況

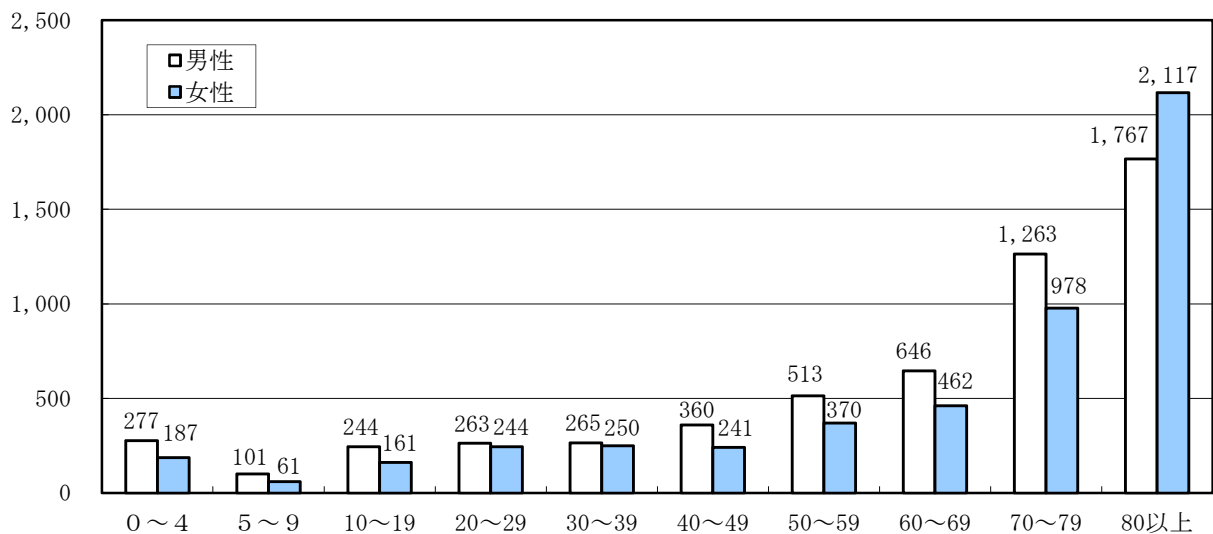
(令和7年中)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	3	5	5	3	6	3	4	2	7	5	4	3	50
自然災害							2						2
水難事故							3	2		1			6
交通事故	58	42	52	51	52	68	65	55	60	48	52	54	657
労働災害	11	15	8	9	19	11	20	11	17	8	13	8	150
運動競技		1	3	1	3	4	2	2		6	3	1	26
一般負傷	182	172	145	163	146	125	134	160	136	136	161	150	1,810
加害	1		4	2	2	1		6	2	1	1	2	22
自損行為	8	4	3	10	5	7	10	4	7	4	6		68
急病	770	577	641	578	554	607	690	750	604	526	575	643	7,515
転院搬送	138	101	147	105	105	94	121	117	98	95	118	92	1,331
その他	5	7	12	5	8	11	5	4	4	6	3	5	75
合計	1,176	924	1,020	927	900	931	1,056	1,113	935	836	936	958	11,712

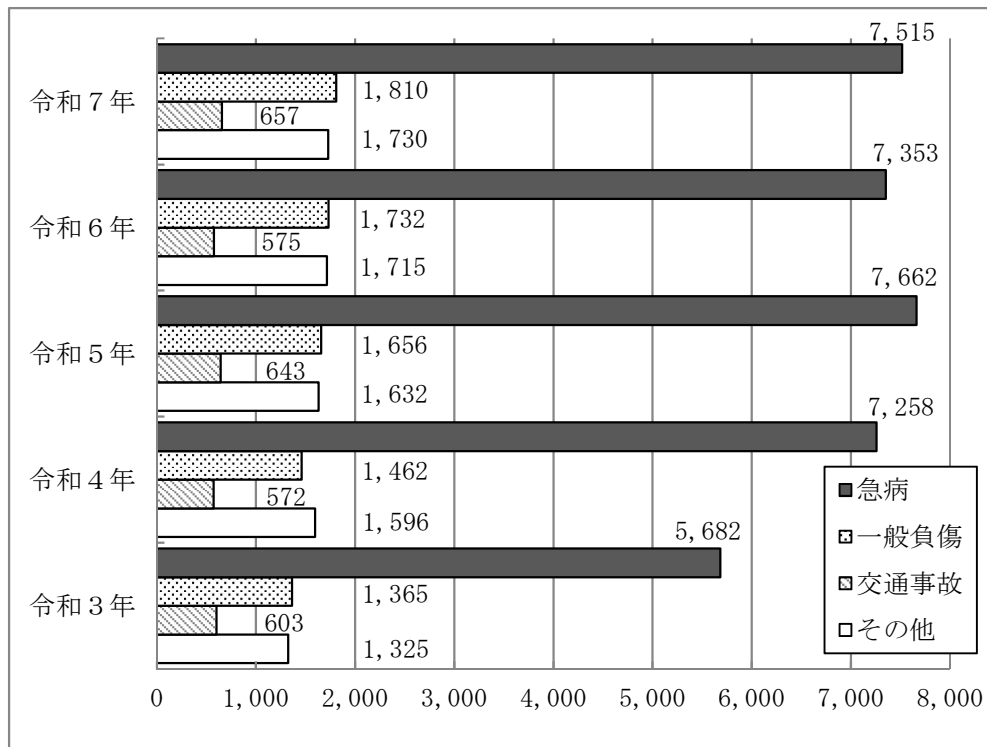


年代別搬送人員

(令和7年中)



過去5年間の救急出場状況



(各年中)

区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
急病	5,682	7,258	7,662	7,353	7,515
交通事故	603	572	643	575	657
一般負傷	1,365	1,462	1,656	1,732	1,810
その他	1,325	1,596	1,632	1,715	1,730
合計	8,975	10,888	11,593	11,375	11,712

市町別救急出場件数

(各年中)

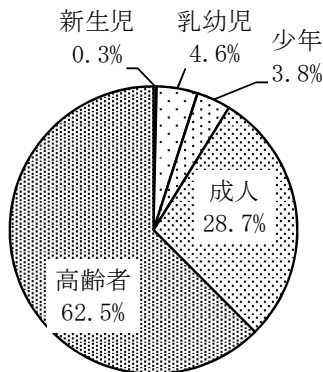
区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
桑名市	6,184	7,484	7,902	7,832	7,942
いなべ市	1,568	1,943	1,985	1,927	2,103
木曾岬町	313	329	377	392	348
東員町	904	1,127	1,321	1,213	1,299
管外	6	5	8	11	20
合計	8,975	10,888	11,593	11,375	11,712

傷病者の状況

(令和7年中)

事故種別		年齢及び程度					合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者						
事故種別 搬送人員	火災				3	3	6			3	3	
	自然災害						0					
	水難事故					1	1			1		
	交通事故		6	64	356	194	620	5	20	78	517	
	労働災害				112	32	144	1	13	43	87	
	運動競技		1	21	3		25			3	22	
	一般負傷	1	100	75	271	1,218	1,665	11	152	460	1,042	
	加害			3	9	5	17		1		16	
	自損行為			6	34	9	49	6	4	15	24	
	急病	9	373	228	1,964	4,344	6,918	205	471	2,575	3,667	
	その他	27	17	16	343	922	1,325	14	254	899	158	
合計		37	497	413	3,095	6,728	10,770	242	915	4,077	5,536	0

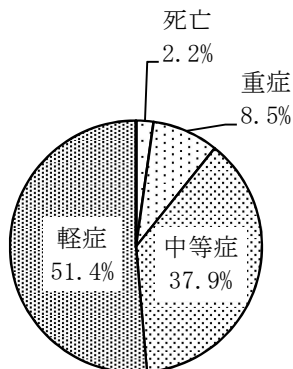
年齢別搬送人員



年齢区分について

- △新生児－生後28日以内
- △乳幼児－生後29日～6歳
- △少年－7歳～17歳
- △成人－18歳～64歳
- △高齢者－65歳以上

傷病程度別搬送人員



傷病程度とは、初診時における医師の判断によるもの

- ◇死亡－死亡が確認されたもの
- ◇重症－三週間以上の入院加療
- ◇中等症－三週間未満の入院加療
- ◇軽症－入院を要しないもの

市町別救急出場状況

(令和7年中)

区分	合計	救急事故種別															
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他					
												計	転院搬送	医師搬送	資材輸送	その他	
全体	出場件数	11,712	50	2	6	657	150	26	1,810	22	68	7,515	1,406	1,331		2	73
	搬送件数	10,722	6		1	585	144	25	1,661	17	49	6,909	1,325	1,325			
	不搬送件数	990	44	2	5	72	6	1	149	5	19	606	81	6		2	73
	搬送人員	10,770	6		1	620	144	25	1,665	17	49	6,918	1,325	1,325			
桑名市	出場件数	7,942	28	2	5	406	67	20	1,252	17	42	5,052	1,051	1,011		2	38
	搬送件数	7,211	5		1	362	64	19	1,127	12	34	4,582	1,005	1,005			
	不搬送件数	731	23	2	4	44	3	1	125	5	8	470	46	6		2	38
	搬送人員	7,245	5		1	384	64	19	1,131	12	34	4,590	1,005	1,005			
いなべ市	出場件数	2,103	11			149	55	5	295	4	16	1,357	211	187			24
	搬送件数	1,948				131	53	5	280	4	9	1,279	187	187			
	不搬送件数	155	11			18	2		15		7	78	24				24
	搬送人員	1,954				137	53	5	280	4	9	1,279	187	187			
木曾岬町	出場件数	348	3			14	10		45			255	21	20			1
	搬送件数	330	1			12	9		45			243	20	20			
	不搬送件数	18	2			2	1					12	1				1
	搬送人員	331	1			13	9		45			243	20	20			
東員町	出場件数	1,299	6			74	18	1	217	1	10	851	121	113			8
	搬送件数	1,219				67	18	1	208	1	6	805	113	113			
	不搬送件数	80	6			7			9		4	46	8				8
	搬送人員	1,224				71	18	1	208	1	6	806	113	113			
管外	出場件数	20	2		1	14			1				2				2
	搬送件数	14				13			1				0				
	不搬送件数	6	2		1	1							2				2
	搬送人員	16				15			1				0				

署・分署別救急出場状況

(令和7年中)

区分		合計	救急事故種別										その他				
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	計	転院搬送	医師搬送	資材輸送	その他
全 体	出場件数	11,712	50	2	6	657	150	26	1,810	22	68	7,515	1,406	1,331		2	73
	搬送件数	10,722	6		1	585	144	25	1,661	17	49	6,909	1,325	1,325			
	不搬送件数	990	44	2	5	72	6	1	149	5	19	606	81	6		2	73
	搬送人員	10,770	6		1	620	144	25	1,665	17	49	6,918	1,325	1,325			
桑名市 消防署	出場件数	3,405	18		3	176	31	5	500	10	18	2,094	550	529		2	19
	搬送件数	3,146	3			159	30	5	469	7	15	1,931	527	527			
	不搬送件数	259	15		3	17	1		31	3	3	163	23	2		2	19
	搬送人員	3,165	3			171	30	5	471	7	15	1,936	527	527			
西分署	出場件数	1,239	2		1	64	7		196	2	6	815	146	142			4
	搬送件数	1,144			1	58	7		179	1	3	754	141	141			
	不搬送件数	95	2			6			17	1	3	61	5	1			4
	搬送人員	1,151			1	63	7		180	1	3	755	141	141			
大山田分署	出場件数	2,103	7	1		95	16	7	338	1	10	1,307	321	308			13
	搬送件数	1,822	1			79	13	7	277	1	9	1,129	306	306			
	不搬送件数	281	6	1		16	3		61		1	178	15	2			13
	搬送人員	1,826	1			82	13	7	278	1	9	1,129	306	306			
多度分署	出場件数	739	2		1	38	14	4	126		3	508	43	39			4
	搬送件数	657				35	14	4	110		3	453	38	38			
	不搬送件数	82	2		1	3			16			55	5	1			4
	搬送人員	658				36	14	4	110		3	453	38	38			
長木分署	出場件数	960	5	1	1	69	13	4	143	3	6	654	61	58			3
	搬送件数	893	2			61	13	3	138	2	5	611	58	58			
	不搬送件数	67	3	1	1	8		1	5	1	1	43	3				3
	搬送人員	899	2			65	13	3	138	2	5	613	58	58			
いなべ 消防署	出場件数	1,148	8			88	44	3	166	4	7	786	42	32			10
	搬送件数	1,075				77	43	3	161	4	4	751	32	32			
	不搬送件数	73	8			11	1		5		3	35	10				10
	搬送人員	1,079				81	43	3	161	4	4	751	32	32			
北分署	出場件数	816	2			55	10	1	103		8	479	158	146			12
	搬送件数	743				49	10	1	94		5	438	146	146			
	不搬送件数	73	2			6			9		3	41	12				12
	搬送人員	745				51	10	1	94		5	438	146	146			
東員 消防署	出場件数	1,302	6			72	15	2	238	2	10	872	85	77			8
	搬送件数	1,242				67	14	2	233	2	5	842	77	77			
	不搬送件数	60	6			5	1		5		5	30	8				8
	搬送人員	1,247				71	14	2	233	2	5	843	77	77			

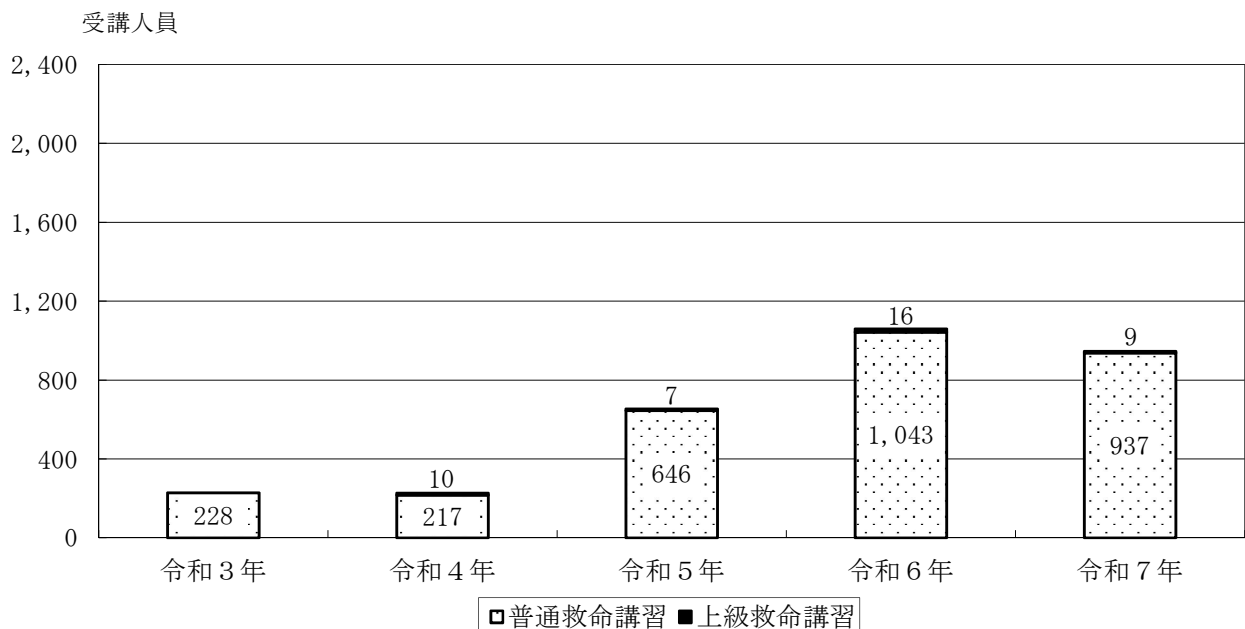
※長木分署は長島木曾岬分署の略

応急手当の普及啓発活動実施状況

傷病者の命を救い、社会復帰に導くために必要となる一連の行いを「救命の連鎖」といいます。「救命の連鎖」は、①「心停止の予防」、②「心停止の早期認識と通報」、③「心肺蘇生法とAEDの使用」、④「救急救命士や医師の救命処置と集中治療」の四つの輪で成り立ち、この輪が途切れることなくすばやくつながることで救命効果が高まります。

令和7年中に心肺機能停止状態で医療機関に搬送された方は199名です。このうち救急車が到着するまでに心肺蘇生法等が行われていたのは103件で、約52%の方に実施されておりました。

種別 年別	普通救命講習		上級救命講習		普及員講習		指導員講習	
	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数
令和3年	228	16			36	5	6	1
令和4年	217	30	10	1	18	2	51	3
令和5年	646	53	7	1	106	6	5	1
令和6年	1,043	67	16	1	15	2	5	1
令和7年	937	63	9	1	11	1	18	4



- ※普通救命講習（3時間）：心肺蘇生法・止血法
- ※上級救命講習（8時間）：心肺蘇生法・止血法・傷病者管理法・外傷の手当て・搬送法
- ※普及員講習（24時間）：普通救命講習の指導に従事する者の講習
- ※指導員講習（24時間）：上記講習の指導に従事する者の講習

救助出場状況

(令和7年中)

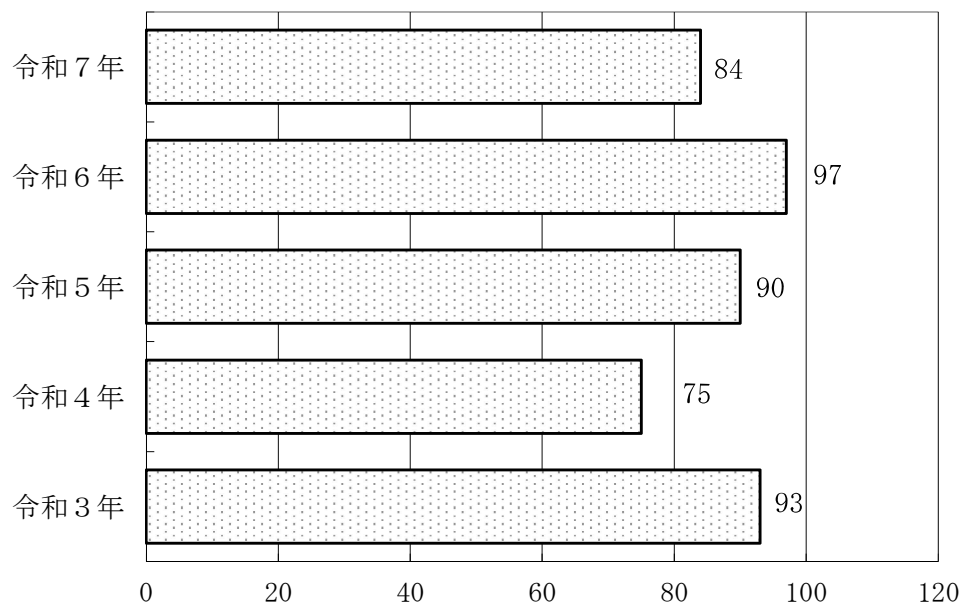
区分	合計	火災	交通事故	水難事故	山岳	機械による事故	建物等による事故	その他の事故
出場件数	84		39	9	13		5	18
活動件数	65		26	7	12		3	17
救助人員	69		28	9	9		4	19

1. 市町別出場件数

(令和7年中)

区分	合計	火災	交通事故	水難事故	山岳	機械による事故	建物等による事故	その他の事故
桑名市	38		15	8	2		1	12
いなべ市	26		12		10		3	1
木曾岬町	1		1					
東員町	14		8				1	5
管 外	5		3	1	1			
合 計	84	0	39	9	13	0	5	18

2. 過去5年間の救助出場状況



予 防 統 計

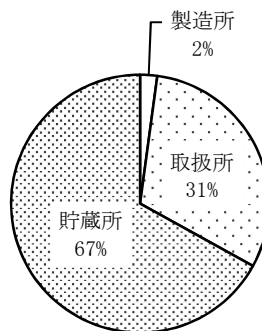
(令和8年4月1日現在)

危険物製造所等の施設数

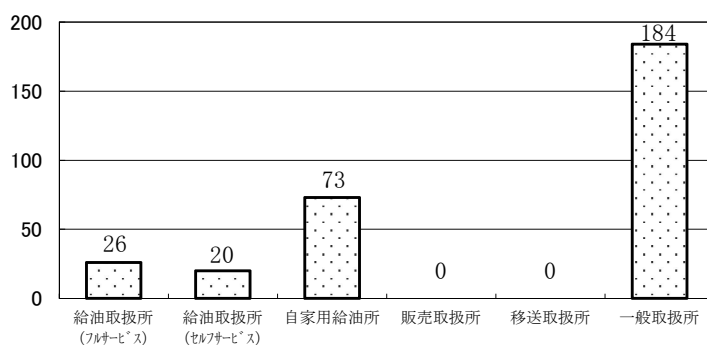
(令和7年12月31日現在)

区分		施設数	
危険物製造所		21	
貯蔵所	屋内貯蔵所	125	
	屋外タンク貯蔵所	201	
	屋内タンク貯蔵所	40	
	地下タンク貯蔵所	120	
	簡易タンク貯蔵所	3	
	移動タンク貯蔵所	128	
	屋外貯蔵所	40	
小計		657	
取扱所	給油取扱所	営業用 フルサービス	26
		セルフ	20
		自家用	73
	販売取扱所	0	
	移送取扱所	0	
	一般取扱所	184	
小計		303	
合計		981	

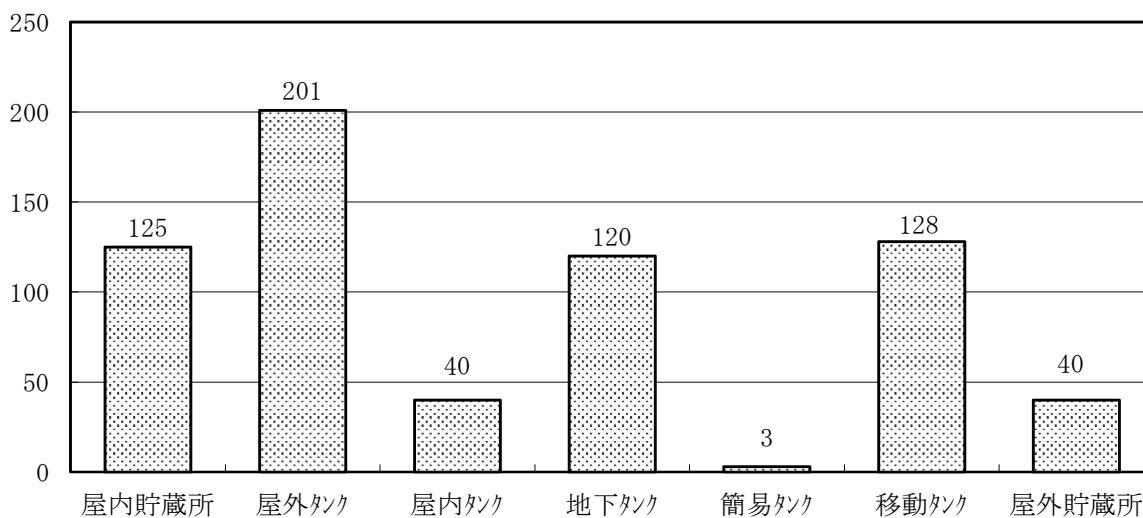
危険物施設の比率



取扱所の区分別施設数



貯蔵所の区分別施設数

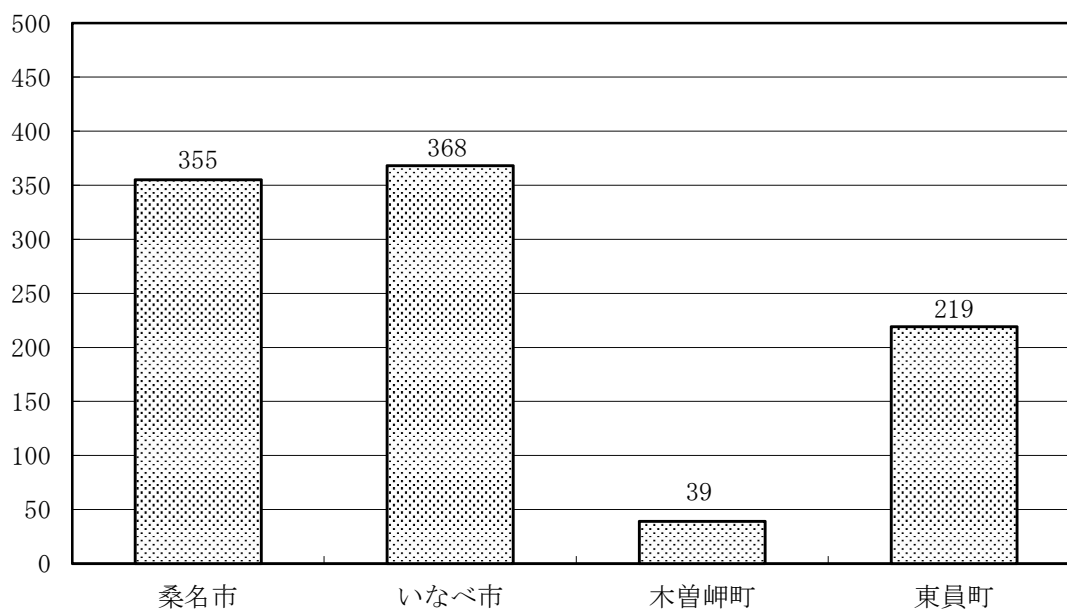


市町別危険物施設の現況

(令和7年12月31日現在)

区分		桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	合計		
危険物製造所		1	10		10	21		
貯蔵所	屋内貯蔵所	34	60	1	30	125		
	屋外タンク貯蔵所	42	74	5	80	201		
	屋内タンク貯蔵所	10	25	3	2	40		
	地下タンク貯蔵所	65	40	8	7	120		
	簡易タンク貯蔵所	1	2			3		
	移動タンク貯蔵所	57	32	7	32	128		
	屋外貯蔵所	5	17	1	17	40		
	小計	214	250	25	168	657		
取扱所	給油取扱所	営業用	フルサービス	14	6	2	4	26
		セルフ		17	3			20
		自家用	26	34	5	8	73	
	販売取扱所						0	
	移送取扱所						0	
	一般取扱所		83	65	7	29	184	
	小計		140	108	14	41	303	
	合計		355	368	39	219	981	

市町別の危険物施設数



危険物施設許可認可等の申請取扱件数

(令和7年中)

区分		桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	合計
製造所	設置許可申請		1			1
	設置完成検査申請					0
	変更許可申請		1		6	7
	仮使用承認申請				6	6
	変更完成検査申請		2		6	8
貯蔵所	設置許可申請	2	3	1	1	7
	設置完成検査申請	5	3	1	2	11
	変更許可申請	5	7		1	13
	仮使用承認申請	2	4		1	7
	変更完成検査申請	5	8		2	15
	移動タンク転入許可申請		1			1
取扱所	設置許可申請	1				1
	設置完成検査申請	4	1		2	7
	変更許可申請	18	22		6	46
	仮使用承認申請	16	20		6	42
	変更完成検査申請	17	27		4	48
仮貯蔵仮取扱承認申請			2			2
完成検査前検査申請				1	15	16
予防規程制定認可申請		4				4
合計		79	102	3	58	242

危険物規制に関する届出件数

(令和7年中)

区分	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	合計
種類数量の変更届	9	4		1	14
製造所等の変更届 (軽微な変更)	41	195	2	15	253
危険物作業開始届	1	4			5
危険物事故発生届	1			1	2
危険物保安監督者選解任届	39	22	4	56	121
設置者氏名名称地番変更届	14	17	1	3	35
製造所等の廃止届 (転出届含む)	8	8	2		18
製造所等の休止届		2			2
製造所等再開届					0
製造所等の譲渡引渡届			2		2
製造所等設置取止届					0
特定屋外タンク貯蔵所に係る届					0
資料提出書	47	34	5	7	93
合計	160	286	16	83	545

火災予防条例に基づく諸届出件数

(令和7年中)

区 分		桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	合計	
43条	防火対象物使用開始	102	43	7	12	164	
44条	炉・厨房設備・ボイラー給湯湯沸設備・乾燥設備・火花を生ずる設備・放電加工機	8	18	1	1	28	
	発電・変電・蓄電池設備設置	23	23	2	5	53	
	ネオン管灯設備設置					0	
	水素ガスを充填する気球設置					0	
45条	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生するおそれのある行為	558	78	24	41	701	
	煙火の打ち上げ又は仕掛け	10	21		6	37	
	催し物開催	7				7	
	水道断水又は減水	21	14		1	36	
	道路工事	311	149	14	70	544	
	露店等の開設届	50	43	2	40	135	
46条	少量危険物	貯蔵取扱開始・変更	12	30	2	2	46
		貯蔵取扱廃止	3	10			13
	指定可燃物	貯蔵取扱開始・変更	5	13	3	3	24
		貯蔵取扱廃止	4	12			16
合 計		1,114	454	55	181	1,804	

建築同意件数

(令和7年中)

区 分		桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	合計
確認申請	新築	102	34	3	12	151
	増築	17	20	4	4	45
	改築		1			1
	移転					0
	その他	4	1	1	1	7
許可申請		6	3			9
計画通知		4		1		5
仮使用						0
合 計		133	59	9	17	218

用途別建築同意件数

(令和7年中)

区分		桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計		
1	イ	映画館・劇場等				0		
	ロ	公会堂・集会場等		1	1	2		
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				0		
	ロ	遊技場等				0		
	ハ	性風俗関連特殊営業等				0		
	ニ	カラオケボックス等個室店舗				0		
3	イ	料理店等				0		
	ロ	飲食店等				0		
4	店舗・百貨店等		9	2	1	12		
5	イ	旅館・ホテル等		1		1		
	ロ	寮・共同住宅等		9	8	1	18	
6	イ	病院・診療所等		5		5		
	ロ	老人短期入所施設等		3	1	2	6	
	ハ	老人デイサービスセンター等		9			9	
	ニ	幼稚園・養護学校等					0	
7	小・中学校、各種学校等		2	3	1	6		
8	図書館等					0		
9	イ	蒸気浴場等				0		
	ロ	公衆浴場等				0		
10	停車場等					0		
11	神社等		1	1		2		
12	イ	工場・作業場		5	15	6	4	30
	ロ	映画スタジオ等						0
13	イ	車庫・駐車場等		6				6
	ロ	格納庫等						0
14	倉庫等		9	2	1		12	
15	事業所等		24	5	3	1	33	
16	イ	特定複合用途		6	1			7
	ロ	その他の複合用途		5	5			10
17	文化財等						0	
18	アーケード						0	
住宅		38	15	5	1	59		
その他						0		
合計		133	59	15	11	218		

市町別防火対象物数（棟別）

（令和8年4月1日現在）

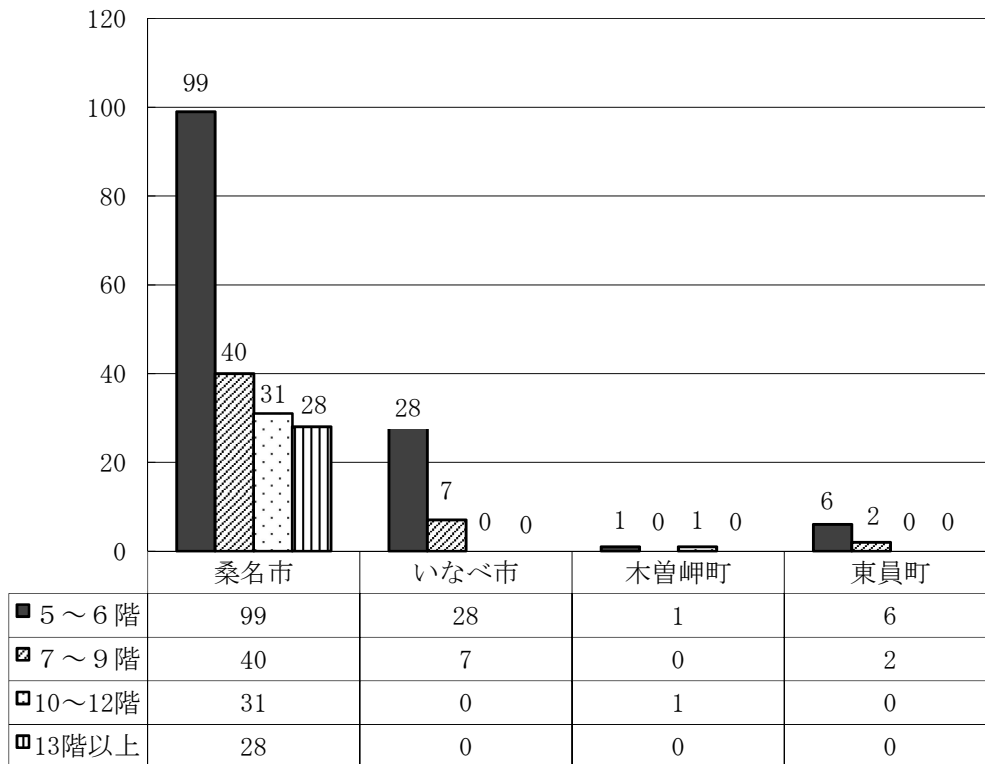
区分		桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	合計
1	イ	3	1		2	6
	ロ	68	67	4	18	157
2	イ	2				2
	ロ	19	1		1	21
	ハ					0
	ニ	3				3
3	イ	7	1			8
	ロ	122	26		11	159
4		221	49	7	26	303
5	イ	31	4	4		39
	ロ	1239	267	23	76	1,605
6	イ	84	20	2	20	126
	ロ	83	34	2	22	141
	ハ	109	47	5	16	177
	ニ	18	2		1	21
7		160	39	8	21	228
8		7		1		8
9	イ	2	1			3
	ロ	1	1			2
10		5	2		1	8
11		102	25	8	4	139
12	イ	719	476	104	201	1,500
	ロ				1	1
13	イ	52	23	2	9	86
	ロ					0
14		351	329	77	92	849
15		525	311	46	94	976
16	イ	261	55	13	24	353
	ロ	167	64	7	7	245
17		5	1			6
18		1				1
合計		4,367	1,846	313	647	7,173

※延べ面積が150㎡以上の対象物（17項、18項を除く）

市町別中高層建築物数

(令和8年4月1日現在)

区分	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	合計
5階	69	19		6	94
6階	30	9	1		40
7階	20	6		1	27
8階	7			1	8
9階	13	1			14
10階	12		1		13
11階	13				13
12階	6				6
13階	6				6
14階	11				11
15階以上	11				11
合計	198	35	2	8	243



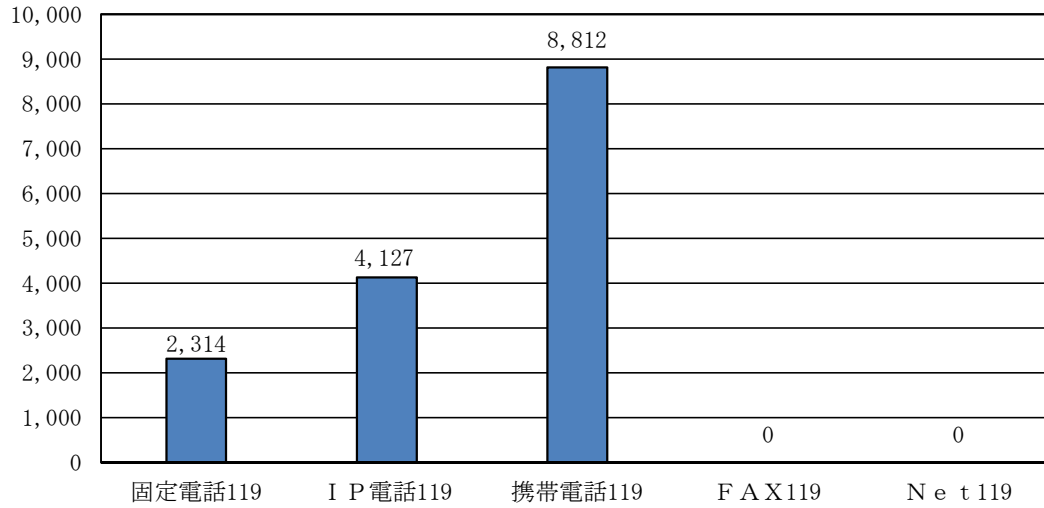
通信・気象統計

(令和7年中統計)

年間119番受信件数

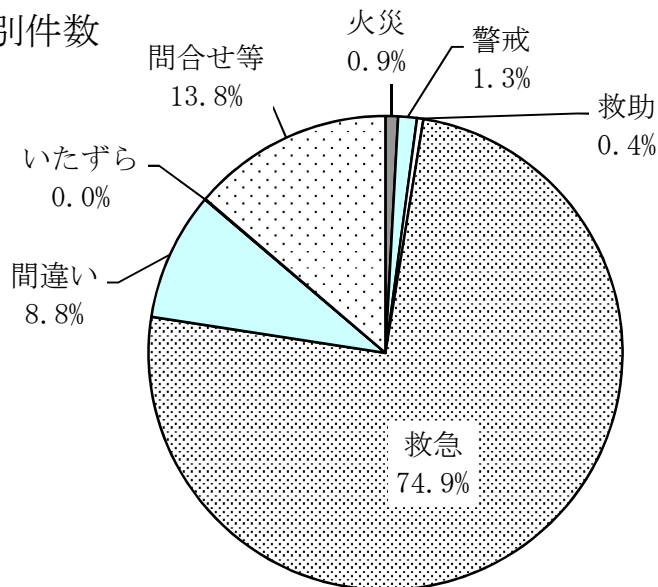
(令和7年中)

覚知種別件数



区分	火災	警戒	救助	救急	間違い	いたずら	問合せ等	合計
固定電話119	17	27	8	1,375	111	4	772	2,314
I P電話119	13	12	2	3,673	133		294	4,127
携帯電話119	101	153	58	6,371	1,095	1	1,033	8,812
F A X119								0
N e t119								0
合計	131	192	68	11,419	1,339	5	2,099	15,253

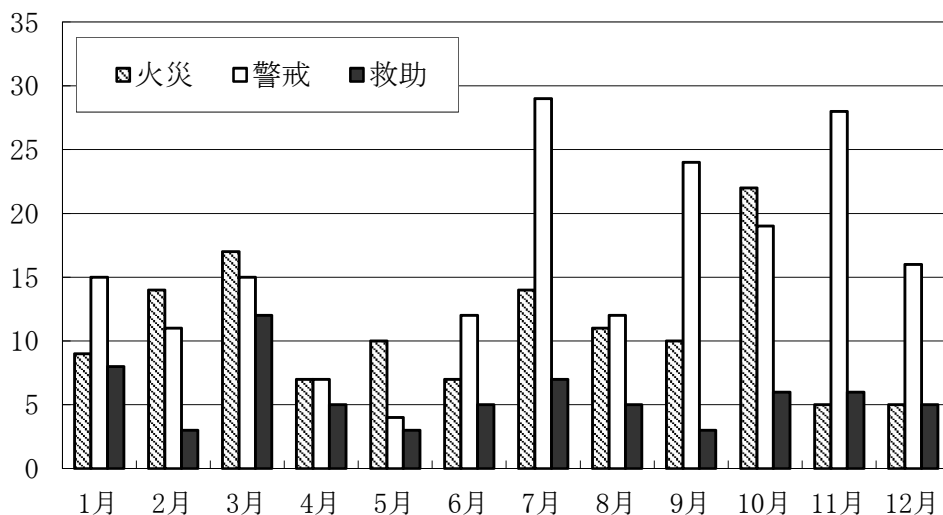
災害種別件数



月別119番受信件数

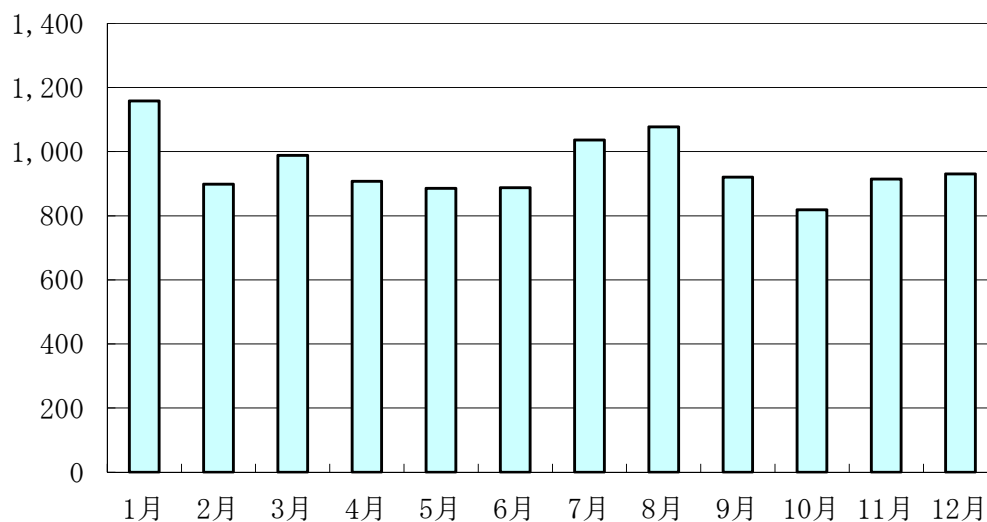
(令和7年中)

火災・警戒・救助 受信件数



区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	9	14	17	7	10	7	14	11	10	22	5	5	131
警戒	15	11	15	7	4	12	29	12	24	19	28	16	192
救助	8	3	12	5	3	5	7	5	3	6	6	5	68

救急 受信件数



区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救急	1,158	898	988	907	885	887	1,036	1,077	920	819	914	930	11,419

通信施設の現況

【 指令事務の共同運用 】

消防本部の通信指令業務は、平成19年から四日市市と共同で運用してきました。消防指令センターはこれまで桑名市消防本部に置かれていましたが、平成28年4月1日、消防救急無線のデジタル化に合わせて指令センターを四日市市中消防署（中央分署）に移転しました。さらに菰野町消防本部が加わり、「三重北消防指令センター」として3消防本部による共同運用を開始しました。

管轄地域は四日市市・朝日町・川越町・桑名市・いなべ市・東員町・木曾岬町・菰野町の3市5町にわたっており、三重県の人口の約3分の1に当たる約60万人からの119番通報を受信する消防指令センターとなっています。

（令和8年4月1日現在）

区分		所属別	合計	本部			消防署							
				本部	指 揮 調 査 桑 名	指 揮 調 査 い な べ	消 防 署 桑 名 市	西 分 署	大 山 田 分 署	分 署 多 度	分 署 長 木	消 防 署 い な べ	北 分 署	消 防 署 東 員
無線 通信 施設	消防 救 急 無 線	基地局	3	3										
		陸上移動局(車載)	39		1	1	9	3	4	4	4	5	4	4
		陸上移動局(携帯)	35	5	3	3	5	2	3	2	3	3	3	3
		可搬型(指揮、市町災対)	6		2	1					1	1		1
		半固定型(署所端末)	11	2	1		1	1	1	1	1	1	1	1
		消防無線受信機	1	1										
		陸上移動局(署活波)	90	8	6	4	15	6	9	6	9	9	9	9
		陸上移動局(携帯・防災総合波150MHz帯)	4		2	2								
		県防災行政無線	2	2										
		県防災行政無線ファクシミリ	1	1										
	市防災行政無線	6	3				1		1	1				
そ の 他	携帯電話	43	17	2	1	4	2	3	2	3	3	3	3	
	衛星携帯電話	2		1	1									
	無停電電源装置	11	2	1		1	1	1	1	1	1	1	1	
	気象観測装置	1	1											
	長時間録音システム	1	1											
	テレホンガイド	1	1											

※ 無線基地局本部欄は、大山田分署（共通波） 播磨配水場・北分署（活動波）

※ 県防災行政無線は、地上系無線設備と衛星系無線設備

※ 市防災行政無線は、半固定局・携帯局・車載局

※ 長木分署は長島木曾岬分署の略

警報・注意報・情報等発表状況

(令和7年中)

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
特別警報	暴風	0													
	暴風雪	0													
	大雨	0													
	大雪	0													
	高潮	0													
	波浪	0													
警報	暴風	0													
	暴風雪	0													
	大雨	1							1						
	大雪	1		1											
	洪水	1							1						
	波浪	0													
	高潮	0													
注意報	大雨	14			1	1	2	4	4		2				
	大雪	4	1	3											
	風雪	1		1											
	雷	72		1	4	4	5	6	13	18	11	6	3	1	
	強風	43	7	9	5	4	4		2		1	2	4	5	
	融雪	0													
	濃霧	16			3	1	2	4				3		3	
	乾燥	7		1	2	3	1								
	なだれ	0													
	低温	10	1	9											
	霜	14			11	3									
	着氷	0													
	着雪	1		1											
	洪水	7				1		1	3		2				
	波浪	0													
高潮	2								2						
計	194	9	26	26	17	14	15	26	18	16	11	7	9		
火災気象通報	19		6	5	6	1					1				
土砂災害警戒情報	1								1						
竜巻注意情報	8			1				1	2	1	3				
大津波警報	0														
津波警報	0														
津波注意報	1								1						

※同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表した警報・注意報は回数に含めない
 ※火災気象通報は三重県北部を対象に発表した回数を示す
 ※土砂災害警戒情報は桑名市に発表した一連の情報を1回と数えた回数を示す
 ※竜巻注意情報は三重県北中部に発表した一連の情報を1回と数えた回数を示す
 ※大津波警報・津波警報・津波注意報は「伊勢・三河湾」を対象に発表した回数を示す

消 防 団

(令和8年4月1日現在)

消防団のあゆみ

明治 27 年 6 月 19 日	桑名町消防組は県令の組織認可を受け発足
昭和 12 年 3 月 20 日 4 月 1 日 8 月 16 日	西桑名町と合併なる 市政施行により桑名市消防組の改善を行った 新組織による桑名市消防組が発足 陣容は組頭以下 330 名で、これを 6 部に分け、消防ポンプ自動車 7 台、手輦ガソリンポンプ 1 台、蒸気ポンプ 1 台、腕用ポンプ 10 台を配備
昭和 14 年 4 月 1 日	消防組を警防団に改革し、1 団 7 分団にて定員 600 名に増員
昭和 16 年 11 月 15 日	季節常備を配置 (11 月 15 日～翌年 4 月 15 日)、部員 7 名が桑名警察署内ポンプ詰所で交代に勤務
昭和 19 年 4 月 1 日 11 月 20 日	警防施設の充実強化の必要により定員 611 名とし、警防団季節常備部を警防団常備消防部とした 初代部長に平野義一が就任、部員は部長以下 11 名で消防ポンプ自動車 1 台であった消防部に手輦ガソリンポンプ 1 台、オートバイ 3 台、鉄兜 11 個配備
昭和 20 年 4 月 1 日	桑名市消防団設置規則公布
昭和 22 年 1 月 10 日 5 月 1 日 9 月 12 日 12 月 23 日	第 5 分団上野車庫を桑名市大字上野町に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 9.92 m ² 消防団令が公布され警防団を廃止、早急に消防団の設置が必要なため、市議会において消防委員会条例を設定、指名推薦により委員を決定、条例の制定及び役員・団員の選任に任じた 委員 鵜飼新一郎・蛭川治三郎・加太信太郎・伊藤清次郎・水谷庄三郎・近藤清次・岩田勝郎・川北卯一・吉川実・平林儀三郎・佐藤信之助 特別消防委員 菱田宗之・辻一三・松本英三・笹岡五一郎・鈴木仁平・川本政一・大河内義次・大屋吉次郎・古川増一郎・伊藤治平 結団式を挙行し、消防団員の定員を 330 名とした 初代 団 長 岡川文一 副団長 加太信太郎・近藤清次 分団長 川北卯一・菱田宗之・古川増一郎・水谷庄三郎・辻一三・矢野三二・水谷吉松 法律第 226 号消防組織法の制定公布をみる 消防業務は警察から分離したが常備消防部が暫定的に消防業務を施行
昭和 23 年 3 月 28 日 6 月 26 日 7 月 2 日	第 7 分団車庫兼詰所を桑名市大字東方字堅縄 312 番地の 10 に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 94.22 m ² 第 2 分団車庫兼詰所を桑名市相生町 13 番地に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 80.99 m ² 第 5 分団車庫兼詰所を桑名市三和町に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 114.05 m ²
昭和 24 年 6 月 4 日	水防法が公布されるに及んで、桑名市を中心に外 8 ヶ村を水防管理団体の指定をみたので、消防団がその根幹となり態勢を整えた
昭和 25 年 3 月 31 日	第 4 分団車庫兼詰所を桑名市大字赤須賀港町南に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 79.34 m ²

昭和 26 年 3 月 2 日	桑部・在良・七和 3 カ村合併により 10 カ分団 481 名となった 第 8 分団車庫を桑名市大字桑部字中貝戸 559 番地の 2 に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 19.83 m ² 第 8 分団能部ポンプ車庫を桑名市大字能部字北貝戸に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 6.61 m ² 第 8 分団東金井ポンプ車庫を桑名市大字東金井に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 9.92 m ² 第 9 分団車庫を桑名市大字西別所字石曾根 980 番地に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 9.92 m ²
4 月 1 日	第 3 分団車庫兼詰所を桑名市京町 38 番地に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 84.71 m ²
昭和 27 年 4 月 1 日	桑名市消防団設置規則第 6 号公布 第 1 分団車庫兼詰所を桑名市伝馬町 90 番地に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 103.31 m ²
昭和 28 年 3 月 31 日	第 2 分団車庫兼詰所を桑名市相生町 13 番地に移築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 80.99 m ²
11 月 27 日	第 8 分団（桑部）・第 10 分団（七和）にそれぞれ三輪消防ポンプ自動車を購入配備
昭和 29 年 3 月 4 日	二代目消防団長が就任
4 月 1 日	消防団員の定員に一部改正案が起り精鋭主義に重点を置くという見地から 10 カ分団 361 名に減員
11 月 1 日	第 9 分団（在良）の手輓ガソリンポンプを廃車して、三輪消防ポンプ自動車を購入配備
昭和 30 年 2 月 1 日	深谷・久米両村の合併により三輪消防ポンプ自動車 1 台を引継ぎ、消防団の組織を 12 カ分団に改編し、定員 385 名に改正
4 月 1 日	消防団員の定員を 360 名に減員
昭和 31 年 1 月 14 日	第 4 分団に消防本部の消防ポンプ自動車を配備
2 月 1 日	第 11 分団車庫を桑名市大字下深谷部字堂ノ下 3635 番地の 2 に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 19.83 m ²
3 月 31 日	第 10 分団車庫兼詰所を桑名市大字芳ヶ崎字西クダラギ 139 番地の 5 に新築 ○木造 2 階建 ○建築延面積 39.67 m ²
9 月 1 日	城南村の合併により手輓ガソリンポンプ（自動車に積載）2 台を引継ぎ 13 カ分団として定員 410 名とした 第 13 分団車庫を桑名市大字安永字 11 区割 1860~1861 番地内に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 39.67 m ²
12 月 14 日	第 2・第 6 分団に消防ポンプ自動車 B S - I 型 2 台を購入配備
昭和 32 年 2 月 11 日	日本消防協会から表彰旗を授与される
6 月 21 日	三代目消防団長が就任
12 月 18 日	第 12 分団に三輪消防ポンプ自動車を購入配備
昭和 33 年 4 月 1 日	第 12 分団車庫を桑名市大字志知字加賀谷 3840 番地に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 19.83 m ²
12 月 10 日	第 13 分団小貝須浜ポンプ車庫を桑名市大字小貝須字才兵衛縄 976 番地の 1 に新築 ○木造平屋建 ○建築延面積 26.45 m ²
昭和 36 年 12 月	第 7 分団に消防ポンプ自動車を購入配備
昭和 37 年 3 月 7 日	消防庁長官から竿頭綬を授与される
8 月	桑名市において三重県消防操法大会を開催（立教小学校）第 13 分団が出場

昭和 38 年 3 月 3 月 29 日 12 月 1 日	第 13 分団車（安永）を廃車し、消防署の消防ポンプ自動車を配備 第 4 分団車庫兼詰所を改築 消防署の消防ポンプ車 B S - I 型を消防団第 5 分団に配備
昭和 40 年 4 月 22 日	桑名市において第 17 回三重県消防大会開催（光風中学校）
昭和 41 年 3 月 26 日	桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を公布
昭和 42 年 12 月 1 日	第 3 分団の消防ポンプ自動車を B S - I 型に更新
昭和 43 年 11 月 4 日	四代目消防団長が就任
昭和 44 年 5 月 7 日 12 月 26 日	第 13 分団（安永）車庫老朽のため、桑名市大字安永 11 区割 1890 番地に車庫兼詰所を新築 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 121.25 m ² 第 4 分団車廃車し、消防ポンプ自動車 B S - I 型を購入配備
昭和 46 年 7 月 2 日 11 月 26 日	第 13 分団車（浜）を廃車、第 13 分団車（安永）を配備し、消防署の消防ポンプ自動車 B S - I 型を第 13 分団（安永）に配備 第 1・8・9・10・11・12 分団車を廃車し、消防ポンプ自動車 B S - I 型 6 台を購入配備
昭和 47 年 8 月 4 日 10 月 3 日 11 月 18 日 12 月 1 日	木曾三川連合水防演習・三重県総合防災訓練に桑名市参加 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 B D - I 型の寄贈を受け、第 13 分団（安永）に配備し、旧分団車を消防署に配備 第 8 分団車庫老朽のため桑名市大字桑部字中貝戸 559 番地の 2 に車庫兼詰所を新築 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 87.72 m ² 第 2・3・6 分団車を廃車し、消防ポンプ自動車 B S - I 型 3 台を購入配備 第 13 分団車（浜）の代替車として、旧第 3 分団車を配備
昭和 48 年 11 月 7 日	第 9 分団車庫老朽のため、桑名市大字西別所字石曾根 980 番地に車庫兼詰所を新築 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 53.23 m ²
昭和 49 年 5 月 21 日 11 月 6 日	桑名防火協会からトランシーバー 18 機の寄贈を受け、各消防分団に装備 第 4 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字赤須賀字 12 番組 86 番地の 20 に移転 ○木造 2 階建 ○建築延面積 83.14 m ²
昭和 50 年 1 月 7 日	五代目消防団長が就任
昭和 52 年 12 月 24 日	第 13 分団車（浜）を廃車し、消防ポンプ自動車 B S - I 型を購入配備
昭和 53 年 3 月 24 日 7 月 21 日 12 月 22 日	第 6 分団詰所を桑名市大字東方城下 1307 番地の 1 に移転 ○木造平屋建 ○建築延面積 51.71 m ² 木曾三川連合水防演習・三重県総合防災訓練に桑名市参加 桑名市消防団指揮旗の制式及び使用内規を定めた
昭和 54 年 12 月 23 日 12 月 24 日	第 7 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字桑名字北浜 628 番地の 1 に移転 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 119.24 m ² 第 7 分団車の消防ポンプ自動車を B S - I 型に更新
昭和 55 年 7 月 15 日 11 月 9 日 11 月 27 日	第 5 分団の消防ポンプ自動車を B S - I 型に更新 消防 100 年記念消防家族親睦運動会を実施 消防制度 100 年記念大会が東京・後樂園球場にて挙行、団幹部出席
昭和 56 年 3 月 25 日 3 月 26 日	第 13 分団（浜）ポンプ車庫兼水防倉庫老朽のため改築 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 92.76 m ² 桑名市消防団の設置等に関する条例を公布 桑名市消防団に関する規則を公布 桑名市消防団設置規則の全部を改正

昭和 56 年 10 月 16 日 12 月 20 日	第 4・第 5・第 6・第 8 分団に小型動力ポンプ（B-3）4 台を購入配備 第 12 分団車庫老朽のため、桑名市大字志知字平群沢 3683 番地 4 に車庫兼詰所を移転 ○鉄骨造平屋建 ○建築延面積 79.99 m ²
昭和 57 年 7 月 20 日 9 月 16 日 12 月 8 日 12 月 14 日 12 月 25 日	昭和 57 年度木曾三川連合水防演習が岐阜羽島にて実施され、桑名市から第 8・第 9・第 10・第 11・第 12 分団が出場 第 9・第 10・第 11 分団に小型動力ポンプ（B-3）3 台を購入配備 第 10 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字芳ヶ崎字西クダラギ 1365 番地 1 に移転 ○鉄骨造平屋建 ○建築延面積 79.99 m ² 第 11 分団車庫老朽のため、桑名市大字下深谷部字長儘 4916 番地の 4 に車庫兼詰所を移転 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 106.62 m ² 第 12 分団に小型動力ポンプ（B-3）を購入配備
昭和 58 年 6 月 14 日 8 月 26 日 12 月 3 日 12 月 7 日	桑名市において三重県消防団長会議を開催 第 1・第 2・第 3・第 13（安永）分団に小型動力ポンプ（B-3）4 台を購入配備 第 4 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字赤須賀字 12 番組 85 番地の 1 に移転 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 78.38 m ² 第 5 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市新矢田一丁目 52 番地に移転 ○鉄骨造 2 階建 ○建築延面積 115.74 m ²
昭和 59 年 7 月 27 日 10 月 10 日	昭和 59 年度木曾三川連合水防演習が長島町において実施され、桑名市から第 8・第 9・第 10・第 12・第 13 分団が出場 第 7・第 13（浜）分団に小型動力ポンプ（B-3）2 台を購入配備し、これにより小型動力ポンプは全分団への配備が完了
昭和 60 年 3 月 6 日	消防庁長官から表彰旗を授与される
昭和 61 年 6 月 15 日	桑名郡市消防団幹部教養訓練を実施
昭和 62 年 3 月 24 日 6 月 28 日 12 月 14 日	六代目消防団長が就任 第 2 回桑名郡市・東員町消防団幹部教養訓練を実施 第 4 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新
昭和 63 年 3 月 25 日 6 月 12 日 10 月 13 日 12 月 7 日	桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を一部改正 第 6 分団地区（大成・大和・大山田）の内、大山田を分割、消防団第 14 分団を設置、定員を 435 名とした 第 3 回桑名郡市・東員町消防団幹部教養訓練を実施 第 8・第 12 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 第 14 分団に消防ポンプ自動車 CD-I 型及び小型動力ポンプ（B-3）を購入配備 第 14 分団車庫兼詰所を桑名市大山田一丁目 9 番地に新築 ○鉄骨造平屋建 ○建築延面積 79.49 m ²
平成元年 2 月 22 日 6 月 11 日 10 月 20 日 11 月 24 日 12 月 1 日	第 10 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 第 4 回桑名郡市・東員町消防団幹部教養訓練を実施 第 1 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 第 8 分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字桑部 830 番地の 23 に移転 ○鉄骨造平屋建 ○建築延面積 79.49 m ² 七代目消防団長が就任
平成 2 年 2 月 14 日 3 月 26 日 3 月 31 日	日本消防協会から竿頭綬を授与される 第 11 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新 第 9 分団の消防ポンプ自動車を CD-I 型に更新

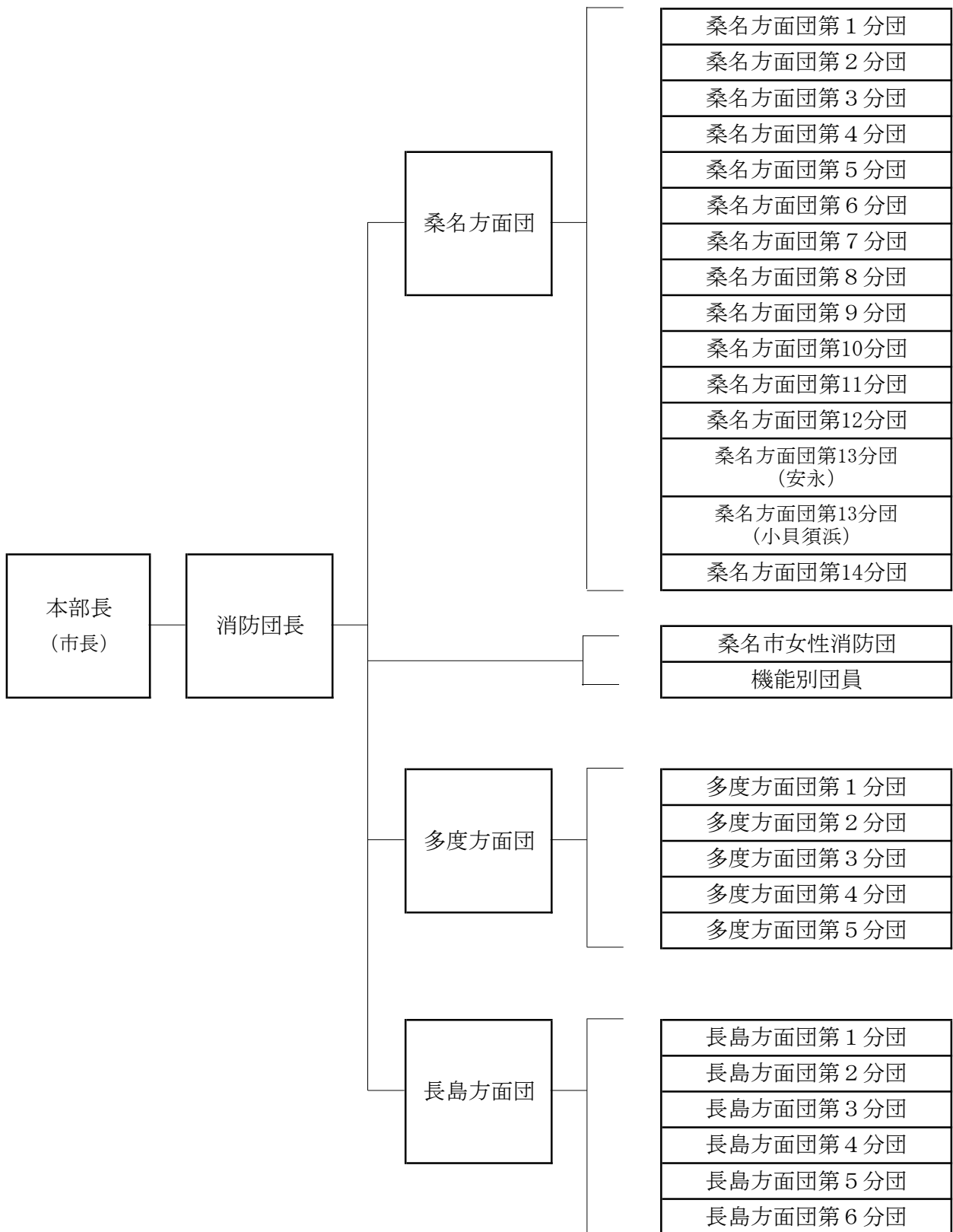
平成2年5月29日 10月1日 11月20日 12月6日	木曾三川連合水防演習・三重県総合防災訓練に桑名市参加 消防団に関する規則の一部を改正し副団長を1名増員 第2分団の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 第2分団車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 74.46㎡
平成3年3月29日 11月27日 12月11日	第3分団の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 第6分団の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 第3分団車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 74.46㎡
平成4年1月1日 3月25日 4月1日 5月27日 12月9日	桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を一部改正 第13分団(安永)の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を一部改正 消防団に関する規則の一部を改正し副分団長の階級を定めた 木曾三川連合水防演習・愛知県総合防災訓練に桑名市参加 第1分団車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 74.46㎡
平成5年3月25日 11月18日 12月1日	第13分団(浜)の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 自治体消防45周年記念大会が東京ドームにて挙行、団長以下幹部出席 八代目消防団長が就任
平成6年2月24日 2月25日 5月27日	第5分団の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 第7分団の消防ポンプ自動車をCD-I型に更新 木曾三川連合水防演習・岐阜県総合防災訓練に桑名市参加
平成7年3月5日 4月1日	新入団員研修会を実施 自主防災指導部会を発足 企画情報部会を発足
平成8年4月1日	消防団活動研究会を発足
平成10年3月5日 3月7日 3月23日 4月1日 5月24日 7月23日 7月31日 10月8日	第13分団(安永)車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 54.0㎡ 自治体消防50周年記念大会が東京武道館で挙行、団長以下幹部出席 消防団に関する規則の一部を改正 女性消防団を発足 木曾三川連合水防演習・愛知県総合防災訓練に桑名市参加 三重県消防操法大会ポンプ車の部で第12分団が優勝 日本消防協会から女性消防団に軽可搬ポンプの寄贈を受ける 横浜市で開催された第16回全国消防操法大会に三重県代表として第12分団が出場
平成11年10月21日	横浜市で開催された第14回全国婦人消防団操法大会に女性消防団が三重県代表として出場
平成12年5月28日 7月1日 7月12日 11月2日	木曾三川連合水防演習に参加 消防団に関する規則の一部を改正 平成12年度三重県消防団長会議が開催され出席 平成12年度三重県青年・女性消防団員研修会及び交流会が開催され講師として出席
平成14年3月15日 5月19日	第6分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字北別所1156番地の5に移転新築完成(竣工は平成14年4月4日) ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 91.80㎡ 多度町で開催された木曾三川合同水防演習に参加

7月27日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に第10分団が出場
平成15年11月20日 11月28日	東京ドームで開催された自治体消防55周年記念大会に参加 第4分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新
平成16年7月24日 9月13日 12月6日 12月12日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に第9分団が出場 第8・12・14分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 桑名市・多度町・長島町の合併に伴い桑名市消防団・多度町消防団・長島町消防団を合併し、桑名方面団14分団・多度方面団5分団・長島方面団6分団（機動分団含む）で構成され定員776名とする桑名市消防団となり、初代団長に旧桑名市消防団長柴田清勝が就任した 消防本部2階に女性消防団室を設置
平成17年2月9日 3月7日 10月12日	桑名方面団第10分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 長島方面団第4・5分団の小型動力ポンプ付積載車を更新 桑名方面団第1・9分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新
平成18年2月10日 2月24日 3月13日 7月22日 10月13日	日本消防協会から特別表彰まといを授与される 桑名方面団第11分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 多度方面団第1分団の小型動力ポンプ付積載車を購入 多度方面団第1分団車庫兼詰所、桑名市多度町小山2361番地1に新築完成（竣工は平成18年4月2日） ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 91.80㎡ 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第8分団・長島方面団第4分団が出場（小型ポンプ操法で長島方面団第4分団優勝） 桑名方面団第2分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 桑名方面団第3分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新
平成19年2月26日 11月13日 11月25日	多度方面団第2分団の小型動力ポンプ付積載車を購入 多度方面団第2分団車庫兼詰所、桑名市多度町下野代1388番地1に新築完成 ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 91.80㎡ 桑名方面団第6分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 桑名方面団第3回桑名市消防団小型ポンプ操法大会を実施
平成20年2月20日 7月19日	桑名方面団第13分団（安永）の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に多度方面団第4分団出場
平成21年3月15日 3月11日 3月22日	桑名方面団第13分団（浜）の消防ポンプ自動車をCD—I型に更新 多度方面団第3分団車庫兼詰所、桑名市多度町力尾2682番地1に新築完成（竣工は平成21年3月22日） ○鉄骨造2階建 ○建築面積 91.80㎡ 多度方面団第3分団の小型動力ポンプ付積載車を購入
平成22年1月19日 3月5日 7月25日	桑名方面団第5分団、第7分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 多度方面団第5分団の小型動力ポンプ付積載車を購入 多度方面団第5分団車庫兼詰所、桑名市多度町香取2199番地29に新築完成（竣工は平成22年3月20日） ○鉄骨造2階建 ○建築面積 91.80㎡ 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第7分団が出場
平成23年3月4日 3月11日 4月1日	多度方面団第4分団車庫兼詰所、桑名市多度町古野780番地9に新築完成（竣工は平成23年3月20日） ○鉄骨2階建 ○建築面積 91.80㎡ 多度方面団第4分団の小型動力ポンプ付積載車を購入 桑名市消防団 桑名・多度・長島方面団事務を消防本部に集約

4月17日	桑名市消防団3方面団合同新人訓練開催
平成24年5月27日 7月21日	岐阜県で開催された木曾三川連合水防演習に参加 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に長島方面団第5分団が出場 (小型ポンプ操法で3位入賞)
平成25年2月26日 5月10日	日本消防協会から竿頭綬を授与される 団員全員にライフジャケット配備
平成25年10月22日 11月25日	桑名方面団第12分団車庫兼詰所、桑名市大字志知字平群沢3683番地4に新築完成 (竣工は平成25年11月2日) ○鉄骨造2階建 ○建築面積 91.80㎡ 東京ドームで開催された消防団120年・自治体消防65周年記念大会に参加 消防団長が内閣総理大臣賞を受賞
平成26年4月20日 5月18日 7月13日 8月1日 10月1日 10月3日	安全管理セミナー(消防基金)を実施 岐阜県で開催された木曾三川連合水防訓練に参加 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第6分団が出場 消防団サポート事業所 募集開始 消防団サポート事業を運用開始 日本消防協会から「消防団防災学習・災害活動車両(ハイエース)」の寄贈を受け、桑名市消防団に配備
平成27年1月6日 3月27日 5月24日 11月9日	「救助資機材搭載型消防ポンプ自動車」(長島方面団第1分団配備)の無償使用を開始(総務省消防庁) 桑名方面団第9分団車庫兼詰所、桑名市大字増田604番地3に新築完成 (竣工は平成27年3月29日) ○鉄骨造2階建 ○建築面積91.80㎡ 団員全員に編上靴を配備 各分団に耐切創手袋を10双配備
平成28年4月1日 7月16日	長島方面団の組織改編に伴い機動分団を廃止し、第6分団を新設 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に多度方面団が出場
平成29年5月28日 10月1日	新基準活動服を女性消防団から配布 桑名市学生消防団活動認証制度を運用開始
平成30年5月27日 6月4日 7月22日 10月19日	岐阜県で開催された木曾三川連合水防訓練に参加 桑名西ロータリークラブから「女性消防団車両・広報車(ハイゼット)」の寄贈を受け、桑名市消防団に配備 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第5分団が出場 (ポンプ車操法で優勝) 富山県で開催された第26回全国消防操法大会に三重県代表として桑名方面団第5分団が出場 (1番員市原誠が優秀選手賞を受賞)
平成31年1月27日 4月1日 令和元年5月1日	安全管理セミナー(消防基金)を実施 団員全員に耐切創性手袋を配備 二代目消防団長が就任 企画情報部会から情報部会へ名称を変更し運用
令和2年1月12日 4月1日 8月20日 11月26日	出初式において優良消防団員表彰を実施 休団制度を運用開始 トランシーバーを100台配備 ホワイトシャッタープロジェクト事業に参加し、消防団車両23台を登録 各分団に感染予防対策物資を配布

令和3年2月19日	「水災用器具、水難救助用器具及び安全装備品」(長島方面団第1分団、桑名方面団第9分団配備)の無償使用を開始(総務省消防庁)
令和4年3月15日 4月1日 11月7日	長島方面団に充電式投光器6セットを配備(消防基金) 「非常勤消防団員の報酬等の基準」に従い、「団員」階級の者の年額報酬の増額及び出動に応じた出動報酬の創設 各分団に携帯用投光器を各5個配備(消防基金)
令和5年1月29日 5月21日 7月23日 8月1日	安全管理セミナー(消防基金)を実施 愛知県で開催された木曾三川連合水防訓練へ参加 消防本部高台移転に伴い、一時的に桑名方面団第14分団車庫兼詰所を多度分署へ移転 非常用食料を各詰所へ配布
令和6年3月4日 4月1日 7月21日 12月27日	消防庁長官から竿頭綬を授与される 桑名市消防団重機隊を発足 機能別団員(支援団員、学生団員)を創設 鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第4分団が出場 桑名方面団及び多度方面団に充電式投光器20セットを配備(コミュニティ助成)
令和7年6月2日	消防本部高台移転に伴い、桑名方面団第14分団車庫兼詰所を桑名市大山田1丁目9番地、消防庁舎等複合施設敷地内に建て替え ○鉄骨造2階建 ○建築延面積 84.24㎡

消防団の組織



消防団階級別団員数

(令和8年4月1日現在)

階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部	消防団長	1							1
	桑名方面団長		1						1
	桑名方面団副団長		3						3
	桑名方面団本部付分団長			3					3
	多度方面団長		1						1
	多度方面団副団長		3						3
	長島方面団長		1						1
	長島方面団副団長		3						3
	女性消防団			1	1	1	2	5	10
機能別団員 (学生)							15	15	
桑名方面団第1分団				1	1	2	3	10	17
桑名方面団第2分団				1	1	2	3	13	20
桑名方面団第3分団				1	1	3	5	14	24
桑名方面団第4分団				1	1	2	4	8	16
桑名方面団第5分団				1	1	3	6	15	26
桑名方面団第6分団				1	1	3	4	12	21
桑名方面団第7分団				1	1	1	3	10	16
桑名方面団第8分団				1	1	2	3	14	21
桑名方面団第9分団				1	1	3	4	14	23
桑名方面団第10分団				1	1	2	4	16	24
桑名方面団第11分団				1	1	2	5	24	33
桑名方面団第12分団				1	1	3	3	15	23
桑名方面団第13分団				1	2	4	8	32	47
桑名方面団第14分団				1	1	3	6	14	25
多度方面団第1分団				1	1		6	27	35
多度方面団第2分団				1	1		4	16	22
多度方面団第3分団				1	1		4	26	32
多度方面団第4分団				1	1		3	17	22
多度方面団第5分団				1	1		4	20	26
長島方面団第1分団				1	2			21	24
長島方面団第2分団				1	2			13	16
長島方面団第3分団				1	2			20	23
長島方面団第4分団				1	2			22	25
長島方面団第5分団				1	2			21	24
長島方面団第6分団				1	2			11	14
計		1	12	29	33	36	84	445	640

消防団員の勤続年数状況

(令和8年4月1日現在)

団員の勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
5年未満				3		11	178	192
5年以上～10年未満			5	6		10	105	126
10年以上～15年未満		3	4	5	2	16	74	104
15年以上～20年未満		1	1	4	7	12	43	68
20年以上～25年未満		3	3	3	7	19	25	60
25年以上～30年未満			2	4	9	8	12	35
30年以上～35年未満		2	5	5	8	3	3	26
35年以上	1	3	9	3	3	5	5	29
計	1	12	29	33	36	84	445	640
平均勤続年数	45.0	25.3	25.3	19.4	25.3	16.6	8.5	12.2

消防団員の年齢状況

(令和8年4月1日現在)

団員の年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
20歳未満							5	5
20歳以上～25歳未満						1	28	29
25歳以上～30歳未満						4	36	40
30歳以上～35歳未満			4	3		12	66	85
35歳以上～40歳未満		1	2	4		6	92	105
40歳以上～45歳未満		2	4	6		6	45	63
45歳以上～50歳未満		2	1	5	4	10	53	75
50歳以上～55歳未満		2	1	3	7	17	48	78
55歳以上～60歳未満		1	5	2	13	14	27	62
60歳以上	1	4	12	10	12	14	45	98
計	1	12	29	33	36	84	445	640
平均年齢	70.0	48.7	45.7	45.6	51.7	45.1	44.8	45.5

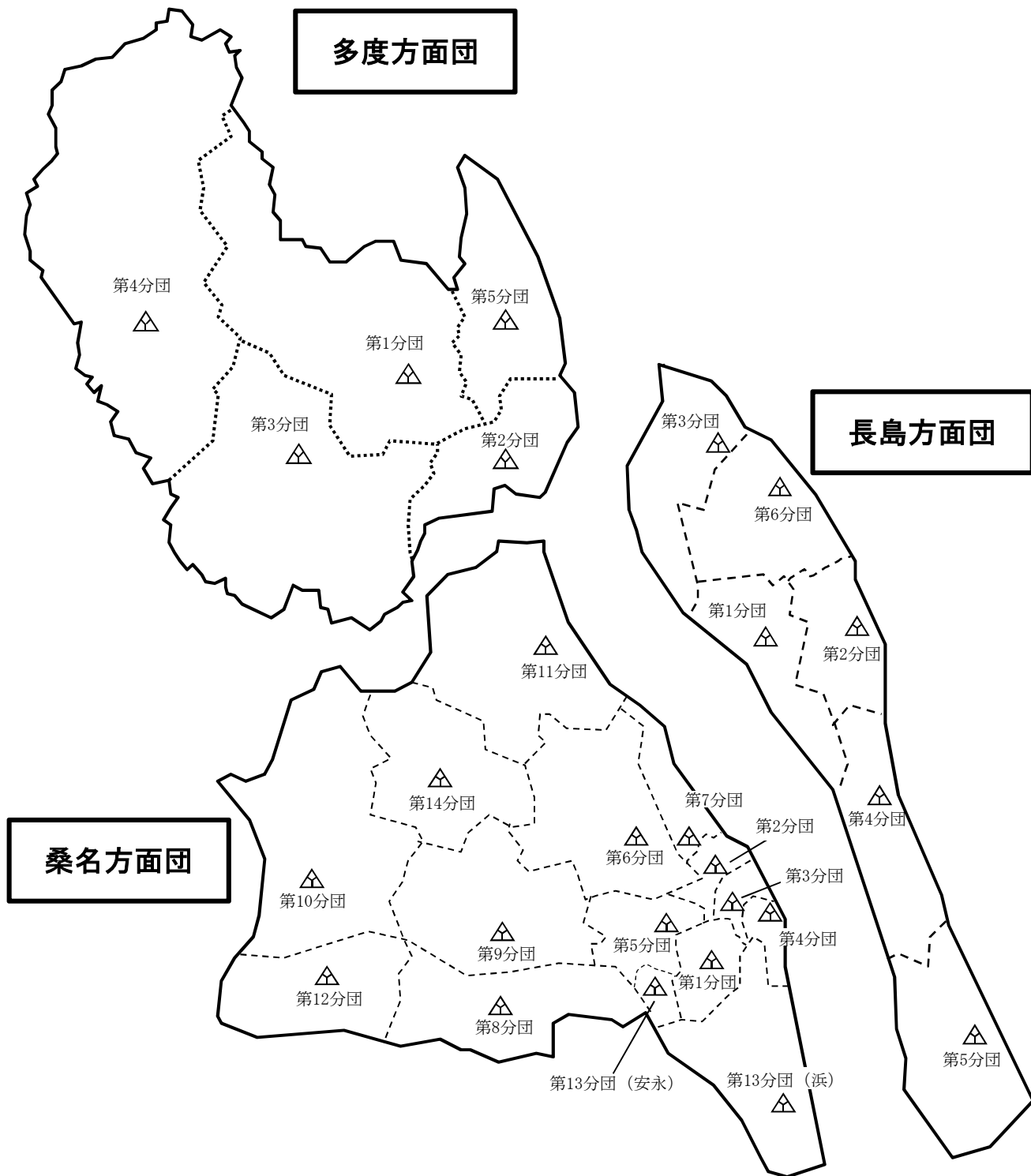
歴代消防団長

歴代	氏名	在職年数	在職年月日		
			開始	～	終了
初代	岡川 文一	6年 5ヶ月	昭和22年9月12日	～	昭和29年3月3日
二代	近藤 清次	3年 3ヶ月	昭和29年3月4日	～	昭和32年6月20日
三代	水谷 庄三郎	11年 4ヶ月	昭和32年6月21日	～	昭和43年11月3日
四代	辻 一三	6年 2ヶ月	昭和43年11月4日	～	昭和50年1月6日
五代	中村 利幸	12年 2ヶ月	昭和50年1月7日	～	昭和62年3月23日
六代	石川 晋	2年 8ヶ月	昭和62年3月24日	～	平成元年11月30日
七代	松尾 信廣	3年 11ヶ月	平成元年12月1日	～	平成5年11月30日
八代	柴田 清勝	11年 0ヶ月	平成5年12月1日	～	平成16年12月5日
合併による 初代	柴田 清勝	14年 3ヶ月	平成16年12月6日	～	平成31年3月31日
二代	中久木 治		平成31年4月1日	～	

消防団員教育実施状況

学校	階級 科別	令和7年度 受講者							
		計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
県 消 防 学 校	初級幹部科	4			1	2			1
	指揮幹部科 現場指揮課程	2			1	1			
	団長科	0							
	指揮幹部科 分団指揮課程・指導員科	0							
	機関員科	0							
	一日入校	25		1	8	4	8	1	3

桑名市消防団区域図



桑名市消防団施設概要

(令和8年4月1日現在)

所属	分団名	所在地	敷地面積	建築延面積	構造	建築年月日	付属施設
桑名方面団	第1分団 (日進)	桑名市伝馬町90番地	192.32㎡	74.46㎡	鉄骨造2階建	平成4年12月9日	ホース乾燥用 鉄塔
	第2分団 (精義)	桑名市相生町13番地	85.35㎡	74.46㎡	〃	平成2年12月6日	〃
	第3分団 (立教)	桑名市京町38番地	190.21㎡	74.46㎡	〃	平成3年12月11日	〃
	第4分団 (城東)	桑名市大字赤須賀字12番組85番地1	56.80㎡	78.38㎡	〃	昭和58年12月3日	〃
	第5分団 (益世)	桑名市新矢田一丁目52番地	102.87㎡	115.74㎡	〃	昭和58年12月7日	〃
	第6分団 (大成・大和)	桑名市大字北別所1156番地5	415.00㎡	91.80㎡	〃	平成14年3月15日	〃
	第7分団 (修徳)	桑名市大字桑名字北浜628番地1	396.79㎡	119.24㎡	〃	昭和54年12月23日	〃
	第8分団 (桑部)	桑名市大字桑部字西貝戸830番地23	まちづくり 拠点施設 敷地内	79.49㎡	鉄骨造平屋建	平成元年11月24日	〃
	第9分団 (在良)	桑名市大字増田604番地3	373.55㎡	91.8㎡	鉄骨造2階建	平成27年3月27日	—
	第10分団 (七和)	桑名市大字芳ヶ崎字西クダラギ1365番地1	まちづくり 拠点施設 敷地内	79.99㎡	鉄骨造平屋建	昭和57年12月8日	ホース乾燥用 鉄塔
	第11分団 (深谷)	桑名市大字下深谷部字長儘4916番地4	210.00㎡	106.62㎡	鉄骨造2階建	昭和57年12月14日	〃
	第12分団 (久米)	桑名市大字志知字平群沢3683番地4	239.98㎡	91.8㎡	〃	平成25年10月22日	—
	第13分団 (安永)	桑名市大字和泉リノ割1367番地1	362.00㎡	126.00㎡	〃	平成10年3月5日	ホース乾燥用 鉄塔
	第13分団 (小貝須浜)	桑名市大字小貝須字才兵衛縄976番地1	108.15㎡	92.76㎡	〃	昭和56年3月25日	〃
第14分団 (大山田)	桑名市大山田一丁目9番地	消防庁舎等 複合施設 敷地内	84.24㎡	〃	令和7年3月25日	—	
多度方面団	第1分団	桑名市多度町小山2361番地1	585.86㎡	91.80㎡	鉄骨造2階建	平成18年3月13日	ホース乾燥用 鉄塔
	第2分団	桑名市多度町下野代1388番地1	430.34㎡	91.80㎡	〃	平成19年2月28日	〃
	第3分団	桑名市多度町力尾2682番地1	339.71㎡	91.80㎡	〃	平成21年3月11日	〃
	第4分団	桑名市多度町古野780番地9	335.53㎡	91.80㎡	〃	平成23年3月4日	〃
	第5分団	桑名市多度町香取2199番地29	311.78㎡	91.80㎡	〃	平成22年3月5日	〃
長島方面団	第1分団	桑名市長島町又木75番地	473.00㎡	194.82㎡	〃	昭和63年9月30日	〃
	第2分団	桑名市長島町殿名561番地3	626.88㎡	147.99㎡	〃	平成3年11月28日	〃
	第3分団	桑名市長島町西川960番地	600.00㎡	147.99㎡	〃	平成2年12月20日	〃
	第4分団	桑名市長島町赤地402番地2	468.98㎡	132.97㎡	〃	平成12年2月4日	〃
	第5分団	桑名市長島町松蔭133番地	908.00㎡	191.97㎡	〃	昭和62年12月15日	〃
	第6分団	桑名市長島町小島249番地	407.09㎡	153.13㎡	〃	昭和62年3月10日	〃

桑名市消防団車両の配置状況

(令和8年4月1日現在)

所属	分団名	車種	型別	車両番号	年式	車両メーカー	ポンプ能力	備考
本部	団本部	防災学習車	—	三重800 す98-97	H26.10.3	トヨタ	—	日本消防協会 寄贈
	女性消防団	広報車	—	三重880 あ23-92	H30.5.22	ダイハツ	—	桑名西ロータリークラブ 寄贈
桑名方面団	第1分団 (日進)	小型動力ポンプ付 積載車	—	三重800 す17-00	H17.10.5	トヨタ	B-2	—
	第2分団 (精義)	〃	—	三重800 す31-85	H18.10.13	トヨタ	〃	—
	第3分団 (立教)	〃	—	三重800 す31-86	H18.10.13	トヨタ	〃	—
	第4分団 (城東)	〃	—	三重800 さ88-94	H15.11.26	トヨタ	〃	—
	第5分団 (益世)	〃	—	三重800 す63-99	H22.1.19	ニッサン	〃	—
	第6分団 (大成・大和)	〃	—	三重800 す44-55	H19.11.13	トヨタ	〃	—
	第7分団 (修徳)	〃	—	三重800 す63-97	H22.1.19	ニッサン	〃	—
	第8分団 (桑部)	〃	—	三重800 す 69	H16.9.8	トヨタ	〃	—
	第9分団 (在良)	〃	—	三重800 す17-01	H17.10.5	トヨタ	〃	—
	第10分団 (七和)	〃	—	三重800 す 688	H17.2.4	トヨタ	〃	—
	第11分団 (深谷)	〃	—	三重800 す22-61	H18.2.22	トヨタ	〃	—
	第12分団 (久米)	〃	—	三重800 す 70	H16.9.8	トヨタ	〃	—
	第13分団 (安永)	〃	—	三重800 す46-97	H20.2.20	トヨタ	〃	—
	第13分団 (小貝須浜)	消防ポンプ車	CD-I型	三重800 す56-34	H21.2.26	日野	A-2	—
第14分団 (大山田)	小型動力ポンプ付 積載車	—	三重800 す 71	H16.9.8	トヨタ	B-2	—	
多度方面団	第1分団	〃	—	三重800 す22-62	H18.2.22	トヨタ	B-2	—
	第2分団	〃	—	三重800 す36-37	H19.2.26	トヨタ	〃	—
	第3分団	〃	—	三重800 す56-23	H21.2.24	ニッサン	〃	—
	第4分団	〃	—	三重800 す73-37	H23.3.11	ニッサン	〃	—
	第5分団	〃	—	三重800 す63-98	H22.1.19	ニッサン	〃	—
長島方面団	第1分団	消防ポンプ車	CD-I型	三重800 せ 53	H26.12.19	いすゞ	A-2	総務省 無償貸付車両
	第2分団	小型動力ポンプ付 積載車	—	三重800 さ94-44	H16.3.22	いすゞ	B-3	—
	第3分団	〃	—	三重800 さ91-85	H16.1.29	三菱	〃	—
	第4分団	〃	—	三重800 す 730	H17.3.7	いすゞ	〃	—
	第5分団	〃	—	三重800 す 731	H17.3.7	いすゞ	〃	—
	第6分団	〃	—	三重800 さ74-43	H14.12.24	ニッサン	〃	—

桑名市消防団の消防操法大会の歴史

	桑名市消防団（ポンプ車）			三重県大会（優勝）		全国大会		
	出場分団	三重県	北勢支会	ポンプ車	小型ポンプ	ポンプ車	小型ポンプ	結果
昭和43年度							白山町	
昭和45年度				楠町	川越町	楠町		優勝
昭和46年度	第4分団	－	努力賞	大安町	北勢町			
昭和47年度	第10分団	－	努力賞	楠町	浜島町		浜島町	3位
昭和48年度	第1分団	－	努力賞	楠町	浜島町			
昭和49年度	第8分団	準優勝	優勝	伊賀町	楠町	伊賀町		2位
昭和50年度	第11分団	－	努力賞	大安町	海山町			
昭和51年度	第12分団	－	努力賞	大安町	大安町		大安町	優良賞
昭和52年度	第2分団	努力賞	－	楠町	大宮町			
昭和53年度	第3分団	－	努力賞	楠町	関町	楠町		
昭和54年度	第6分団	努力賞	－	河芸町	北勢町			
昭和55年度	第5分団	優勝	優勝	桑名市	三雲町		三雲町	優良賞
昭和56年度	第7分団	優勝	－	桑名市	海山町			
昭和57年度	第13分団	準優勝	優勝	関町	宮川村	関町		
昭和58年度	第12分団	準優勝	－	菰野町	久居市			
昭和59年度	第11分団	準優勝	準優勝	菰野町	飯南町		飯南町	
昭和60年度	第10分団	優勝	－	桑名市	阿山町			
昭和61年度	第9分団	－	努力賞	員弁町	藤原町	員弁町		
昭和62年度	第8分団	3位	－	美杉村	明和町			
昭和63年度	第7分団	努力賞	準優勝	四日市市	伊賀町		伊賀町	優良賞
平成元年度	第6分団	優良賞	－	－	白山町			
平成2年度	第5分団	3位	優勝	菰野町	大山田村	菰野町		優良賞
平成3年度	第4分団	－		－	上野市			
平成4年度	第3分団	優勝		桑名市	阿山町		阿山町	
平成5年度	第2分団	準優勝		東員町	島ヶ原村			
平成6年度	第1分団	努力賞		菰野町	飯高町	菰野町		
平成7年度	第14分団	準優勝		伊賀町	北勢町			
平成8年度	第13分団	優勝 準優勝 (小型)		桑名市	名張市		名張市	
平成9年度				－	大山田村			
平成10年度	第12分団	優勝		桑名市	上野市	桑名市		
平成12年度	第11分団	－		－	海山町		海山町	
平成14年度	第10分団	努力賞		白山町	島ヶ原村	白山町		
平成16年度	第9分団	－		－	青山町		伊賀市	優良賞
平成18年度	桑名8分団 長島4分団	－ 優勝(小型)		伊賀市	桑名市	伊賀市		
平成20年度	多度4分団	－(小型)		－	東員町		東員町	
平成22年度	桑名7分団	3位		いなべ市	伊賀市	いなべ市		
平成24年度	長島5分団	3位(小型)		－	鈴鹿市		鈴鹿市	優良賞
平成26年度	桑名6分団	努力賞		菰野町	亀山市	菰野町		
平成28年度	多度方面団	努力賞 (小型)		－	伊賀市		伊賀市	優勝
平成30年度	桑名5分団	優勝		桑名市	亀山市	桑名市		
令和2、3年度				新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
令和4年度				－	亀山市		亀山市	
令和6年度	桑名4分団	4位		伊賀市	亀山市	伊賀市		

2026年度全国統一防火標語

火の確認 いい日を支える いい習慣

令和8年度危険物安全週間推進標語

つかみ取れ！めざす無事故の頂を

令和8年度消防本部人権啓発標語

考えよう 相手の気持ち 自分の言葉

無関心 それも誰かを 傷つける

その言葉 発する前に 考える

見逃すな 小さな異変と 心の声

気づくこと それが人権 守る鍵

令和8年版 消防年報

令和8年7月

編 集 桑名市消防本部総務課
発 行

所在地 三重県桑名市大山田1丁目9番地
郵便番号 511-0903
電 話 (0594) 86-7484
F A X (0594) 86-7492